

2009年（第59回）学生生活実態調査の結果報告書

東京大学学生委員会

学生生活調査室

目 次

調査の概要

報告について

グラフと表について

第1部 学生生活の評価と将来の選択

- 1 大学院入学の目的……………3
- 2 学会参加・留学……………4
- 3 研究活動……………6
- 4 就職……………13
- 5 不安・悩み……………14
- 6 大学への要望……………15

第2部 学生生活の背景

- 1 家庭の状況……………16
 - 2 生活費の状況……………19
 - 3 研究奨励金及び奨学金……………20
 - 4 アルバイト……………22
 - 5 研究・学生生活のサポート体制……………23
- 特殊分析の試み……………25
- 総合分析の試み……………28
- 資料1（調査票及び単純集計結果）…35

調査の概要

1. 調査票の作成

2009年（平成21年）5月から10月にかけて、学生委員会学生生活調査室で調査内容の企画立案を行った。

2. 調査の期間

2009年（平成21年）11月下旬～12月下旬。

3. 調査の対象及び抽出率

大学院男子・女子学生。研究科系統別無作為抽出法で、在籍者数の1/4を抽出。

4. 調査の方法

郵送調査で行い、対象者自身が記入する（自記式）方法。

5. 調査の内容

I. 基本的事項、II. 大学院入学の目的、III. 学会参加・留学、研究活動、IV. 就職、V. 不安・悩み、VI. 大学への要望、VII. 家庭の状況、VIII. 生活費の状況、IX. 研究奨励金及び奨学金、X. アルバイト、XI. 研究・学生生活のサポート体制、XII. 具体的記述

報告について

1. 今回は、2004年（第54回）調査以来5年ぶりに、大学院男子・女子学生を対象として学生生活実態調査を行った。集計結果の分析に当たっては、研究科間・年度間・男女間などの相違に注目し、特異な数値傾向の把握に努めた。

2. 学内広報掲載の報告については、クロス集計表を省略した。クロス集計表については、ホームページ掲載の報告を参照されたい。

3. 昨年度までは、2分の1程度の具体的記述を原文のまま報告書に記載していたが、読む人によって個人が特定できる可能性があること、さらに、報告書掲載の基準が恣意的になりやすいこともあり、本年度より具体的記述は報告書に掲載しないことにした。ただ、このことは具体的記述を無視するとか軽視することを意味しているわけではなく、それぞれの具体的記述は学生生活調査室で検討するとともに、担当理事によっても検討され、大学の施策の改善に役立てられている。

4. 本文中の「ポイント」とは、総数の百分率（パーセント）を表す。

5. 今回の単純集計表及びクロス集計表は、大学総合教育研究センターの作成による。

グラフと表について

1. 今回、本文に掲載した経年変化のグラフと表については、1985年調査にまでさかのぼって取り上げた項目がいくつかあり、「表1」に1958年以降の調査の実施状況を表示した。
2. 本文中に掲げたグラフと表については、それぞれの年の比較を見やすくするため「無回答」及び「非該当」を除いた比率で作成している。また、個々の数値を四捨五入しているため、合計が100%に満たないものと100%を超えるものがある。
3. 複数回答の設問については、非該当を除く比率を示した。このため各選択肢の合計は100%を超える。
4. 平均値の算出は、無回答のものを除く該当者平均を求めた。
5. 作表の説明変数として用いた用語の定義は、次のとおりである。
 - 「全体」……………回答者全員の比率を示す。
 - 「文科系」「理科系」……………在籍する研究科等により二つの系に区分したものを示す。

表 1 学生生活実態調査（大学院学生）実施状況

回数	調査年月	対象学生	抽出率	対象者数	回収率	調査方法
第9回	1958年12月	課程在籍者	男子 1/5 女子 1/5	248人	95.6%	面接調査 (一部郵送)
第11回	1960年11月	課程在籍者 + 留年者	男子 1/3 女子 全数 留年者 全数	785	85.2	〃
第17回	1966年12月	課程在籍者	全 数	3,002	48.7	研究科窓口配布 (一部郵送)
第28回	1978年12月	課程在籍者	男子 1/4 女子 全数	1,177	66.2	郵送自記式
第35回	1985年11月	課程在籍者 + OM、OD	男子 1/2~1/4 女子 1/2 OM、OD 1/2	1,382	66.3	〃
第42回	1992年11月	課程在籍者	男子(文) 1/2 男子(理) 1/6 女子 1/2	1,496	59.8	〃
第49回	1999年11月	課程在籍者 + OM、OD	男子 1/4 女子 1/4	2,099	49.5	〃
第54回	2004年11月	課程在籍者	男子 1/4 女子 1/4	2,539	40.6	〃
第59回	2009年11月	課程在籍者	男子 1/4 女子 1/4	2,675	49.9	〃

注 1) 「OM」はオーバーマスター、「OD」はオーバードクターの略を示す。

2) 「休学者」「外国人留学生」は、対象学生から除かれている。但し、1992年調査は「OM、OD」を除き「外国人留学生」を含む。

表2 2009年(第59回)学生生活実態調査回収状況一覧

区 分	専門職学位課程及び修士課程						博 士 課 程						全 体		
	男 子			女 子			男 子			女 子					
	対象者数	回収数	回収率	対象者数	回収数	回収率	対象者数	回収数	回収率	対象者数	回収数	回収率	対象者数	回収数	回収率
人文社会系研究科	人	人	%	人	人	%	人	人	%	人	人	%	人	人	%
	34	16	47.1	26	16	61.5	48	28	58.3	26	19	73.1	134	79	59.0
教育学研究科	24	15	62.5	16	9	56.3	23	11	47.8	15	8	53.3	78	43	55.1
法学政治学研究科	108	55	50.9	62	36	58.1	11	4	36.4	4	3	75.0	185	98	53.0
経済学研究科	21	6	28.6	3	1	33.3	15	6	40.0	5	4	80.0	44	17	38.6
総合文化研究科	68	40	58.8	37	28	75.7	81	42	51.9	40	22	55.0	226	132	58.4
理学系研究科	142	74	52.1	32	20	62.5	114	61	53.5	26	17	65.4	314	172	54.8
工学系研究科	389	155	39.8	36	19	52.8	124	61	49.2	20	9	45.0	569	244	42.9
農学生命科学研究科	99	37	37.4	39	23	59.0	67	28	41.8	25	17	68.0	230	105	45.7
医学系研究科	15	6	40.0	29	23	79.3	121	56	46.3	64	39	60.9	229	124	54.1
薬学系研究科	30	13	43.3	16	11	68.8	21	13	61.9	6	3	50.0	73	40	54.8
数理科学研究科	18	8	44.4	0	0	0	14	8	57.1	0	0	0	32	16	50.0
新領域創成科学研究科	177	94	53.1	50	25	50.0	72	36	50.0	23	12	52.2	322	167	51.9
情報理工学研究科	88	33	37.5	4	2	50.0	34	13	38.2	3	1	33.3	129	49	38.0
学際情報学府	24	10	41.7	10	6	60.0	15	2	13.3	8	5	62.5	57	23	40.4
公共政策学教育部	38	21	55.3	15	5	33.3	0	0	0	0	0	0	53	26	49.1
合 計	1,275	583	45.7	375	224	59.7	760	369	48.6	265	159	60.0	2,675	1,335	49.9
2004年(第54回)調査	1,113	413	37.1	318	168	52.8	821	321	39.1	287	129	44.9	2,539	1,031	40.6

※「対象者数」は2009年(平成21年)5月1日現在の課程在籍者数である。ただし、休学者、留学者及び外国人留学生を除く。

第1部 学生生活の評価と将来の選択

1-1. 大学院入学の目的

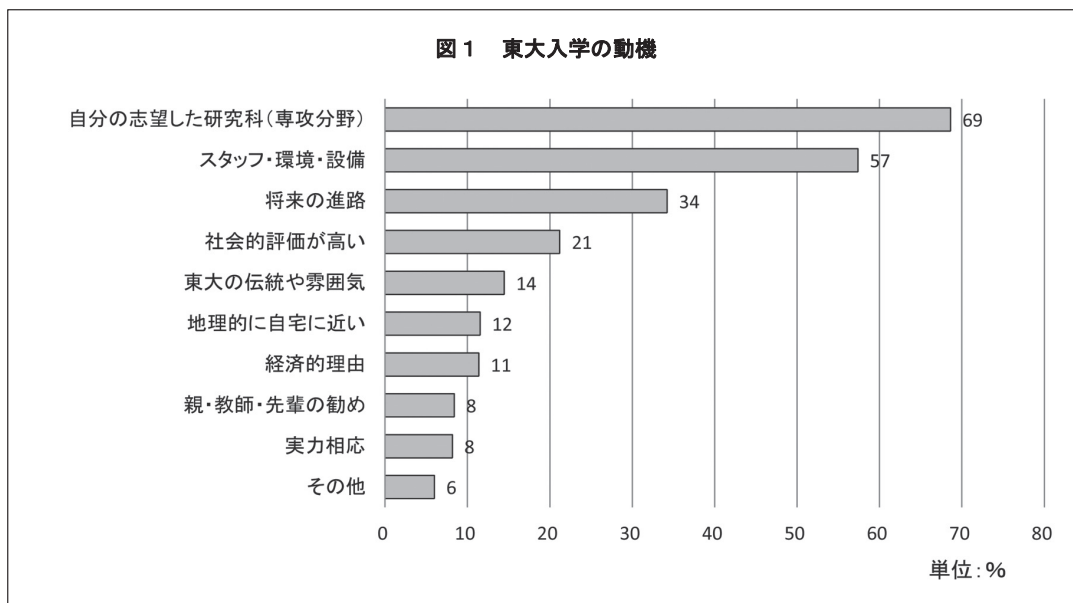
- ・入学の目的「高度の専門知識・技術を身につけるため」70.4%
- ・入学の動機「自分の志望した研究科（専攻分野）があったから」68.6%、「スタッフ・環境・設備が優れているから」57.4%

大学院入学の目的は、前回調査（2004年（第54回））と同様に「高度の専門知識・技術を身につけるため」が70.4%でもっとも多く、次いで「大学等の研究・教育職をめざして」36.0%、「社会に貢献できる能力・資質を身につけるため」が23.8%、「学位を取得するため」が20.1%の順となっている（クロス集計表1-1表）。

東大入学の動機については、前々回調査までは主たる動機を重視した順に、第1位から第3位まで調査したが、前回調査からは順位をつけずに、主たる動機を無順位に三つまで選択可として調査した。前回と今回との比較では、前回調査同様「自分の志望した研究科（専攻分野）があったから」が68.6%でもっとも多く、次いで「スタッフ・環境・設備が優れているから」57.4%、「将来の進路を考えて」34.2%と続き、前回調査と同順位となっている。また、「社会的評価が高い」21.2%は、前回調査と同様第4位となっている（図1、クロス集計表1-2表）。

「現在所属する大学院を選ぶ際、他にどのような進路を考えましたか」の間では、前回調査では選択肢に無かった「他大学の大学院」が44.0%と最多となり、次いで、前回第1位であった「考えなかった」が32.6%、前回第2位であった「東大内の現在所属する大学院以外の大学院」17.3%の順となっており、他大学の大学院への進学が重要な選択肢となってきていることが注目される（クロス集計表1-3表）。

最終的に本学を選んだ理由は、「希望専攻分野が東大の方が充実していた」61.1%で前回同様第1位であるが、前回調査では65.1%であったのに比べると、やや減少している（クロス集計表1-4表）。



1-2. 学会参加・留学

- ・学会（国内）の「所属数」1.0、「参加数」1.4回、「発表数」1.0件
- ・海外学術調査の経験「ある」16.6%、留学の経験「ある」6.5%
- ・留学希望者70.2%、留学希望先は希望者のうち「西ヨーロッパ」77.2%、「北米」74.2%

1-2-1. 学会参加

現在所属している国内の学会数は、「1」が36.5%、「2」15.1%、「3以上」13.2%となっている。前回調査（2004年（第54回））と同様に、理科系は文科系に比べ多くの学会に所属しており、また、博士課程在籍者の9割程度が何らかの学会に所属している。国内に比べ国外の学会に所属している者は、あまり多くはみうけられず、「1」の9.9%で、他は極めて少ない（クロス集計表2-1表）。

過去1年間の国内の学会参加回数は「1回」24.7%、「2回」20.0%、「3回以上」が24.5%で、発表件数は「1件」26.7%、「2件」14.4%、「3件以上」が10.6%である。また、国外の学会参加回数は「1回」15.9%、「2回」3.9%で、発表件数は「1件」14.5%、「2件」3.4%である（クロス集計表2-3表）。

1-2-2. 留学等

大学院入学後、海外学術調査の経験が「ある」と答えた者は16.6%で前回調査と比較して、1.3ポイントの増加となっている。これは修士課程在籍者（8.6%）より博士課程在籍者（31.9%）で多くみられ、23.3ポイントの差がある。また、女子18.4%は男子16.0%に比べて海外学術調査の経験者が多い傾向にあるがその差は2.4ポイントで、前回調査（6.8ポイント）に比較して小さくなっている（クロス集計表2-7表）。

「大学院に入学してから海外留学をした体験がありますか」という間に、「ある」と答えた者は、全体で6.5%となっている。前回調査と比べて、2.8ポイントの大きな増加となっている。また、海外学術調査の経験と同様、博士課程在籍者と女子に多めにみうけられる（クロス集計表2-8表）。

「外国の大学と交換留学制度があれば留学したいと思っていますか」という間に、70.2%（男子67.4%、女子77.6%）が「条件によっては留学したい」と回答しているが、前回調査より7.9ポイント減少している（クロス集計表2-9表）。

交換留学制度があれば留学先としたい地域は、前回に続き今回の調査でも順位をつけずに、主たる地域を無順位に二つまで選択可として調査した。その結果、前回調査で第2位の「西ヨーロッパ」が77.2%で第1位、次いで、「北アメリカ」74.2%、「アジア」10.3%の順となり欧米重視の傾向が窺われる（クロス集計表2-10表）。

「大学院在学期間中、海外留学の機会があれば希望しますか」という間に、「留学したい」36.0%、「どちらかといえば留学したい」が23.5%となっており、これら双方を合わせると男子の場合57.1%、女子の場合65.2%を占める。（図2-1～2、クロス集計表2-11表）。研究科により留学希望に差異があり、希望の多いところは、学際情報(80.9%)、「留学したい」と「どちらかといえば留学したい」の計)、人文社会系(79.7%)、総合文化(75.6%)、経済学(64.7%)となっていた。

図2-1 大学院在学中の海外留学希望

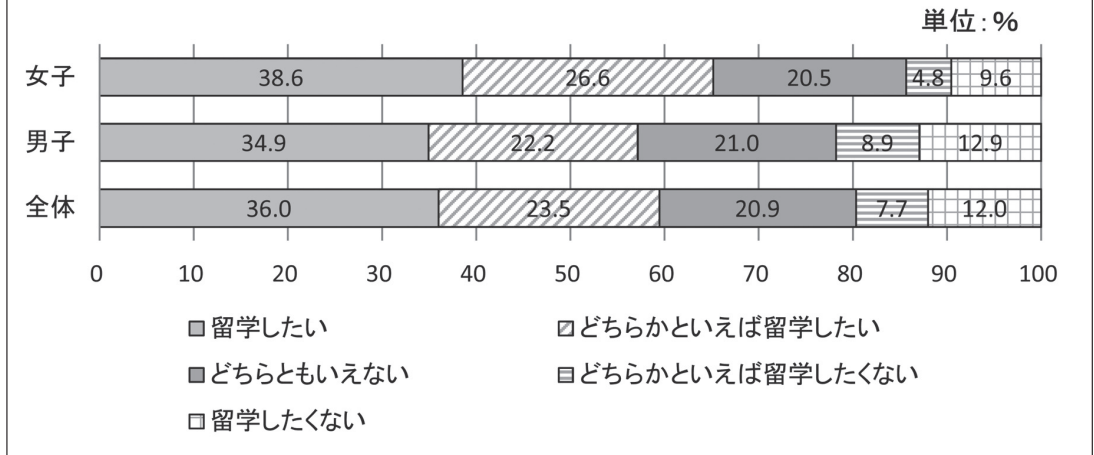
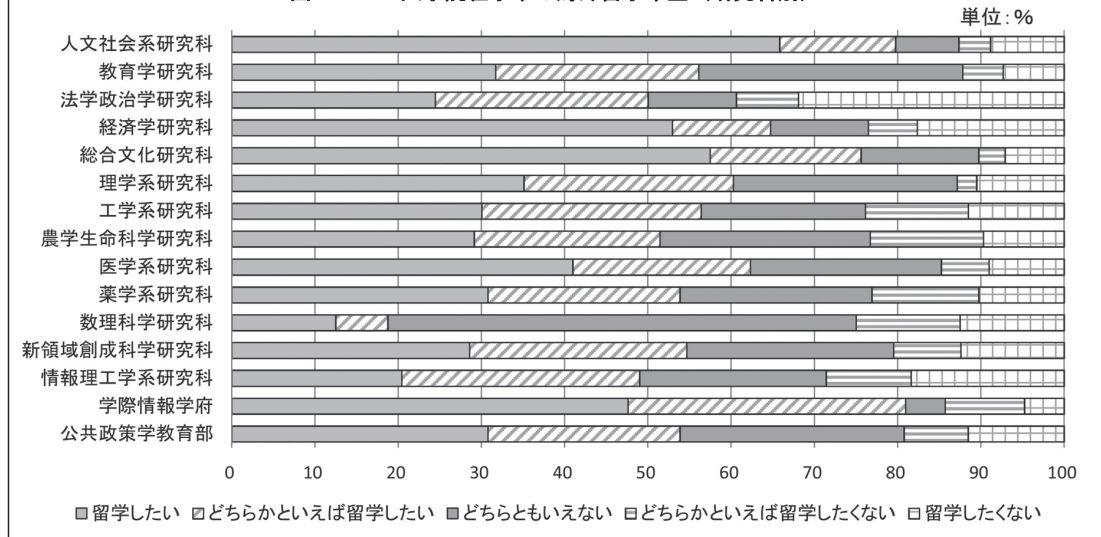


図2-2 大学院在学中の海外留学希望（研究科別）

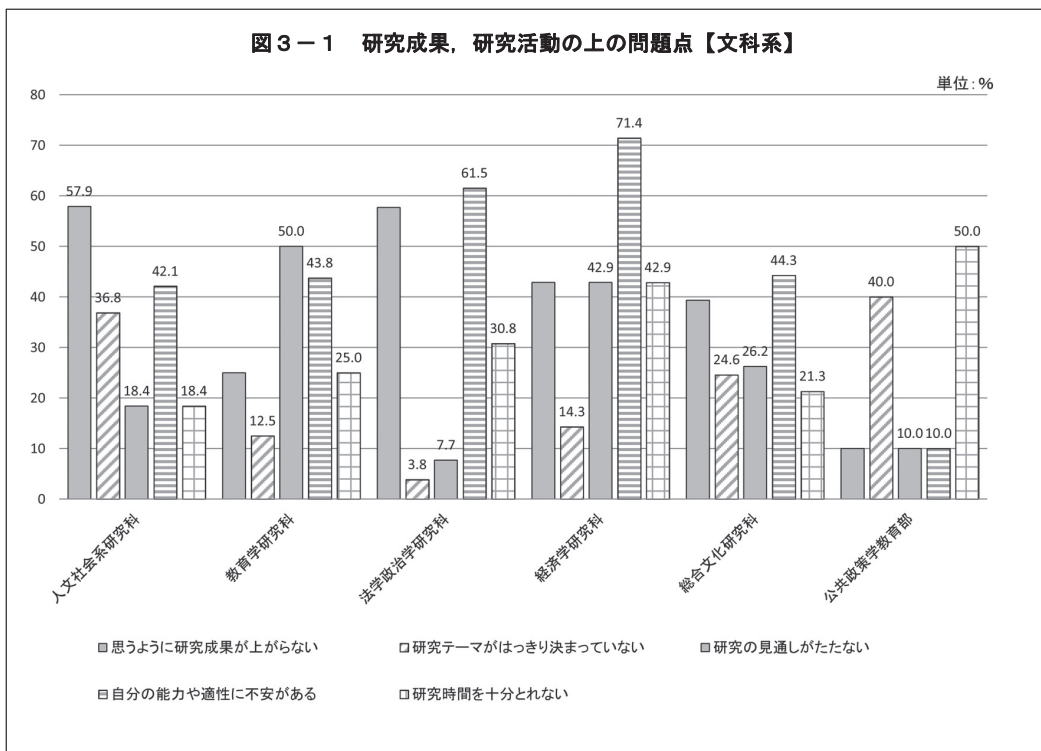


1-3. 研究活動

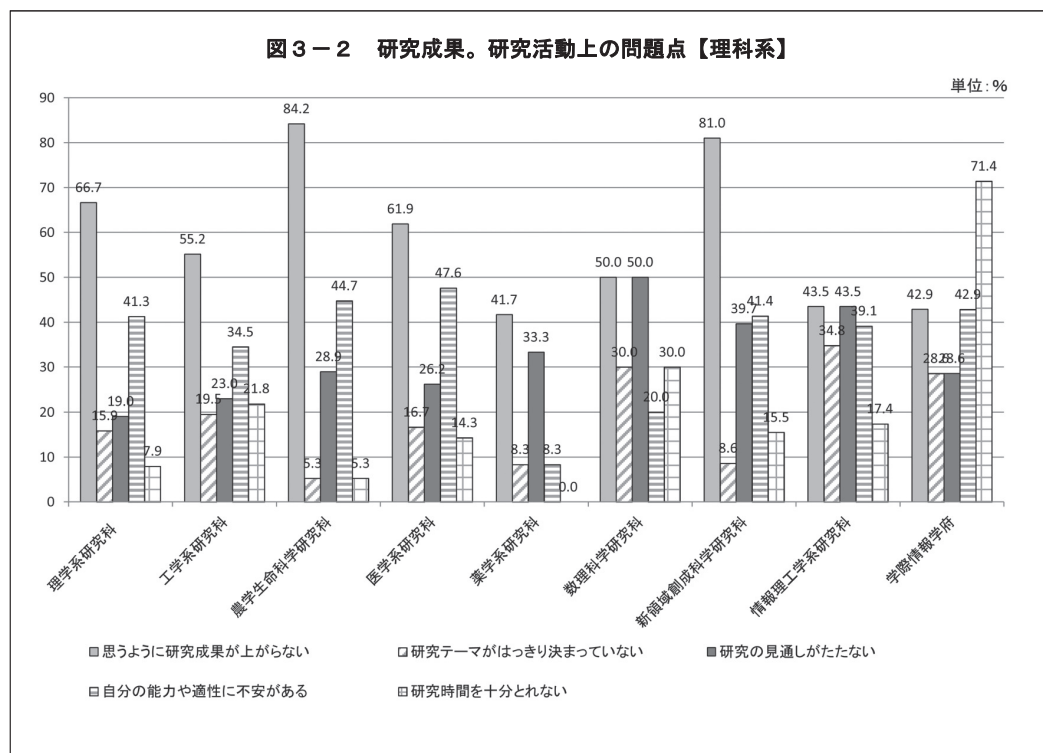
- ・自分の研究成果に対する「不満」「やや不満」が37.9%
- ・研究経費の自己負担は年平均182,400円（前回調査に比べ約13,000円増加）
- ・「非常勤講師或いはT A、R Aの経験がある」理科系55.6%、文科系35.2%
- ・「専用の机がある」理科系91.5%、文科系11.5%
- ・「1週間平均の研究時間」理科系47.4時間、文科系38.6時間

「あなたご自身のこれまでの研究成果についてどうお考えですか」という問に、「不満」15.2%、「やや不満」22.7%となり、前回調査と比べて「不満」が4ポイント増え、依然として約4割の者が不満と回答している（クロス集計表3-1表）。

研究の成果に「不満、やや不満」と答えた者に、「不満と感じている問題」を尋ねたが、結果は多様となっている。第1位から第3位は、「思うように研究成果が上がらない」57.5%、「自分の能力や適性に不安がある」40.9%、「研究の見通しがたたない」26.9%となり、前回調査と同じ傾向にある。次いで、「研究時間が十分とれない」18.8%、「研究テーマがはっきり決まっていない」18.4%、「今やっている研究の意義がはっきりつかめない」18.4%、「教員の指導が不十分である」14.0%となっている（図3-1～2、クロス集計表3-2表）。ここでも研究科による違いは大きい。文科系では、総じて「自分の能力や適性に不安がある」（45.6%）が多く、次いで「思うように研究成果が上がらない」（43.7%）点を案じている。理科系のほとんどの研究科では「思うように研究成果が上がらない」（64.1%）が最も大きな理由であり、特に理学系、工学系、農学生命科学、医学系、数理学、新領域創成科学研究科では、半数以上の学生がそれを挙げている。



研究室での日常生活の中で、複数の項目について満足度を尋ねたところ（以下、満足度は「満足」「まあ満足」の計、不満度は「やや不満」「不満」の計）、「研究設備・スペースについて」は、総じて不満と答える者は22.4%で、前回と比較すると、全体で9ポイント減少したが、文科系（46.7%）は理科系（12.5%）の4倍近くになっている。「研究上の経費について」についても、不満を示す割合（22.2%）は研究スペースと同様の傾向が見られ、文科系（44.7%）は理科系（13.0%）の3倍を超えている。このように、これらの項目では文科系と理科系には体系的な差が認められる。とりわけ不満の高かったものの中で、「研究設備・スペース」については人文社会系、教育学、法学政治学、総合文化研究科および公共政策学教育部で4～6割近くに不満が見られ、「研究上の経費」については文科系すべての研究科等で4～5割が不満を持っている。次に、「人間関係について」は、文科系・理科系ともに十数%の学生が不満を示している。「指導教員の研究指導方法について」は、前回調査とは逆転し、理科系（64.9%）の方が文科系（55.1%）に比べ強く満足感を示している。「所属研究科事務の対応について」は、「満足」と回答する者は理科系で7.6ポイント上回る。また、男女別にみると、全ての項目で女子は男子よりも総じて「不満」と回答しており、前回調査の状況と変わっていない（図4-1～5、クロス集計表3-3-1～5表）。



「あなたの研究にあなた自身が負担しているお金は過去1年間でどれくらいですか」という問に、各費目の平均の合計では182,400円と回答されている。男女別にみると、全ての項目で女子の負担額が大きく、平均合計額も女子（237,853円）が男子（160,878円）を大きく上回る。また、文科系の負担額（293,122円）は理科系（137,185円）の2倍以上となっている（クロス集計表3-4）。

図4-1 研究室での日常生活の満足度「研究設備・スペース」

単位：%

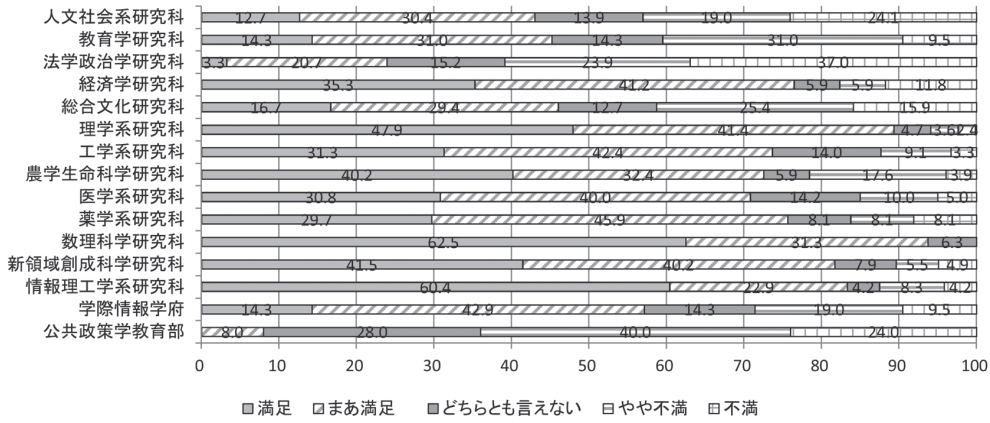


図4-2 研究室での日常生活の満足度「研究上の経費」

単位：%

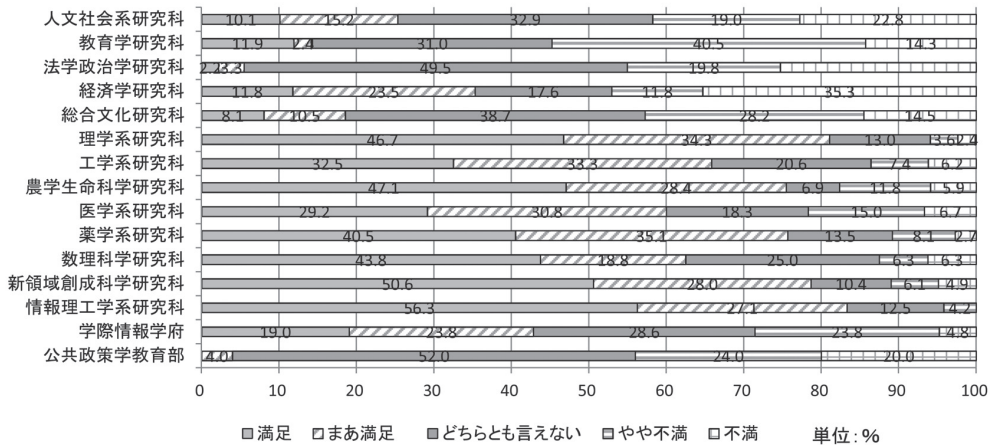
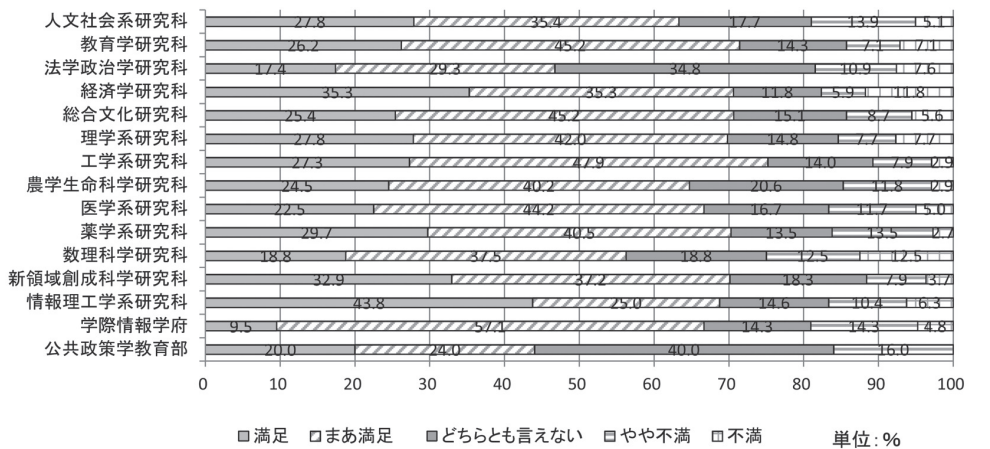
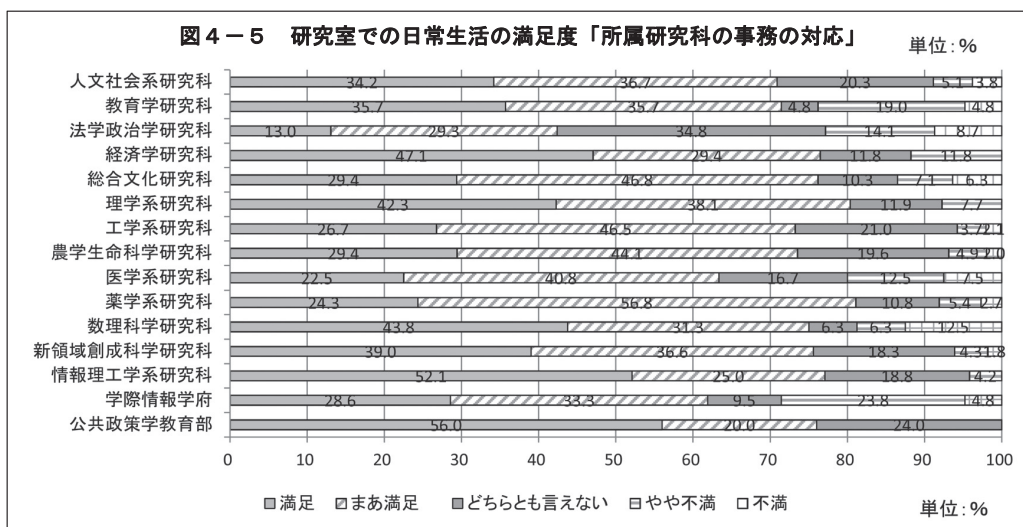
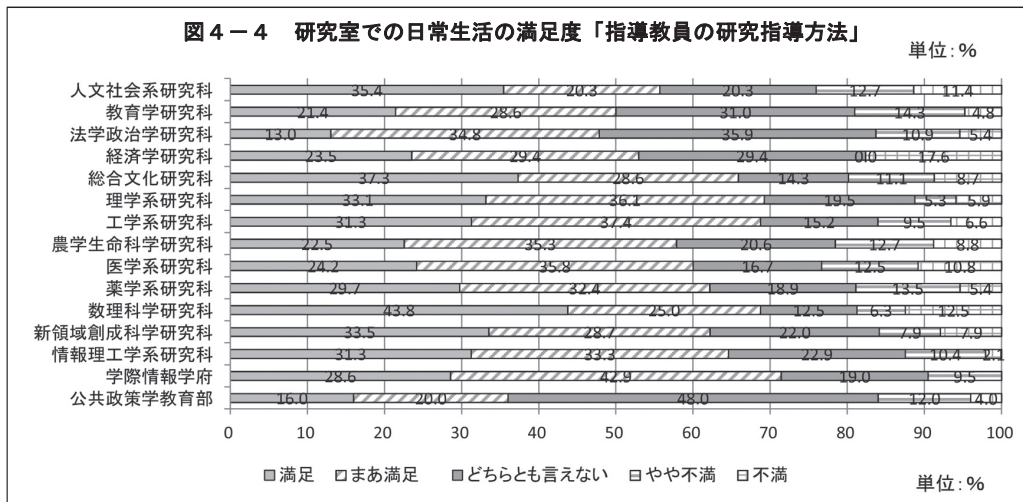


図4-3 研究室での日常生活の満足度「人間関係」

単位：%

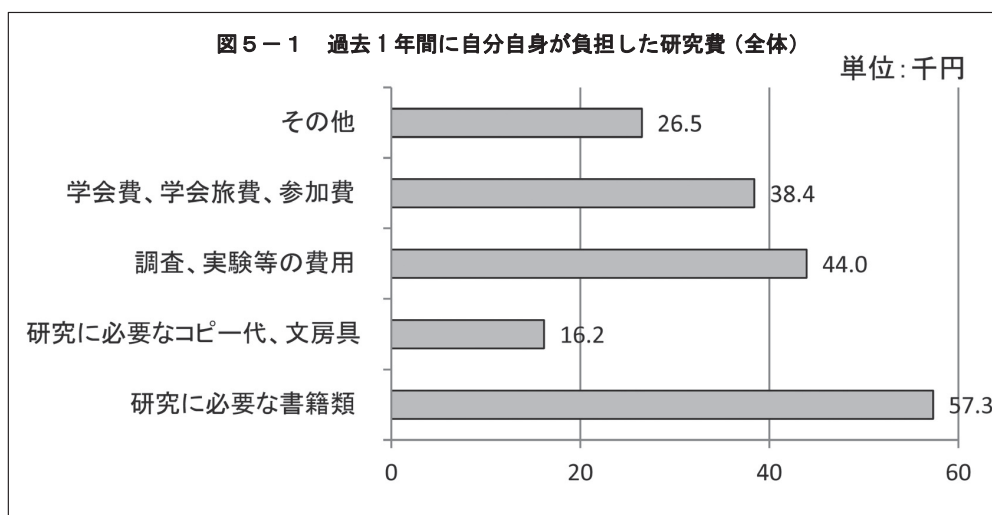




「大学、短大などの非常勤講師或いはTA、RAをしていますか」(TAはTeaching Assistant、RAはResearch Assistantの略)という間に、「していない(したことがない)」者が50.5%(前回調査54.9%)であり、「過去にしたことがある」が23.8%となっている。「現在している」と回答があったのは25.7%で、前回調査からほぼ横ばいである。系別にみると、「していない(したことがない)」者について、文科系64.8%が理科系44.4%に比べて多い。また、男女別にみると男子の割合がやや多く、課程別では博士課程在籍者が占める割合が多くなっている(クロス集計表3-5表)。

「研究室に、あなたの専用又は共用の机はありますか」の間に、「専用の机がある」68.0%、「共用の机がある」16.1%と回答している。理科系では「専用の机がある」が91.5%を占めているが、文科系では「どちらもない」が46.1%となっており、文科系と理科系では状況はかなり異なっている(クロス集計表3-6表)。

「1週間に何日ぐらい大学に来ますか」との間に、「5日」28.9%、「6日」24.5%、「3~4日」18.1%の順で、総じて「3~6日」と回答する者が71.5%(文科系63.4%、理科系74.8%)となっており、「6日」30.1%、「5日」27.4%、「7日」13.2%の順で、総じて「5~7日」と回答する者が70.7%(文科系40.8%、理科系74.8%)となっていた前回調査の時よりも、大学に来る日数は有意に減少している(クロス集計表3-7表)。



博士論文の執筆予定の間に、「在籍中に書く予定」と答える者が77.4%、「在籍中に書く予定はないが、課程博士は取りたい」11.6%、「既にかいた」8.5%となっている。「既にかいた」と答えた者は、理科系(11.2%)が文科系(2.1%)の約5倍になっている(クロス集計表3-8表)。

「研究上(研究発表と論文作成等を含む)使用する主な言語はどれですか」(主たるものを2つまで選択、博士課程のみについて集計)の間に、「日本語」90.5%、「英語」78.2%と回答する者が大部分を占めており、他を挙げる者は「仏語」3.0%、「中国語」1.3%、「独語」1.3%、と少ない。前回調査と比べて、中国語と独語が同率となっている。使用する外国語について、理科系は専ら「英語」88.3%に集中し、文科系は「英語」53.4%、「仏語」10.8%、「中国語」4.7%、「独語」3.4%、と比較的多様になっている(クロス集計表3-9表)。

1日平均の研究時間は7.9(前回調査7.7)時間である。文科系は6.2(前回調査5.7)時間、理科系は8.6(前回調査8.4)時間で、理科系は文科系に比べ1日平均2.4時間多くなっている。1週間平均の研究時間は平均45.0時間(文科系38.6時間、理科系47.4時間)である。文科系は前回調査(34.3時間)に比べて4.3時間増えているが、それでも理科系は文科系に比べ1週間平均8.8時間多い(クロス集計表3-10-1~2表)。



柏キャンパス

図5-2 過去1年間に自分自身が負担した研究費
(研究に必要な書籍類の購入費)

単位:千円

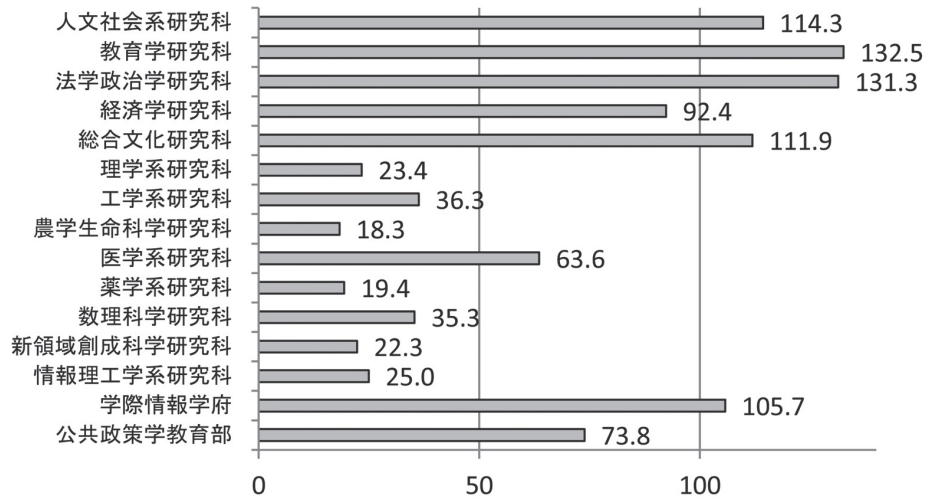
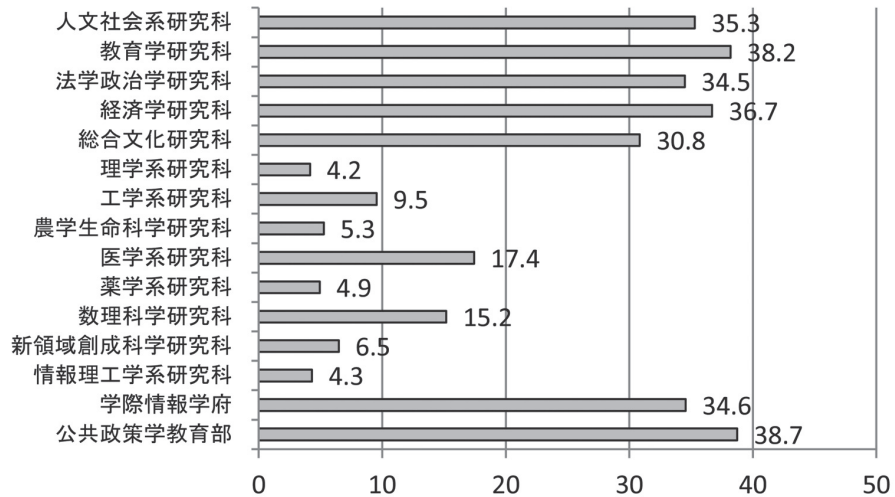
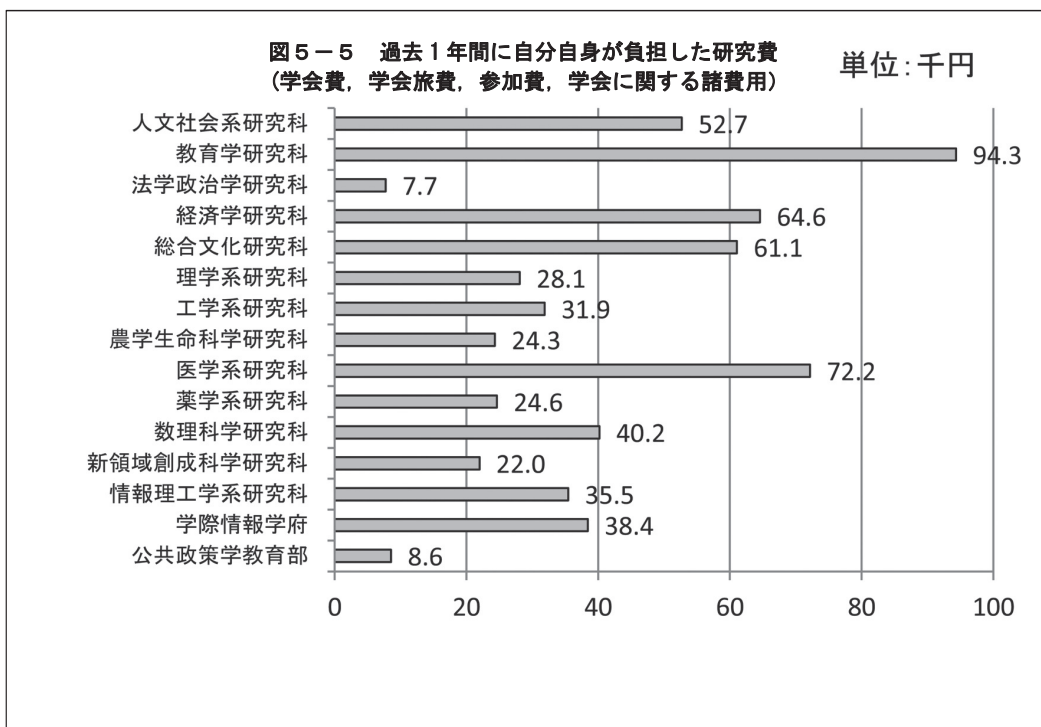
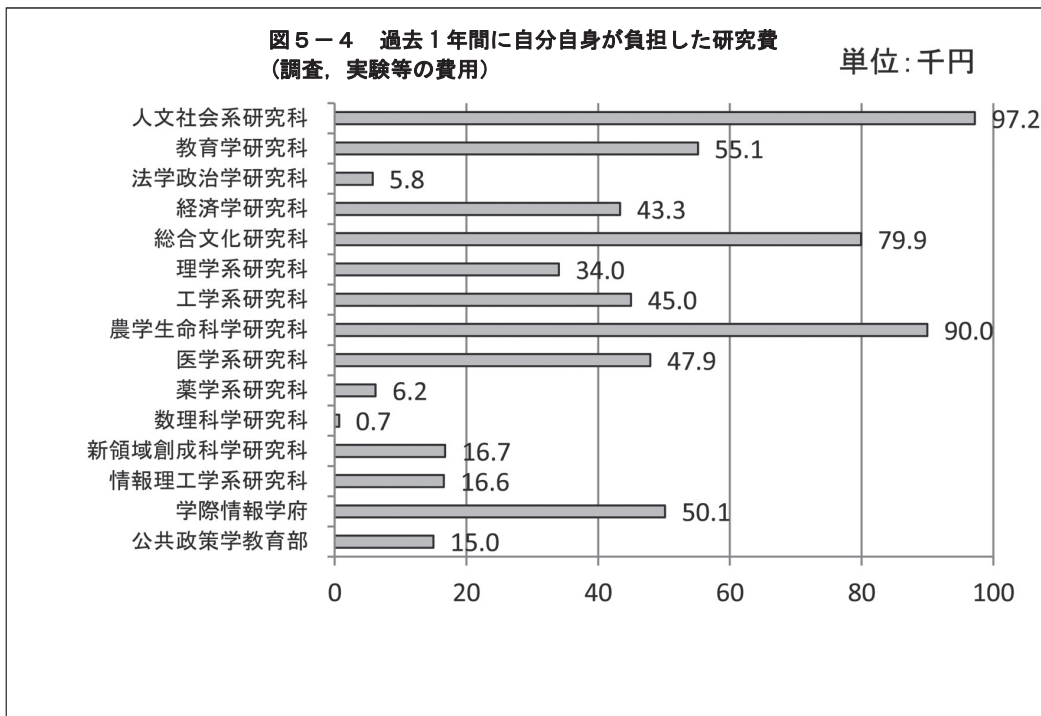


図5-3 過去1年間に自分自身が負担した研究費
(研究に必要なコピー代、その他の文房具の購入費)

単位:千円





1-4. 就職

- ・修士課程在籍者は大学院修了後、「研究職や専門職以外で就職したい」46.3%、博士課程在籍者は「研究職に就職したい」45.4%が第1希望
- ・第1志望職種「大学の教育職、研究職」38.5%
- ・就職の見通しは「かなり厳しい」と「たたない」が文科系52.9%、理科系29.9%

修士課程修了後の進路希望（第2希望まで選択、ただし、前回と異なり第1希望と第2希望の区別はしていない）は、第1希望と第2希望を合わせて、全体としては「研究職や専門職以外で就職したい」46.3%となっている。これを文科系、理科系別にみると、文科系は「修士課程と同じ研究室の博士課程へ進学したい」が61.4%と6割以上を占め第1位であり、「研究職や専門職以外で就職したい」は29.3%で第2位である。一方、理科系は、「研究職や専門職以外で就職したい」が50.9%で第1位であり、「研究職に就職」42.6%を凌いでいる（クロス集計表4-1表）。博士課程修了後の進路希望（第2希望まで選択、ただし、修士課程と同様、前回と異なり第1希望と第2希望の区別はしていない）は、第1希望と第2希望を合わせて、全体としては「研究職に就職したい」45.4%となっている。また、「特別研究員などとして残りたい（研究生を除く）」の4つの選択肢を合せると、62.0%で6割以上の者が研究員を希望している。この値は、前回調査（2004年）よりも14%程度増加しており、研究者としての継続志向の上昇がうかがわれる（クロス集計表4-2表）。

将来の就職先としては、「大学（短大、附置研究所を含む）の教育職、研究職」が38.5%で、前回調査（2004年調査）同様もっとも多く、次いで「国公立研究機関（独立行政法人を含む）の研究職」24.9%、「企業の研究職、技術職」23.6%と続いている。「大学の教育職、研究職」は、男子にも女子にも人気が高く、ともに第1位に挙げられている。また、専門職学位課程在籍者は「専門職（弁護士、公認会計士、税理士、医師等）」を希望する傾向が強いが、40%弱にとどまっている（図6、クロス集計表4-3表）。

「就職の見通しについて、どのように考えていますか」という問いに、36.3%（前回調査36.1%）と約3分の1が「かなり厳しいと思っている」及び「見通しがたたない」と回答しており、特に文科系は52.9%と半数以上を占めている（クロス集計表4-4表）。

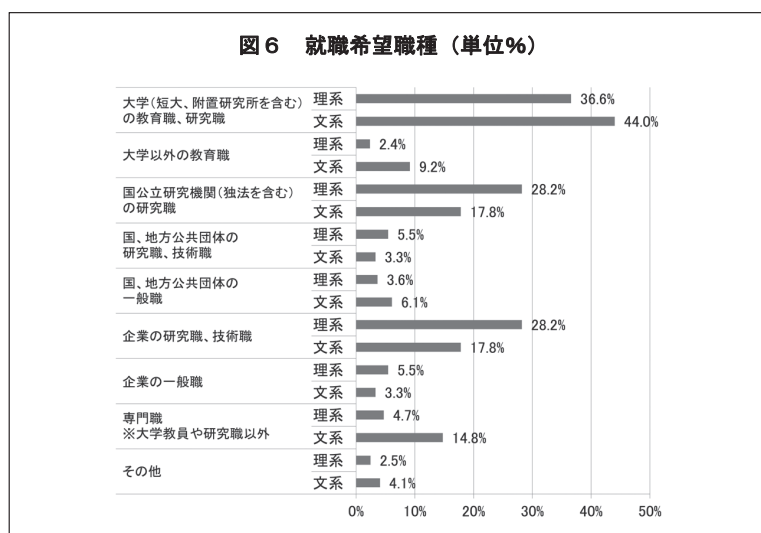
就職の情報について全体では、「自分で情報収集に努める」と答えた者が39.5%と最も多く、特に博士課程者で高い傾向が見られる（クロス集計表4-5表）。

教育職、研究職を目指している者に、「博士課程修了後、何年位で教育職、研究職に就けるとお考えですか」と尋ねたところ、「3～5年」が29.7%と最も多く、次いで「見通しが立たない」28.5%が続いている（クロス集計表4-6表）。



工学1号館前の大銀杏

図6 就職希望職種（単位%）



1-5. 不安・悩み

- ・「将来の進路や生き方」に 82.3%の大学院学生が悩みや不安を感じている。
- ・「よく相談する相手」は友人が多く、大学の相談所や教職員は少ない。
- ・「経済的支援」を求める大学院学生が 83.7%に達した。

学生生活の中で悩みや不安を感じるものとして、大学院学生が「よく悩む」と答えた質問項目は、「将来の進路や生き方」が 49.6%で最も多く、「就職」42.3%、「経済的なことや経済的自立」36.0%、「勉学」26.1%が続いた。とくに「将来の進路や生き方」と「就職」については悩みを抱える大学院学生の割合が高く、「ときに悩む」を加えると「将来の進路や生き方」が 82.3%、「就職」は 75.6%に達した。

この質問項目に関して、修士課程と博士課程では顕著な違いは見られなかった。性別による違いについては、全体に女子学生の方が悩んでいる割合が高い。とくに、「勉学」「将来の進路や生き方」に関しては男女で顕著な差が見られる。「経済的なことや経済的自立」に関しては、文系の方が理系よりも悩んでいる割合が高く、顕著な差が見られる。また、とくに専門職学位課程の学生に「勉学」についての悩みを訴える割合が高かった。（クロス集計表 5-1-1~11 表）

不安や悩みの相談相手では、「よく相談する」かまたは「ときどき相談する」相手は、大学外の友人が 42.8%で最も多く、「学内の同じ学科や研究室の友人」38.9%、「父・母」38.2%、「恋人」34.3%が続いた。

「父・母」を相談相手とするかどうかについては、性別による顕著な差が認められ、女子学生の方が「相談相手とする」と回答した割合が高い。また、対照的に、相談する相手として回答されていた割合が低かったのは、「なんでも相談コーナー・学生相談所等」および「大学の教職員」であった。（クロス集計表 5-2-1~9 表）

最近6ヶ月の間に、体験したり悩んだりしたこととしては、「よく体験した」「ときに体験した」を合わせると、「強い不安に襲われた」は 58.4%、「気分が落ち込んだり、何も興味が持てなくなった」は 39.4%、「やる気がなくなり、無気力状態（アパシー）に」は 38.5%、「人と話していても緊張したり、不安を感じた」は同じく 38.5%、「つつい過食してしまう傾向があった」は 31.7%であった。こうした体験に関しては、全体的に理系よりも文系の方が割合が高い傾向があるが、それぞれ顕著な差というほどではない。また、性別による違いは、全質問項目にわたって女子学生の方がこうした体験をしている割合が高いが、これも顕著な差と

いほどではない。(クロス集計表 5-3-1~12 表)

悩みや不安を解消するために大学の対応として望むこととして「全くそう思う」「まあそう思う」と回答した大学院学生を合わせると、「奨学金の充実や、授業料免除など、経済的支援」を求める声が 83.7%と群を抜いて多い。続いて、「就職指導や進路相談機能を充実」が 67.9%、「進学について相談機能を充実」が 58.6%、「健康相談や保健センターの機能を充実」が 55.4%、「学生同士のネットワークを強化」が 55.3%となっている。こうした要望に対して、性別、在学課程、文系・理系でのとくに顕著な違いは見られない。(クロス集計表 5-4-1~10 表)



三四郎池

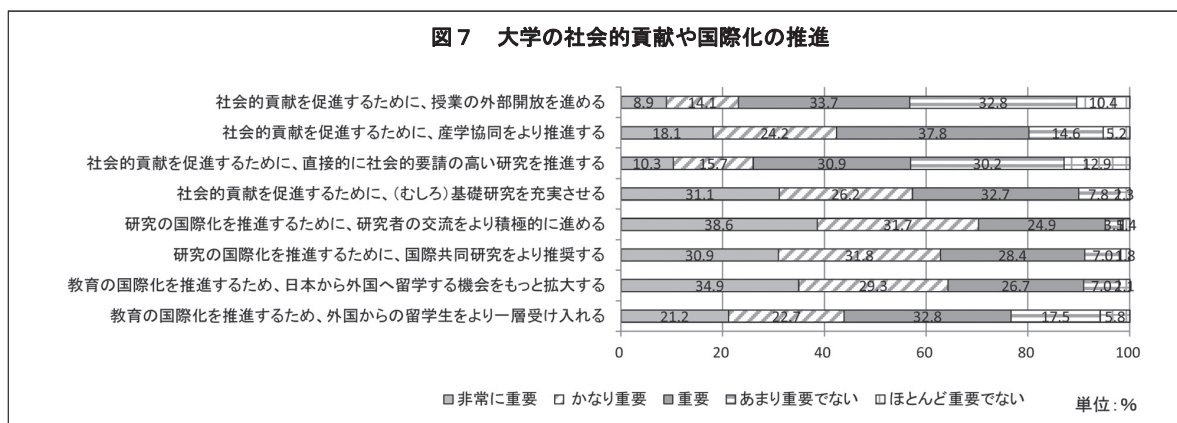
1-6. 大学への要望

- ・大学への要望としては、「奨学金などの拡充や増額」「オーバードクター問題やポストドク問題への対応」が最も高く (5 割近くの学生)、「就職対策の充実」、「教室・研究室の充実」がそれに続いた。
- ・大学の社会的貢献や国際化を推進するための関連事項は、「日本から外国へ留学する機会」「研究者交流」「共同研究をより積極的に」「基礎研究の充実」が 9 割前後と高かった。

大学院学生が大学に要望・期待することとして最も多く選んだ項目は、「奨学金 (育英資金)・育英貸付金などの拡充や増額」48.8%、「オーバードクター問題やポストドク問題への対応」47.1%の 2 つである。これらは 2004 年の調査でも最も多く選ばれていたが、それぞれ 38.6%、39.1%から 10%程度増加していた。「オーバードクター・ポストドク問題」は特に博士課程の学生での要望が高く、67.8%に及んだ。この次に選択頻度の高かったのは「就職対策の充実」26.0%、「教室・研究室の充実」26.7%で、「図書館の充実」16.6%、「教育スタッフの充実」16.6%がこれに続いた。上位 4 項目中 3 項目は就職・経済問題に関連する項目が占めており、いずれも前回より選択者の割合が増加していた。これらに対して、「学生自治の尊重」、「学生自治に対する適切な助成と助言」を選んだ者はわずかに 1.3%と 0.9%で、時代の変遷を実感させる結果であった (クロス集計表 6-2 表)。

大学の社会的貢献や国際化を推進するための関連する項目については、「非常に重要」「かなり重要」「重要」

と評価した者の割合を合計すると、「研究者の交流を積極的に進める」95.2%、「国際共同研究をより推奨する」91.1%、「日本から外国へ留学する機会」90.9%、「基礎研究を充実させる」90.0%が9割前後と高く、「産学協同をより推進する」80.1%がそれに続いた。充実させたい研究の性格に関しては、「基礎研究」の約9割に対して、「直接的に社会的要請の高い研究の充実」は56.9%にとどまった。「授業の外部開放を進める」ことを重要と認識する学生は2004年度と同様比較的少なく、「あまり重要でない」「ほとんど重要でない」を合わせると43.2%に達した（2004年度は41.2%）（図7、クロス集計表6-1-1～8表）。



第2部 学生生活の背景

2-1. 家庭の状況

- ・実家の所在地は59.5%が関東、5年間で変化なし
- ・大学院学生のうち独身者は86.5%、既婚者は13.5%、子どもがいるのは6.7%
- ・父の職業は「専門的、技術的職業」が16.2%、「管理的職業」が15.1%、母の職業は「教育的職業」が8.7%

実家の所在地は、「東京都」25.3%、東京都以外の「関東」が34.2%、合計すると59.5%で、前回調査（2004年（第54回））と比較して0.5ポイント減少したが、ほぼ同じであった。男女別では、「東京都」と「関東」で男子の57.5%に対し、女子は64.3%で前回調査と同様女子が男子を上回っていた。（図8-1～2、クロス集計表8-1表）。

大学院学生のうち独身者は86.5%（前回調査85.5%）、既婚者は13.5%となっていた（クロス集計表8-2表）。

子どもがいると回答したのは回答者の6.7%（男子6.5%、女子7.6%）であった。2人以上子どもがいる者は回答者の2.6%であった（クロス集計表8-3-1～2表）。

「子どもを保育所に預けていますか」の間に、「預けている」と33.3%が回答した。男女別でみると、前々回の調査（1999年（第49回））ではほとんど差がなかったが、今回も前回の調査と同様に、男子が16.1%に対して女子は71.4%で、大幅に女子が上回っていた。（クロス集計表8-4表）。

子どもの世話について男女別にみると、「自分」が主として世話をしていると回答した者は、男性の10.9%、女性の83.9%であり、「配偶者」が主として世話をしていると回答した者は、男性の87.5%、女性の12.9%であった。（クロス集計表8-5-1～2表）。

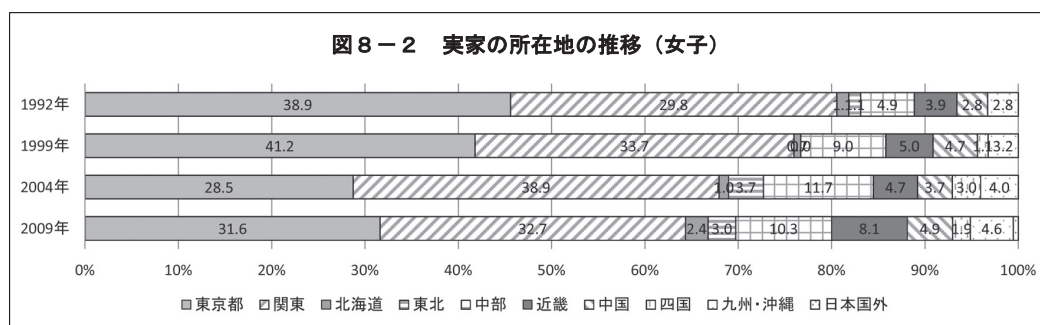
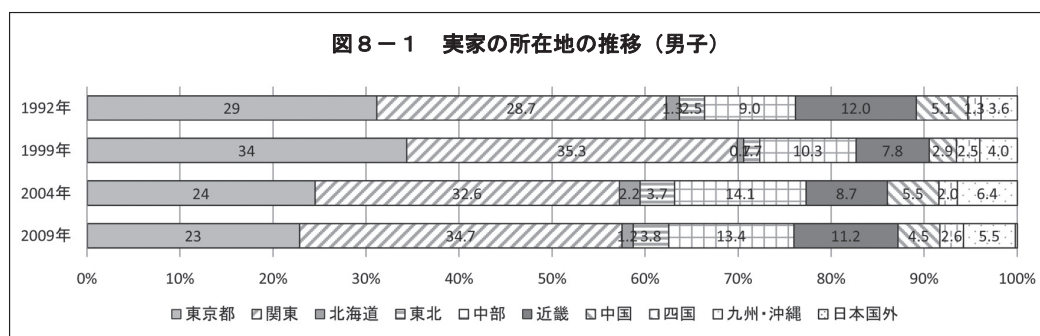
「あなたの家族は、あなたを含めて何人ですか」の間では、「4人」が29.6%（前回調査33.6%）ともっとも多く、「3人」の24.6%（前回調査21.8%）を合すると半数を超えた。これが既婚者のみでは、「2人」が42.4%、

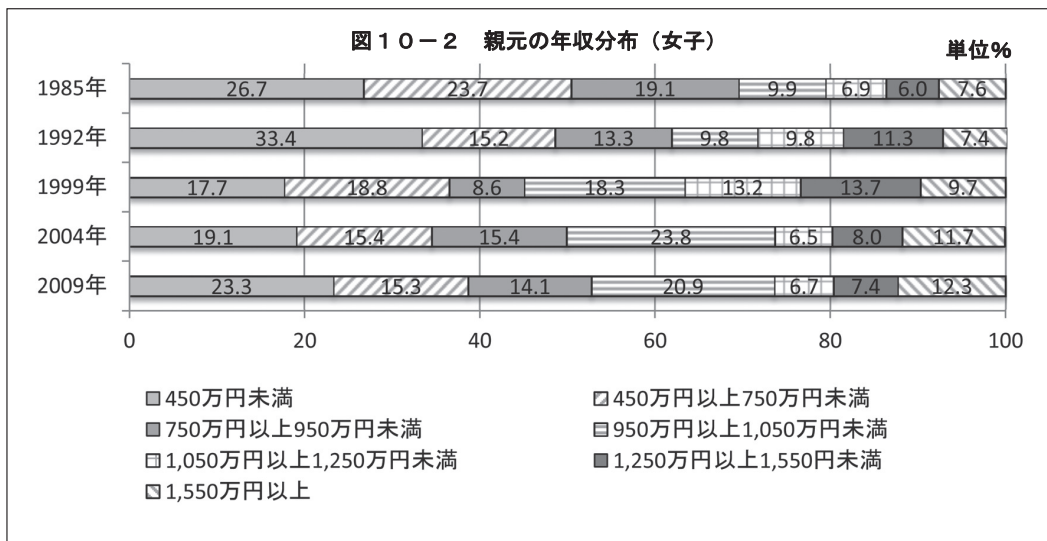
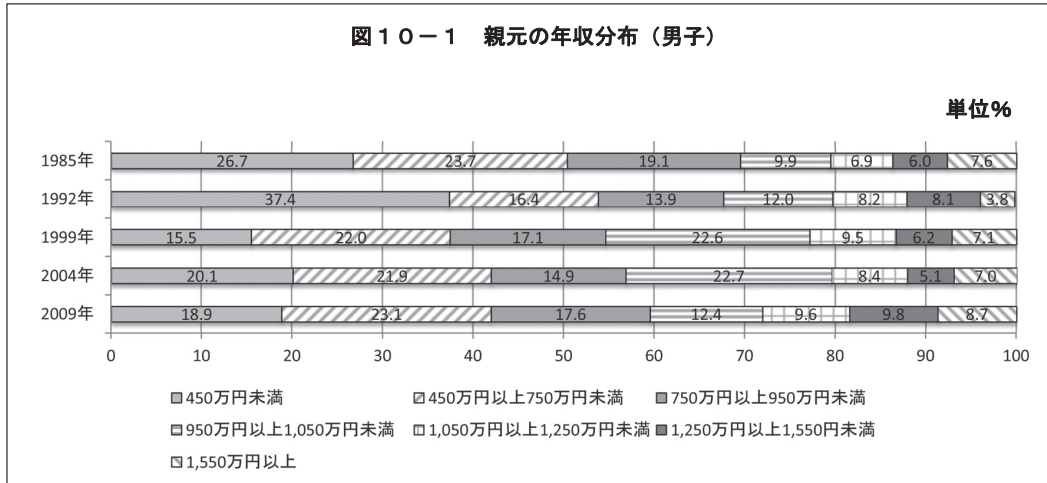
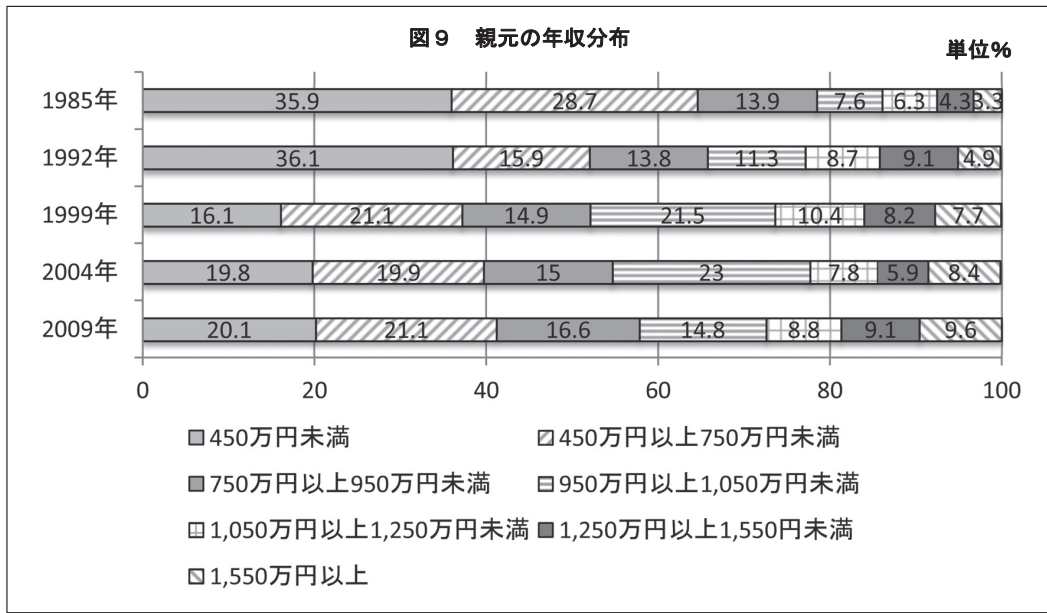
「3人」が32.2%を占めていた（クロス集計表 8-6 表）。

主たる家計支持者は「父」62.8%（前回調査 66.2%）、「本人」31.2%（前回調査 22.6%）、「母」21.5%（前回調査 5.2%）の順となっていた。「母」が前回調査と比較して大幅に増加している要因は、今回調査より複数回答を可能としたためであろう。既婚者に限ってみると、「本人」66.1%、「配偶者」46.9%の順となっている。既婚者について男女別にみると、「本人」が主たる家計支持者であると回答した者は男子の87.6%、女子の27.0%であり、「配偶者」が主たる家計支持者と回答した者は男子の27.4%、女子の81.0%であった（クロス集計表 8-7 表）。

職業については、父は「専門的、技術的職業」が16.2%、「管理的職業」が15.1%、「教育的職業」が8.3%であった。母は「教育的職業」が8.7%、「事務」が7.2%、「専門的、技術的職業」が5.0%であった。なお、本人は「専門的、技術的職業」が7.9%、「教育的職業」が2.1%であった。（クロス集計表 8-8-1～2 表）

親元の年収（社会人入学者は自分）については、「1,050万円以上」が27.5%であった（前回調査 22.1%）。ただし、この間への回答者は29.0%であり、「わからない」が26.2%、その他の44.8%は無記入であった。（図 9、図 10-1～2、クロス集計表 8-9-1～3 表）。





2-2. 生活費の状況

- ・生活費は修士課程 133,020 円、博士課程 177,730 円。
- ・収入は修士課程 136,890 円、博士課程 248,340 円。
- ・修士課程の収入は「仕送り」、博士課程の収入は「助成金」が最多。
- ・「助成金のみ」を収入として生計を立てるものが 15.3%と最多。

一ヶ月当たりの「支出総額」（100 円未満四捨五入）は月平均 156,500 円で、前回調査時（2004 年・第 54 回）と比較すると、7,400 円の増加となっている。修士課程在籍者 133,000 円、博士課程在籍者 177,730 円、獣医学または医学を履修する博士課程在籍者 243,970 円、専門職学位課程在籍者 178,300 円となっている。各費目の支出では、住居費が 48,600 円と前回調査時より 3,100 円増加しているほかは、大きな変動はみられない（クロス集計表 9-1-1 表）。

一方、「収入総額」（100 円未満四捨五入）は月平均 188,200 円で、前回調査時から 12,300 円の増加となっている。修士課程在籍者 136,890 円、博士課程在籍者 248,300 円、獣医学または医学を履修する博士課程在籍者 347,740 円、専門職学位課程在籍者 190,400 円となっている。収入源としては全体では「助成金・奨学金」が最多で 57,970 円（前回調査時より 3,400 円増加）、次いで「家庭からの仕送り小遣い」43,080 円（3,800 円減）、「定職」37,600 円（11,600 円増）となっている。課程別では、修士課程在籍者では「家庭からの仕送り・小遣い」が最多の 58,620 円であるが、博士課程在籍者と専門職学位課程在籍者では「助成金・奨学金」がそれぞれ 76,730 円、67,250 円で最多であり、特に博士課程在籍者では「学内研究経費等」（今回調査新設項目）による経費と併せると 119,630 円となり、前回調査時の「助成金」と比較すると約 34,000 円の増加となっている。獣医学または医学を履修する博士課程在籍者では「定職」が 123,530 円で最多となっている（クロス集計表 9-2-1 表）。

収入形態の分布では、「助成金のみ」が 15.3%で最多であり、次いで「仕送りのみ」15.1%、「仕送り+アルバイト・定職」13.4%、「仕送り+助成金」12.4%、「アルバイト・定職のみ」10.7%となっている（クロス集計表 9-4 表）。



文学部 3 号館附近

図 11-1

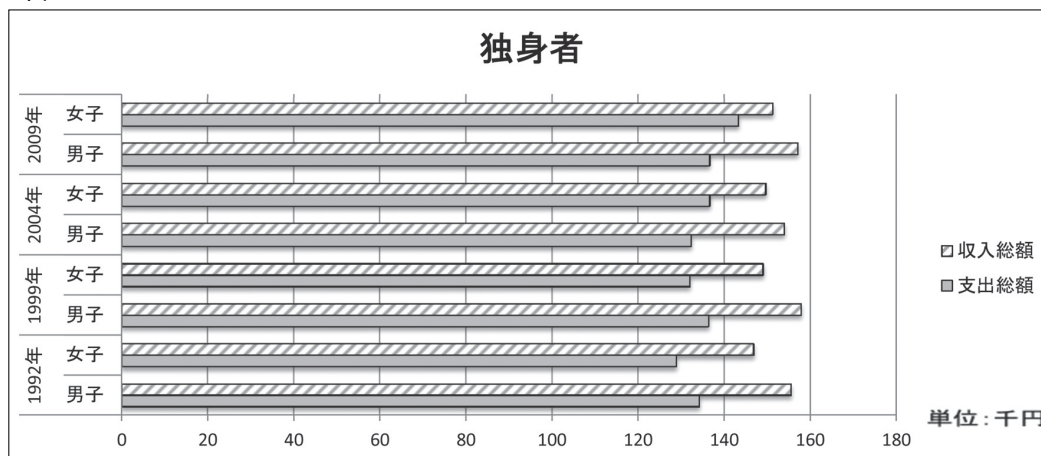
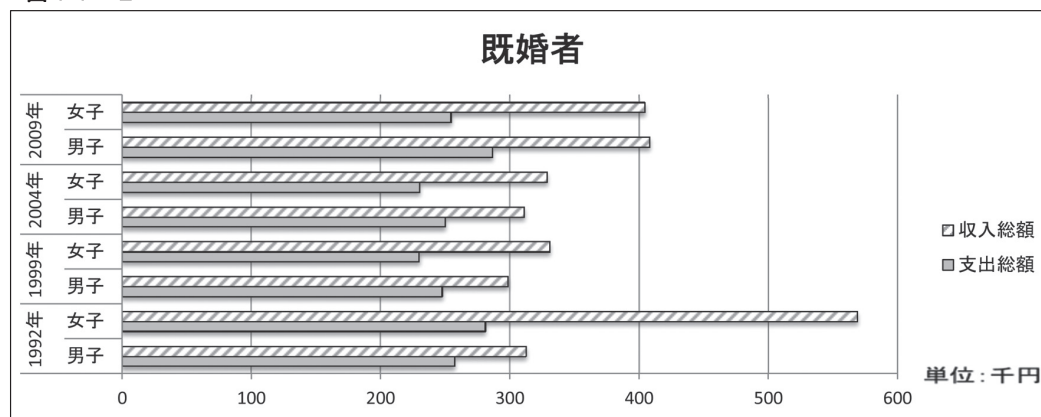


図 11-2



2-3. 研究奨励金及び奨学金

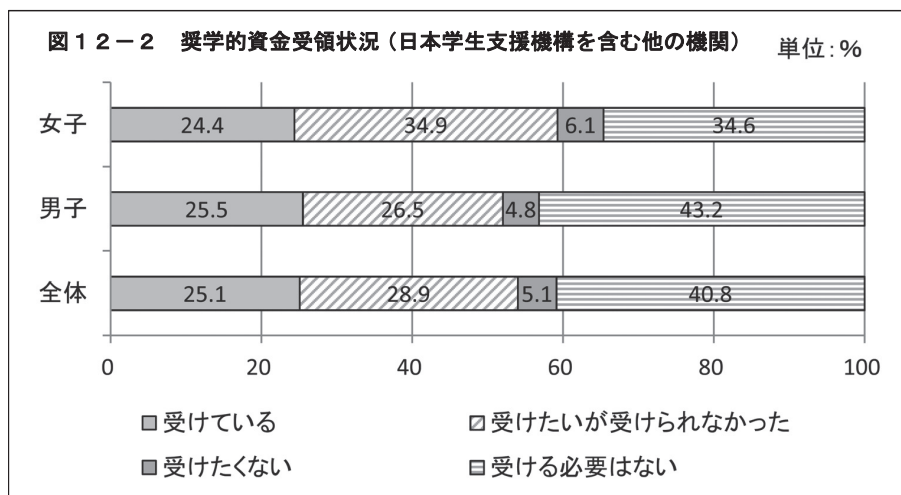
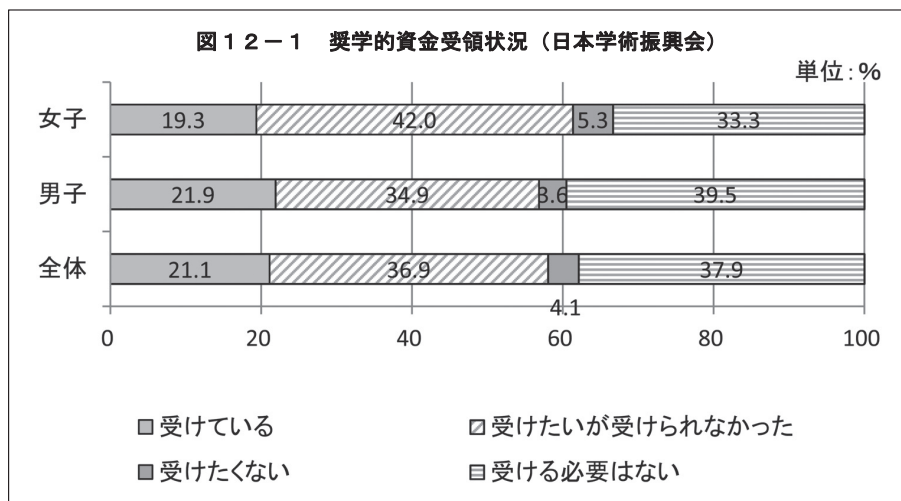
- ・奨学金利用学生のうち圧倒的多数は日本学生支援機構から貸与を受けている
- ・用途は「生活費」、「研究・勉学費」、「授業料」が中心

日本学術振興会の研究奨励金およびその他の奨学金の受領状況をみると、それぞれ21.1%と25.1%が受領している。男女差をみると、日本学術振興会で女性の受領者が多少少なく、19.3%、男性が21.9%となっている。また、その他の奨学的な資金でも、男性25.5%、女性24.4%となっている。奨学的な資金を受けている者のうち日本学生支援機構が66.1%、日本学術振興会が21.1%となっている。また、日本学術振興会の研究奨励金を「受けたかったが受けられなかった」者は36.9%、「受けたくない」とした者は4.1%であった。一方、他の奨学的な資金では、「受けたかったが受けられなかった」者は28.9%、「受けたくない」とした者は5.1%であった。前回調査と比べて、日本学生支援機構の割合が低下し、日本学術振興会が増加している。その結果、日本学生支援機構と日本学術振興会を合わせた割合は、6%近く低下している。いずれにせよ、学生の得ている奨学的資金の多くは、この二つの組織からのものである(クロス集計表10-1~2、4表)。

一方、奨学的な資金を受けたかったが、「受けられなかった」あるいは「受けたくない」と回答した理由とし

では、「出願したが採用されなかった」が25.0%、「貸与なので申請しなかった」が17.5%、「事務手続きが煩雑だから」が7.8%であった（クロス集計表 10-3 表）。

奨学的な資金の主たる支出目的(3つまで選択可)は、「生活費(衣・食・住居費)」77.7%、「研究・勉学費」45.8%、「授業料」44.2% 「教養・娯楽費」21.4% 「貯金」11.8%の順となっている。前回調査と比べて「貯金」のみが9%増加し、あとの費目はあまり差はみられなかった（クロス集計表 10-5 表）。



学生支援センター（本郷キャンパス）1階
教育・学生支援部奨学厚生課
（奨学金、授業料免除、宿舎申請担当課）

2-4. アルバイト

- ・アルバイトをしている大学院学生が 58.5%
- ・アルバイトの種類は「TA・RA」、「塾・予備校の講師」、「家庭教師」が多い
- ・週に 12.7 時間、月額で 62,400 円
- ・アルバイトの主な目的は「生活費を稼ぐため」が最も多い

アルバイトをしていると 58.5%が回答しており、前回調査（第 54 回実態調査）の結果 72.1%に比べて大きく比率を下げていることが特徴的である。「継続的」（1 ヶ月以上）アルバイトをした者が 37.9%と多くなっている。これも前回調査の 50.1%に比べて低い数字となっている。男女別にみると、男子 57.1%に対し、女子は 61.7%で前回調査と同様若干ながら女子が男子を上回っている（クロス集計表 11-1 表）。

アルバイトの種類（2 つまで選択可）は、「TA・RA」（「TA」は Teaching Assistant の略、「RA」は Research Assistant の略）は 30.2%がもっとも多く、次いで「塾・予備校の講師」17.9%、「家庭教師」15.4%、「研究事務補助」12.2%の順となっている。しかし、前回調査結果では、「TA・RA」は男女別にみると、「TA・RA」は男子 31.8%、女子 26.6%でもっとも多く選択している（クロス集計表 11-2 表）。

アルバイトに費やした 1 週間当たりの平均時間は、12.74 時間で、これは前回の調査結果 12.3 時間とあまり大きな変化はない。しかし、1 か月当たりの平均収入額は 62,400 円となっており、前回調査結果の収入額 68,900 円よりも約 1 割下がっている。（クロス集計表 11-3 表）

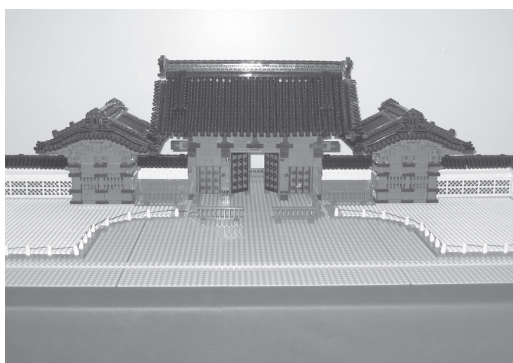
アルバイトの紹介者（2 つまで選択可）は、「友人・知人等」36.3%、「インターネット」24.1%、「指導教員」21.5%、「アルバイト先と直接」16.1%と続いていて、インターネットが高い割合を示しているのが特徴である。（クロス集計表 11-4 表）。

アルバイトをした理由では、「生活費を稼ぐため」と回答する者が 53.3%と過半数を占めており、また「奨学金を稼ぐため」15.8%を合せると、約 7 割に達する（クロス集計表 11-5 表）。

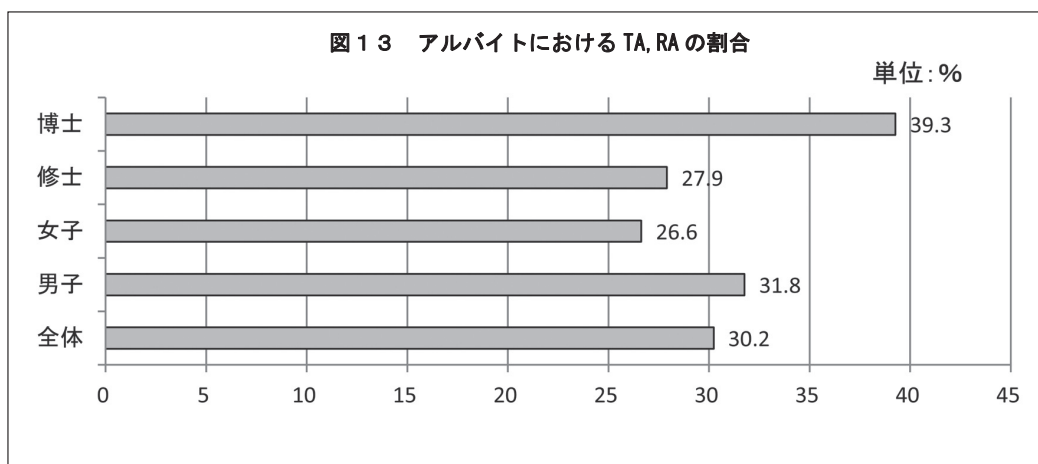
アルバイト収入の主たる用途（2 つまで選択可）は、「生活費（衣・食・住居費）」が 62.8%でもっとも多く、次いで、「教養・娯楽費」37.7%となっている（クロス集計表 11-6 表）。

「継続的アルバイトが勉学の妨げになりませんでしたか」という問に、「多少妨げになった」41.0%（前回調査 45.0%）、「かなり妨げになった」12.8%（前回調査 9.6%）の回答があり、双方合せると 53.8%（前回調査 54.6%）を占めた。前回調査 54.6%と比べてあまり変化はないが、「かなり妨げになった」と答えている割合が増えるなど、依然と勉学への影響を及ぼしているようである（クロス集計表 11-7 表）。

現在の暮らし向きについては、「かなり楽な方」及び「やや楽な方」と答えた者は 33.5%で、前回調査結果 32.6%に比べてやや上昇している。しかし、「やや苦しい方」及び「大変苦しい方」と答えた者は 30.2%であり、前回調査の結果 29.9%に比べて少し上昇しており、依然として 3 割近い比率の大学院学生が生活が苦しいと感じていることが読み取れる。（クロス集計表 11-8 表）



レゴ部作製「赤門」
展示場所：学生支援センター（本郷キャンパス）
B1 学生ギャラリー



2-5. 研究・学生生活のサポート体制

2-5-1. 研究・学生生活のサポート体制

- ・「通学所要時間」は平均 46.3 分
- ・利用者の各施設・設備への満足度は高いが、「研究科内の学生控え室・談話室・ラウンジ」に関しては、不満の方がやや高い。

通学・住居に関する調査はこれまで数回行っているが、3つのキャンパス（本郷、駒場、柏）とその他へそれぞれ通う大学院学生に、各キャンパスへのアクセスについて、どう考えているのか、聞いたものである。また、前回調査に引き続き、学内諸施設に対する設問を設けた。

2-5-2. キャンパスへのアクセス

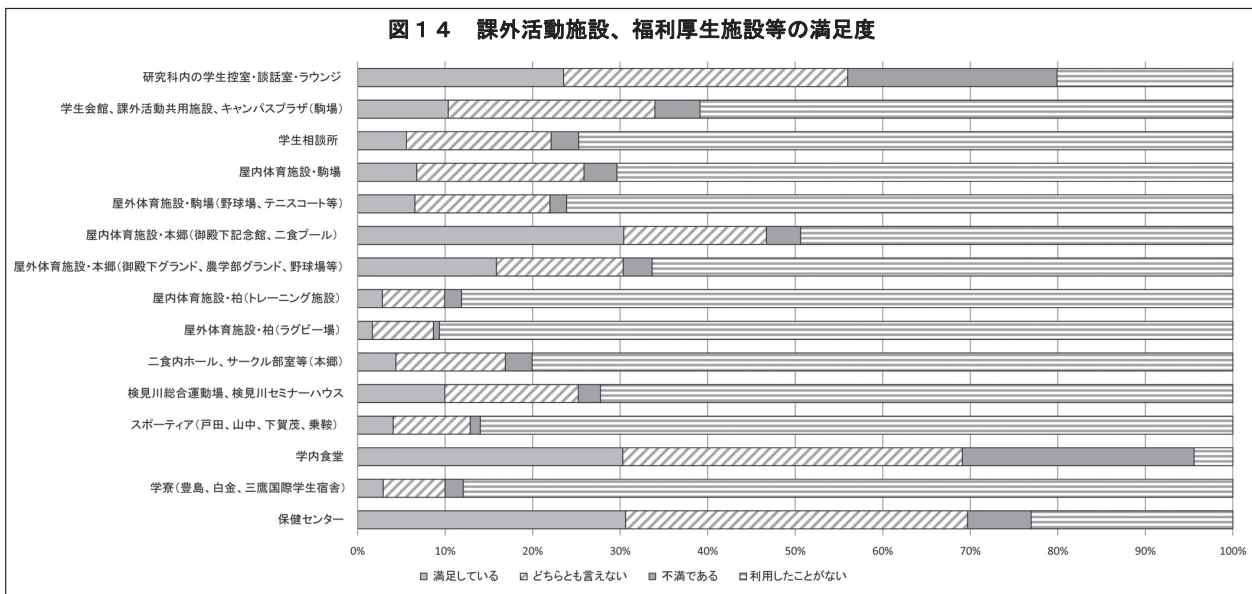
通学に利用している交通機関（複数選択）は、前回調査（1999年（第49回））では主たるものを移動時間の多い順に2つまで選択可としていたが、結果は前回と同様に「電車」が62.9%でもっとも多く、次いで「自転車」39.6%、「バス」10.3%、「徒歩のみ」8.5%の順となっている。キャンパス別で見ると、「本郷」は「電車」と「自転車」「バス」が多く、「駒場」は同様な傾向にあるが、「柏」は「自転車」62.5%がもっとも多く、また「バス」26.9%、「自家用車」13.8%、「バイク」5.0%の利用が、他キャンパスよりも高い（クロス集計表 12-1 表）。

通学所用時間は、片道平均 46.3 分で前回調査（45.9 分）より少し長くなっている。キャンパス別では、「柏」への所用時間が 44.7 分でもっとも短く、「駒場 II」が 44.9 分とほぼ等しく、「本郷」が 46.1 分、「駒場 I」が 49.6 分と最も長くなっている（クロス集計表 12-2 表）。

2-5-3. キャンパス内の諸施設

本学の課外活動施設、福利厚生施設等の満足度を全 15 項目について聞いたところ、図 14 のように、研究科内の学生控え室・談話室・ラウンジに関しては、満足 23.5%に対して不満の方が 23.9%と多くなっている。この項目を除いていずれの項目が「満足している」が「不満である」を上回っている（クロス集計表 12-3-1 表）。

ただし、研究科内の学生控室・談話室・ラウンジを除いて、いずれの項目も利用したことがない者が多くを占めている。



学生支援センター(本郷キャンパス)
1階 学生ラウンジ

〔特殊分析の試み〕

大学院学生の不安・悩みについて

はじめに

今回の特殊分析では、前回の大学院学生を対象とする調査（2004年）では含まれなかった、「不安・悩みについて」を取り上げる。質問項目の概要は、1) どのような領域で悩みがあるか 2) 悩みを誰に相談するか、3) 広義のストレス反応を体験しているか 4) 大学に対してどのような対応を望むか、の4項目としてまとめられる（項目番号では、40-43）。以下、それぞれについて、検討してみよう。また、ここでは自由記述で書かれていたことも一部参考にして考察する。

1) どのような領域で悩みがあるか

ここでの質問は、「現在の学生生活のなかで、次の各項目について、どの程度悩んだり不安を感じたりしていますか」というものである。項目は「その他」を含む12項目で、11項目は「よく悩む」「ときに悩む」「あまり悩まない」「全く悩まない」のどれかをマークする形式である。以下に、「よく悩む」と「ときに悩む」の合計%を指標に検討してみよう。

11項目中、合計%が最も高かったのは、「将来の進路や生き方」で82.3%である。これは、「就職」75.6%、「経済的なことや経済的自立」71.1%と密接な関係があるだろう。この数字は、東大の大学院学生も就職難に直面し、特に研究者を志望する学生は将来の生活設計が思うように描けないという現実を如実に反映しているのではないだろうか。この傾向は近年、とくに顕著になってきたように思われる。

将来設計は、「勉学」58.2%、さらには、「人生の意義・目標」56.9%、「性・異性・恋愛・結婚」51.3%、「進学」40.2%とも関係しているだろう。「勉学」の悩みは、研究成果が思うように出ないときに顕著になりやすい。研究能力の悩みは進路の選択に直結し、修士課程から博士課程に進学するかどうか、他の研究分野や大学院に移るかどうかで悩んだり、博士号取得が3年間で難しいと感じたとき、何歳まで挑戦するか、退学して就職するならどのようなところにするかで悩む学生もいる。

「性・異性・恋愛・結婚」で悩む学生は半数を超えている。大学院学生では、恋人ができないと悩む学生もいるだろうが、恋人ができて結婚まで視野に入れたときに、結婚して経済的にやっていけるか、子どもをつくるか、相手と同居できるかといった問題に直面する学生もいる。

自分の「性格」46.0%や「体調や健康」44.1%で悩む者も少なくない。「教職員との対人関係」37.2%は、「友人との対人関係」28.8%よりも高い。

ちなみに、2008年に行われた学部学生対象の調査では、同様の質問に対して、「よく」または「ときに」悩む学生は、「将来」82.5%、「就職」68.2%、「勉学」66.9%、「経済」65.1%、「人生」61.1%、「異性」60.4%、「進学」58.2%、「性格」57.2%、「体調」38.3%、「教職員との関係」9.8%、「友人との関係」44.1%となっている。両者とも「将来」「就職」「経済」「勉学」、あるいは、「異性」「人生」等で悩む者が多い。

また、両者の差が比較的大きい項目を見ると、大学院学生は学部学生よりも、「教職員との関係」に悩む人の割合が多い。大学院では、研究室のスタッフ、とりわけ指導教員との関係が非常に重要になるので、そこでストレスを感じる人も増えるのだろう。一方、「進学」「友人との関係」については、大学院学生の方が悩む人の割合が少ない。東大では、学部学生の進学の悩みは進学振り分けにからんで生じることが多いのでこのような差が生じるのかもしれない。また、友人関係は学部時代に模索し、大学院時代にはむしろ少数で安定しているのかもしれない。それでも4人に1人は悩んでいることになる。

2) 悩みを誰に相談するか

不安や悩みを感じたときの相談相手として選ばれているのは、「大学外の友人」が42.8%が最も多く、「同じ学科の友人」38.9%、「父母」38.2%、「恋人」34.3%、「先輩」33.1%が続き、「サークルの友人」18.2%、「兄弟・姉妹」15.1%、「大学の教職員」11.8%、「何でも相談コーナー、学生相談所」3.0%の順になっている。相談相手には友人や恋人、先輩が選ばれるだけでなく、大学院学生でも親に相談するケースがけっこう多いことがわかる。専門の相談機関は、むしろ、そういう相手では十分対応できないときに利用されるのではなからうか。

3) 広義のストレス反応を体験しているか

ここでは、いくつかの項目をたてて、広義のストレス反応（あるいは「メンタルヘルス」）に関連するような体験について、「よく体験した」「ときに体験した」「あまり体験しなかった」「全く体験しなかった」の4件法で問うている。以下に、「よく体験した」と「ときに体験した」の合計%を提示して検討しよう。

「強い不安」58.4%。この数値は、けっこう高いように見えるかもしれない。しかし、東京大学の大学院学生であっても、数年で世界の最先端の水準に到達できるかどうか、学位がとれてもその先に望ましい就職先があるかどうかなどと考えだすと、ときに強い不安に襲われる人も多いのではないだろうか。

「鬱状態」39.4%。保健センター精神科や学生相談所を訪れる学生のなかには、鬱病や鬱状態の人がかなり多い。東大の大学院学生では、これまでの人生で初めて学問領域で能力の限界を感じたり、教員にひどく叱責されたりしたことがきっかけになって、鬱状態になる人もいる。

「無気力」38.5%。この項目は、「やる気がなくなり、無気力状態（アパシー）になった」と記述されているので、典型的な鬱病の周辺領域といったニュアンスで捉えられたと思う。ちなみに、いわゆる「スチューデント・アパシー」とは、専門分野の研究意欲は低下するが、アルバイトやサークル活動は続けられるとか、専門以外の分野には興味ももてるといったケースを言う。いずれにせよ、本人はこうした状態に苦しんでおり、怠けているように見えても、安逸をむさぼって楽しんでいるわけではない。

「対人場面での不安・緊張」38.5%。学会発表や論文審査などの場では、ある程度、緊張することは自然だろうが、研究室での日常会話や懇親会での雑談などでもかなり強い不安や緊張を感じる学生がいる。特に、自分にはいわゆる「コミュニケーション能力」が乏しいと感じて苦しんでいる学生もいる。

「過食」31.7%。ここには「過飲」は含まれていないが、この項目を「ついつい食べ過ぎたり、飲み過ぎたりしてしまう傾向があった」とすれば、この数字はもっと高くなるだろう。ストレスを一時的に麻痺させたり緩和したりするために食べ過ぎたり飲み過ぎたりすることは、かなり一般的に認められるのではなからうか。しかし、大量に食べた後で、意図的に嘔吐したり、毎日かなりの量のアルコールを摂取するようなケースでは、何らかのケアがなされる必要があるだろう。

「強迫観念・強迫行為」31.0%。東大の大学院学生や学部学生のなかには、完全主義の人がけっこう多いように思われる。研究を進める際には、ある程度、強迫的に取り組む必要が出てくることもあるだろう。けれども、ささいなことや非合理的な考えにとらわれて、日常生活に支障が及ぶのは、やはり問題である。

その他、「人と一緒にいてもさびしい感じがする」28.6%、「イライラしたり、物を壊したり人を傷つけたりしたい衝動にかられた」25.2%、「他の人が自分に敵意を持っている、人から監視されている」16.2%などといった体験をしている学生もいる。熾烈な競争原理に支配されがちな環境では、このような体験が生じやすいかもしれない。

また、「食欲不振」16.4%、「（身体疾患によらない）息切れ・めまい・動悸」15.5%、「乗物恐怖」5.3%を体験した人もいる。

4) 大学に対してどのような対応を望むか

以上のような悩みや不安を感じたとき、大学院学生は、大学に対してどのようなことを希望するのだろうか。ここでも、「全くそう思う」「まあそう思う」「あまりそう思わない」「全くそう思わない」のうち、はじめの2つの合計%が高い順に並べてみよう。

「奨学金、授業料免除などの経済的支援」83.7%

「就職や進路相談機能の充実」67.9%、

「進学についての相談機能の充実」58.6%

「健康相談や保健センターの機能充実」55.4%

「学生同士のネットワーク作りの強化」55.3%

「学生相談やカウンセリング機能の充実」52.5%

「教職員と接触する機会を増やす」44.4%

「学習に関する相談機能の充実」43.5%

「教務課や学生課などの機能充実」31.3%

「クラス担任やチューター制度」26.3%

以上の結果を、自由記述欄に記載されたことと照らし合わせてみると、まず、相当多数の学生が経済的問題に直面していることがわかる。学費や生活費を捻出するのが困難で、かなり切り詰めた生活をしたり、アルバイトのために研究時間が縮小されて苦しんでいる学生もいる。授業料免除や奨学金制度の充実を求める声は切実である。経済的問題は、就職の問題とも直結している。2年間で修士号が、3年間で博士号がとれるだろうか、それ以上の年数がかかった場合は経済的にやっていけないのではないか、大学院を中退した場合には就職先がないのではないか、あるいは、博士号がとれても望むような就職先があるだろうか、安定したポストに就職できない期間に奨学金の返済を迫られたら、経済的にはどう立ちゆかせればよいだろうか、などといった苦悩に苛まれている大学院学生はかなり多いように思われる。

また、研究環境や人間関係で悩む大学院学生も少なくない。とくに、大学院になると、研究室での人間関係が密になる（しかも、十分なサポートが得られないことがある）ので、劣等感や疎外感を感じたり、教員からアカデミック・ハラスメントを受けたと感じて、苦しんでいる人もいる。

これらのストレスから、心身の不調が生じている人も、かなりいるのではないだろうか。

もとより、不安や悩みがなくなることは期待できないが、以上の結果に鑑みれば、本学では、さらなる経済的支援策を検討し、大学院学生が将来設計しやすいシステムを整え、学生相互のネットワーク作りや各種相談機能の充実も図って、大学院学生達が身体的にも精神的にも健康な状態で研究生活を送れるように配慮することが、喫緊の課題の1つになっていることは確かだろう。

〔総合分析の試み〕

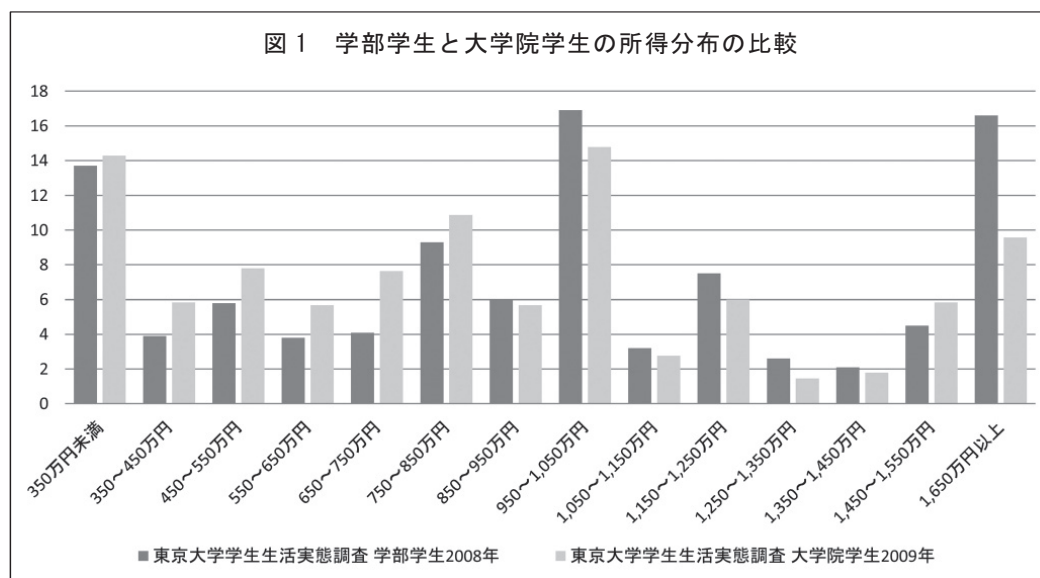
ここでは、「学生生活実態調査」の第59回（2009年）から、いくつかのトピックを選び、その総合的な分析を概観する。ここまでの分析は、質問項目の属性別分析を中心としていたのに対し、ここでは、質問項目間の関連などを分析の対象とする。より詳細な分析は、大学総合教育研究センターによってまとめられ、東京大学広報の特集として、刊行されるので、そちらを参照いただければ幸いである。

1. 所得階層別分析

1-1. 大学院学生の所得階層別分布

所得階層別の在学状況は、高等教育機会の均等の状況を示す重要なデータである。大学生が在学すると想定される世帯主年齢が45-54歳世帯（以下、一般世帯と呼ぶ）の所得分布（総務省統計局「家計調査」2009年度と、学生生活実態調査による東京大学の大学院学生の親元の所得分布を比較すると、明らかに、東京大学の大学院学生の所得分布は1,500万円以上の高所得層が多くなっているが、900～1,500万円は一般世帯より少ない。また200万円未満の低所得層も一般世帯より多いという分布になっている。このように、高所得層が多いことも否定できないが、中高所得層ではむしろ一般世帯より少ない。

学部学生の2008年度の調査結果と比較すると図1のように、1,450～1,550万円を除き、850～950万円より1,550万円以上のすべての層で学部学生の方が多くなっている。逆に、850万円未満のすべての所得階層で、大学院学生の方が多くなっている。このように、学部学生と比較すると、大学院学生の所得階層の方が低くなっていると言える。



日本学生支援機構の「学生生活調査」は、東大生も含む、日本の大学院学生の親の所得を示している。2006年度調査の結果と比較しても、東京大学の大学院学生の親の所得分布はやや高所得層が多いものの他の大学の大学院学生とそれほど違うわけではない。さらに、修士課程、博士課程、専門職課程別に見ても、同じ傾向が確認できる。

1-2. 本学を選んだ理由

所得階層別の相違として注目されるのは、所得階層が低いほど、本学を選んだ理由として、経済的理由をあげている傾向がみられることである。所得450万円未満の層では15.3%が経済的理由をあげているのに対して、所得1,250万円以上の高所得層では、6.1%と約3分の1に過ぎない。これは、低所得層にとっては、授業料が安い国立大学ということが、本学を選択した理由になるのに対して、高所得層では、それほど大きな選択の理由にならないためとみられる。

1-3. 学費・生活費と暮らし向き

学費・生活費の収入計については、むしろ所得階層による差が見られないことが注目される。これは、家庭からの仕送り以外の様々な収入源（日本学術振興会、日本学生支援機構、アルバイトなど）から、収入を得ているためである。これらの個別の収入源についても、家庭からの仕送りを除いて、所得階層による有意な差はみられない。

アルバイトをした理由については、学生生活を楽しむためと答えた者は所得階層が低い者ほど少ない(450万円未満4.1%、1,250万円以上20.8%)。また、アルバイト収入の用途についても、教養・娯楽費は、低所得層ほど少ない傾向がある(450万円未満9.3%、1,250万円以上47.2%)。このように、アルバイトの理由や用途に関しては、所得階層による相違が見られる。

最後に暮らし向きについては、低所得層ほど厳しいという答えが多くなっている。450万円未満の低所得層では、「大変苦しい方」と「やや苦しい方」を合わせて51.3%と半数以上を占めているのに対して、「かなり楽な方」は5.8%と1割にも満たない。これに対して、1,250万円以上の高所得層では、「かなり楽な方」が29.1%で、「大変苦しい方」が4.5%と、ほぼ逆の傾向を示している。

2. 留学経験とその影響について

2-1. 留学経験の規定要因分析

大学院学生で留学経験のある者（以下、留学経験者）は、修士課程では1.6%、専門職課程では1.8%、獣医学課程では2.6%に過ぎないが、博士課程では、14.7%とかなりの者が留学を経験している。また、学年があがるにつれ、留学経験者は増加し、1年では2.6%にすぎないが、5年生では25.0%と4分の1、6年生では55.6%と過半数が留学を経験している。さらに、博士課程について、大学院入学以前の出身大学等別にみると、本学の出身者では、留学経験者18.6%と多くなっているが、他大学の大学院学生の場合には8.7%と約半分になっている。また、社会人の場合にも1.7%と少なくなっている。ただし、こ

これは博士課程の学生の場合のみで、修士課程ではこうした出身大学別には有意な差はみられない。

さらに、現在所属する大学院を選ぶ際に、他の進路として外国の大学院を考えた者は、留学経験率が17.8%と高いのに対して、ない者は5.4%となっている。また、大学院に入学した目的として、大学等の研究・教育職を目指した者は留学経験率が11.3%とそうでない者の3.8%に比べ著しく高くなっている。

2-2. 留学経験の影響

留学経験が学生生活に及ぼす影響として、次の4点をあげることができる。留学経験者は未経験者と比べ以下のような特徴がある。

(1) 留学や国際交流に積極的である

留学経験者は、さらに留学をしたいという希望を持つ者（「留学したい」と「どちらかといえば留学したい」の計）が81.8%と多く、「留学したくない」と答えた者は、わずか1.2%にすぎない。他方、留学経験のない者では、留学希望は66.6%で、「留学したくない」と答えた者も12.6%と多くなっている。留学経験は、さらなる留学希望を促進すると言えよう。

(2) 学生生活は、真面目で学術的である

留学経験者は、研究・勉強費に月額3.2万円と、留学未経験者の1.3万円に比べ、かなり多く支出している。ただし、留学経験者は学年があがるにつれて多くなることから、この差は学年による差である可能性がある。学年があがるにつれて、研究・勉強費も多くなるからである^{※1}。そこで、重回帰分析によって、学年をコントロールしても、特に、留学経験者は、留学経験のない者より、研究・勉強費に多く支出していることが確認できる。

※1 実際、研究・勉強費支出は学年があがるにつれて、増加している。

(3) 将来は、教育職・研究職志望が多い

大学（短大、附置研究所）の教育職・研究職、大学以外の教育職、国公立研究機関（独法を含む）の研究職、国・地方公共団体の研究職・技術職のいずれも、留学経験者の方が、進路希望では高くなっている。留学経験者は、研究・教育志向が強いことが、将来の進路希望にもあらわれていると言えよう。

(4) 生活には経済的に不安をもっている

経済的なことや経済的自立について「よく悩む」者は留学経験者では、50.0%であるのに対して、留学経験のない者では、34.8%と少なくなっている。これに対して、「全く悩まない」者は、留学経験者では、4.7%に対して、留学経験のない者では7.4%と多くなっている。

ただし、これらの傾向については、さらに多変量解析で検証すると、必ずしも有意なものだけではない。今後さらに分析を進めていく必要がある。

3. 大学院学生の就職に関する悩みについての分析

今回の調査を通じて、大学院学生の学習生活の中で悩みや不安を感じるものとして、「就職」について「よく悩む」と「ときに悩む」の回答者は合わせて3分の2を超えている結果となっている。本稿は、就職に悩みを抱えている学生の特徴および関連要因を明らかにしようと試みた。その結果、いくつかの知見

を得られた。

3-1. 学生の属性から見られる特徴

まず、学生の属性から次のような特徴が見られた。

「就職」について「よく悩む」の回答は、女性 48%、男性 39%で、女性の方の割合が高い。また、年齢別で見れば、「よく悩み」の割合と「ときに悩む」の割合は同じく、「24～26 歳」を除けば、基本的に年齢の増加に従い、減少する傾向となっている。しかし、学年別にみれば、「よく悩み」の割合が最も高いのは6年(66.7%)で、続いて、比較的に高いのは5年(51.9%)、1年(48.3%)、3年(46.4%)の順である。博士・修士課程の標準終了後の学年及び大学院初年の学生の就職について悩む割合が高いことをうかがえる。

課程別で見ると、獣医学又は医学を履修する博士課程の学生の「良く悩む」の割合は一段と低い。「ときに悩む」割合も他の課程の学生より低い。

「社会人の経験の有無」については、修士課程の場合は、「いいえ」(経験のない人)は、「良く悩む」44.6%、「ときに悩む」34.6%で、いずれも最も高い割合を占めている。これに対して、「現在は社会人生活と学業を両立させている」学生の方は「良く悩む」割合が最も低く(6.7%)、「全く悩まない」割合が圧倒的に高い(36.7%)結果である。

博士課程の場合を見てみると、修士課程と同じ傾向が見られた、すなわち「いいえ」(経験のない人)は、「良く悩む」、「ときに悩む」割合はいずれも最も高い。これに対して、「現在は社会人生活と学業を両立させている」学生の方が「良く悩む」割合が最も低く、「全く悩まない」割合が圧倒的に高い(48.8%)結果である。

所属研究科別からみると、「良く悩む」との回答が50%を超えたのは人文社会系研究科(55.1%)、総合文化研究科(52.8%)、農学生命科学研究科(50.5%)である。しかし、ここでは、学年などの要因をコントロールしていないことを留意すべきである。

3-2. 大学院入学の目的・理由との関連

(1) 大学院入学の目的

就職に関する悩みと大学院入学の目的との関連について回帰分析を行った結果就職に関する悩みに、「大学等の研究・教育職をめざして」「企業の研究職をめざして」の項目はマイナスの有意相関、「現在の仕事に生かすため」、「学位を取得するため」とプラスの有意相関を持っている。すなわち、前者の二つの目的を持って大学院入学した学生は悩みが少ない、後者の二つの目的を目指す学生は悩みが少ないと推察できる。

就職に関する悩みと大学院入学の理由との関連を見てみると、「スタッフ・環境・設備」、「将来の進路」、「経済的理由」を大学院入学の理由とした学生は就職に関する悩みが少ないという結果になっている。

3-3. 自身の研究成果についての満足度との関連

就職に関する悩みと、「自身の研究成果についての満足度」との関連を見てみると、自身のこれまでの研究成果に「満足」するほど「良く悩む」の割合が低い、逆に「不満」するほど「良く悩む」の割合が高

い。また、自身のこれまでの研究成果に「満足」、「まあ満足」と回答する者は、「全く悩まない」、「あまり悩まない」の割合も高い。

3-4. 将来の就職希望・就職の見通しとの関連

(1) 将来の就職希望

就職に関する悩みを従属変数、希望する就職を独立変数にして回帰分析を行った結果、「国公立研究機関（独法を含む）の研究職」、「企業の一般職」は統計的に有意なマイナス相関、「専門職 ※大学教員や研究職以外（弁護士、公認会計士、税理士、医師）」は統計的に有意なプラスの相関となっている。すなわち、前者の就職希望の方が就職に関する悩みが少ないのに対して、後者の就職希望を持つの方が就職に関する悩みが高いという傾向を見られる。

(2) 就職の見通し

就職の見通しについて「かなり厳しいと思っている」、「見通しが立たない」を回答する者は、就職について「良く悩む」の割合はそれぞれ69.7%、66.1%となっており、「既に就職が決まっている」、「決まっていないが、見通しは明るい」の回答者のその割合の22.9%、14.3%より圧倒的に高い。「全く悩まない」の回答者の割合が、「既に就職が決まっている」は24.0%、「決まっていないが、見通しは明るい」は12.2%で、「何とかなると思っている」(5.7%)、「かなり厳しい」(1.3%)、「見通しが立たない」(2.6%)より、一段と高い。

3-5. 期待する大学の対応

就職に関する悩みと期待する大学の対応の回帰分析の結果は、「就職指導や進路相談機能を充実」、「奨学金の充実や、授業料免除など、経済的支援」が統計的に有意なプラスの相関となっている。すなわち、この二つの項目は「就職に関する悩み」の対応策として期待されている。逆に「学習方法や学習内容について相談機能」は統計的に有意なマイナスの相関で、「就職に関する悩み」を解消するために大学の対応として期待されていると解釈できる。

4. 学生の年齢構成および社会人学生に着目した分析

近年の就職状況は決して好転しているとはいえない。このような中で、高年齢に達した学生においては、生活上の問題や困難、あるいは不満や不安といったものがある。また、近年、社会人学生の受け入れが進んできている。彼/女らも年齢構成としては、高い層に位置づくと考えられるが、フルタイム学生と違った生活意識を有している。ここでは、こうした学生の年齢層と社会人の特徴を分析する。

4-1. 年齢構成による類型の作成

本稿では、年齢構成を軸に学生を分類するにあたり、獣医・医学系の大学院、専門職大学院の学生を別

枠とした(それぞれNの値が38と106と小さいため、年齢構成で分けずにこのまま用いることとした)。それ以外の学生についてまず修士課程、博士課程に分けた後、修士課程については、21～23歳、24～26歳、27歳以上、そして社会人学生という4類型を設定した。

修士課程、博士課程ともに共通して、高年齢学生において女性の比率が大きくなる傾向がみられる。修士課程では、21～23歳および24～26歳では男性比率が約75%に達しているが、27歳以上で52.9%にとどまる。博士課程でも、24～26歳および27～29歳では72～73%台となっているが、30～32歳では60.3%、33歳以上では47.4%にとどまっている。社会人学生の男性比率は、修士課程、博士課程ともに77.4%、75.6%となる。

4-2. 暮らし向き

暮らし向きについて、各類型毎に「かなり楽な方(ほう)」と「やや楽な方」の合計を示すと、修士課程では、21～23歳で42.0%、24～26歳で37.2%、27歳以上で15.4%と数値が減少する。博士課程でも同様の現象がみられ、24～26歳で35.1%、27～29歳で29.0%、30～32歳で23.3%、33歳以上で14.3%となっている。男性では、修士課程・博士課程ともに、高年齢になるほど暮らし向きが楽でなくなる傾向がみられた。これに対して女性では、これほどはっきりした傾向がみられるとはいいがたい。社会人学生をみると、博士課程の男性は「かなり楽な方」と答えた割合が7.1%と低い水準にとどまる。その背景としては、大学院においては、年齢が上がるにつれて、経済的な支えの一つである奨学金の受給を受けにくくなるという現象があると考えられる。一方、女性の場合は、結婚等経済的安定を得ているのだろうか、「かなり楽な方」の割合が21.1%にのぼっている。

4-3. 就職の見通しと大学への満足度

就職の見通しが「明るい」および「何とかなる」の合計をみていくと、高年齢学生でこうした明るい将来展望を抱く割合が減少している。修士課程では、年齢とともに漸減し、21～23歳で48.2%、24～26歳で45.0%、27歳以上で43.5%となっている。博士課程ではより顕著な傾向がみられ、24～26歳で43.2%、27～29歳で38.5%、30～32歳で31.8%、33歳以上で25.7%と年齢とともに大きく落ち込む。また、大学にたいする満足度をみていくと、研究設備、研究上の経費ともに、高年齢学生ほど満足度が低くなるのがみえてきた。ただし、研究室の人間関係や指導教員の研究指導方法については、高年齢学生で満足度が低いというわけでないことに注意されたい。ここで押さえておくべきは、社会人学生の満足度の低さである。研究設備や研究経費をみると、とくに修士では他の類型より研究設備では25ポイント近く、研究経費では10ポイント近くも満足度が低い。

4-4. 悩み・不安

最後に悩み・不安についてみていこう。結論からいえば、高年齢学生が多くの項目で悩み・不安を抱えやすいことがみえてきた。

就職については、修士課程では51.9%が「よく悩む」としており、これは27歳以上の33.3%よりも大きな値となる。博士課程でも、どの類型においても45%以上が「よく悩む」と回答している。すでに就職が難しいということは、学生たちによって自覚されているとみることができる。

不安についてみると「強い不安に襲われた」に「よく体験した」とする割合は、同様に高年齢学生で増

加する傾向がある。

分析を通じては、高年齢学生の順調といえない姿がみえてきた。経済的に困難を抱え、不満や不安が高まっている。社会人学生については、前節で示したように満足度は低かったものの、悩みや不安についてもまた低い数値となっていることがわかる。満足度も低いが生徒生活への悩み・不安も低いというのが社会人学生の特徴であるようだ。

I. 基本事項について伺います。

		度数	パーセント	無回答・非該当 を除くパーセント
1. 性別	男	948 人	71.0 %	71.4 %
	女	380	28.5	28.6
	合計	1328	99.5	100.0
	無回答	7	0.5	
		1335	100.0	
2. 年齢	21-23 歳	265 人	19.9 %	19.9 %
	24-26 歳	578	43.3	43.4
	27-29 歳	208	15.6	15.6
	30-32 歳	121	9.1	9.1
	33-35 歳	51	3.8	3.8
	36 歳以上	109	8.2	8.2
	合計	1332	99.8	100.0
	無回答	3	0.2	
	1335	100.0		
3. A 課程	修士課程	684 人	51.2 %	51.5 %
	博士課程	490	36.7	36.9
	獣医学又は医学を履修する博士課程	38	2.8	2.9
	専門職学位課程	115	8.6	8.7
	合計	1327	99.4	100.0
	無回答	8	0.6	
	1335	100.0		
3. B 学年	1年	471 人	35.3 %	36.0 %
	2年	555	41.6	42.4
	3年	183	13.7	14.0
	4年	64	4.8	4.9
	5年	28	2.1	2.1
	6年	9	0.7	0.7
	合計	1310	98.1	100.0
	無回答	25	1.9	
	1335	100.0		
4. 現在の大学院入学前の出身大学等について教えてください。	◎修士課程及び専門職学位課程の方のみ			
	本学の学部学生	340 人	25.5 %	42.6 %
	他大学の学部学生	376	28.2	47.1
	本学の他研究科の大学院生	5	0.4	0.6
	他大学の大学院生	19	1.4	2.4
	社会人	58	4.3	7.3
	その他	1	0.1	0.1
	合計	799	59.9	100.0
無回答・非該当	536	40.1		
	1335	100.0		
5. あなたは社会人経験を経て入学されましたか。	◎修士課程及び専門職学位課程の方のみ			
	いいえ	696 人	52.1 %	87.2 %
	社会人経験はあるが、現在は学業に専念している	70	5.2	8.8
	現在は社会人生活と学業を両立させている	32	2.4	4.0
	合計	798	59.8	100.0
無回答・非該当	537	40.1		
	1335	100.0		
6. 修士課程に入学したのは何年ですか。	◎修士課程の方のみ			
	2005 年	3 人	0.2 %	0.4 %
	2006 年	5	0.4	0.7
	2007 年	47	3.5	6.9
	2008 年	327	24.5	48.0
	2009 年	299	22.4	43.9
	合計	681	51.0	100.0
	無回答・非該当	654	49.0	
	1335	100.0		

		度数	パーセント	無回答・非該当 を除くパーセント	
◎博士課程の方のみ					
7. 現在の大学院入学前の出身大学等について教えてください。	本学の大学院生	333 人	24.9 %	68.8 %	
	本学の他研究科の大学院生	18	1.3	3.7	
	他大学の大学院生	70	5.2	14.5	
	社会人	60	4.5	12.4	
	その他	3	0.2	0.6	
	合 計	484	36.3	100.0	
	無回答・非該当	851	63.7		
		1335	100.0		
◎博士課程の方のみ					
8. あなたは社会人経験を経て入学されましたか。	いいえ	345 人	25.8 %	70.8 %	
	社会人経験はあるが、現在は学業に専念している	62	4.6	12.7	
	現在は社会人生活と学業を両立させている	80	6.0	16.4	
	合 計	487	36.5	100.0	
	無回答・非該当	848	63.5		
		1335	100.0		
◎博士課程の方のみ					
9. 博士課程に入学または進学したのは何年ですか。	2002 年	11 人	0.8 %	2.3 %	
	2003 年	10	0.7	2.1	
	2004 年	19	1.4	3.9	
	2005 年	34	2.5	7.0	
	2006 年	60	4.5	12.4	
	2007 年	92	6.9	19.0	
	2008 年	127	9.5	26.2	
	2009 年	132	9.9	27.2	
	合 計	485	36.3	100.0	
	無回答・非該当	850	63.7		
			1335	100.0	
10. 現在所属している研究科	人文社会系研究科	79 人	5.9 %	6.0 %	
	教育学研究科	43	3.2	3.2	
	法学政治学研究科	98	7.3	7.4	
	経済学研究科	17	1.3	1.3	
	総合文化研究科	130	9.7	9.8	
	理学系研究科	172	12.9	13.0	
	工学系研究科	244	18.3	18.4	
	農学生命科学研究科	104	7.8	7.8	
	医学系研究科	123	9.2	9.3	
	薬学系研究科	39	2.9	2.9	
	数理科学研究科	16	1.2	1.2	
	新領域創成科学研究科	164	12.3	12.4	
	情報理工学系研究科	49	3.7	3.7	
	学際情報学府	21	1.6	1.6	
	公共政策学教育部	26	1.9	2.0	
	合 計	1325	99.3	100.0	
	無回答	10	0.7		
			1335	100.0	
	11. 現在主に研究に従事している場所はどこですか。	所属する研究科	1082 人	81.0 %	81.9 %
		それ以外の学内の研究科、学内の研究所	150	11.2	11.4
学外の研究機関		89	6.7	6.7	
合 計		1321	99.0	100.0	
無回答		14	1.0		
		1335	100.0		
12. 主に通っているキャンパスはどちらですか。	本 郷	826 人	61.9 %	62.6 %	
	駒場Ⅰ	141	10.6	10.7	
	駒場Ⅱ	76	5.7	5.8	
	柏	160	12.0	12.1	
	その他	117	8.8	8.9	
	合 計	1320	98.9	100.0	
無回答	15	1.1			
		1335	100.0		

Ⅱ. 大学院入学の目的

		度数	パーセント	無回答・非該当 を除くパーセント
13. 本学の大学院に入学した目的は、どれにあたりますか。 (主たるものを2つまで選んでください。)	高度の専門知識・技術を身につけるため	940 人	70.4 %	
	大学等の研究・教育職をめざして	480	36.0	
	企業の研究職をめざして	139	10.4	
	学部卒業・修士修了で就職の機会がなかった	33	2.5	
	現在の仕事に生かすため	49	3.7	
	学位を取得するため	268	20.1	
	社会に貢献できる能力・資質を身につける	318	23.8	
	特に目的はない	22	1.6	
	その他	50	3.7	
14. 本学を選んだ理由は、どれにあたりますか。 (主たるものを3つまで選んでください。)	自分の志望した研究科(専攻分野)	916 人	68.6 %	
	スタッフ・環境・設備	766	57.4	
	東大の伝統や雰囲気	193	14.5	
	実力相応	109	8.2	
	将来の進路	457	34.2	
	社会的評価が高い	283	21.2	
	親・教師・先輩の勧め	112	8.4	
	経済的理由	152	11.4	
	地理的に自宅に近い	154	11.5	
	その他	80	6.0	
15. 現在所属する大学院を選ぶ際、他にどのような進路を考えましたか。 (複数回答可)	本学の他の研究科	231 人	17.3 %	
	他大学の大学院	587	44.0	
	外国の大学院	118	8.8	
	就職	199	14.9	
	考えなかった	435	32.6	
16. 最終的に本学を選んだ理由は何ですか。 (主たるものを2つまで選んでください。)	希望専攻分野が東大の方が充実	312 人	61.1 %	
	東大の方がネームバリューがある	138	27.0	
	経済的理由	124	24.3	
	外国で勉学・生活するには語学の問題	16	3.1	
	その他	93	18.2	

Ⅲ. 学会参加・研究活動について

17. 現在所属している日本国内、日本国外の学会について、所属学会数を回答してください。				
1. 日本国内	なし	467 人	35.0 %	35.2 %
	1	485	36.3	36.5
	2	200	15.0	15.1
	3以上	175	13.1	13.2
	合計	1327	99.4	100.0
	無回答	8	0.6	
		1335	100.0	
2. 日本国外	なし	1077 人	80.7 %	88.9 %
	1	120	9.0	9.9
	2	14	1.0	1.2
	3以上	1	0.1	0.1
	合計	1212	90.8	100.0
	無回答	123	9.2	
		1335	100.0	

		度数	パーセント	無回答・非該当 を除くパーセント	
18. 過去1年間の参加回数及び発表の件数を回答してください。					
1. 日本国内	参加回数	なし	409 人	30.6 %	30.8 %
		1	328	24.6	24.7
		2	265	19.9	20.0
		3以上	325	24.3	24.5
		合計	1327	99.4	100.0
		無回答	8	0.6	
		1335	100.0		
2. 日本国内	発表件数	なし	633 人	47.4 %	48.3 %
		1	350	26.2	26.7
		2	188	14.1	14.4
		3以上	139	10.4	10.6
		合計	1310	98.1	100.0
		無回答	25	1.9	
		1335	100.0		
3. 日本国外	参加回数	なし	995 人	74.5 %	78.5 %
		1	202	15.1	15.9
		2	50	3.7	3.9
		3以上	21	1.6	1.7
		合計	1268	95.0	100.0
		無回答	67	5.0	
		1335	100.0		
4. 日本国外	発表件数	なし	1022 人	76.6 %	80.7 %
		1	184	13.8	14.5
		2	43	3.2	3.4
		3以上	18	1.3	1.4
		合計	1267	94.9	100.0
		無回答	68	5.1	
		1335	100.0		
19. 大学院に入学してから海外での調査研究をした経験がありますか。	ある	221 人	16.6 %	16.6 %	
	ない	1110	83.1	83.4	
	合計	1331	99.7	100.0	
	無回答	4	0.3		
		1335	100.0		
20. 大学院に入学してから海外留学をした体験がありますか。	ある	86 人	6.4 %	6.5 %	
	ない	1245	93.3	93.5	
	合計	1331	99.7	100.0	
	無回答	4	0.3		
		1335	100.0		
21. 外国の大学と交換留学制度があれば、留学したいと思っていますか。	条件によっては留学したい	933 人	69.9 %	70.2 %	
	留学したいとは思わない	396	29.7	29.8	
	合計	1329	99.6	100.0	
	無回答	6	0.4		
		1335	100.0		
22. どの地域へ留学してみたいですか。 (主たるものを2つまで選んでください。)	アジア	96 人	10.3 %		
	中近東	2	0.2		
	アフリカ	20	2.1		
	北アメリカ	692	74.2		
	中南米 (メキシコを含む)	17	1.8		
	西ヨーロッパ	720	77.2		
	東ヨーロッパ (ロシアを含む)	48	5.1		
	オセアニア	28	3.0		
	その他	4	0.4		
			1335	100.0	
23. あなたは、大学院在学期間中、海外留学の機会があれば希望しますか。	留学したい	474 人	35.5 %	36.0 %	
	どちらかといえば留学したい	309	23.1	23.5	
	どちらともいえない	275	20.6	20.9	
	どちらかといえば留学したくない	101	7.6	7.7	
	留学したくない	158	11.8	12.0	
	合計	1317	98.7	100.0	
	無回答	18	1.3		
		1335	100.0		

		度数	パーセント	無回答・非該当 を除くパーセント
24. あなたご自身のこれまでの研究成果についてどうお考えですか。	満足	53 人	4.0 %	4.0 %
	まあ満足	381	28.5	28.8
	どちらとも言えない	387	29.0	29.3
	やや不満	300	22.5	22.7
	不満	201	15.1	15.2
	合計	1322	99.0	100.0
	無回答	13	1.0	
		1335	100.0	
◎設問24で「不満」または「やや不満」と答えた方のみ	思うように研究成果が上がらない	298 人	57.5 %	
25. それは次のどのような不満ですか。 (主たるものを3つまで選んでください。)	今やっている研究の意義がはっきりつかめない	92	18.4	
	研究テーマがはっきり決まっていない	94	18.4	
	研究の見通しがたたない	136	26.9	
	自分の能力や適性に不安がある	210	40.9	
	研究時間を十分とれない	97	18.8	
	自分の研究について指導を受けられる教員がいない	48	9.4	
	教員の指導が不十分	71	14.0	
	指導教員と意見が合わない	31	6.0	
	論文発表の機会が少ない	20	3.6	
	関連講義が十分そろっていない	26	5.2	
	研究設備・スペースが不備	37	7.0	
	図書設備が不備	21	4.0	
	研究上の経費が不足	47	8.8	
	研究室の雑用で自分の研究ができない	30	5.8	
	その他	28	5.6	
26. 研究室での日常生活の中で、次の各項目を総合的に見て、満足感をどの程度持っていますか。 (それぞれの項目について、該当するものを選んでください。)				
1. 研究設備・スペースについて	満足	405 人	30.3 %	31.0 %
	まあ満足	466	34.9	35.6
	どちらとも言えない	144	10.8	11.0
	やや不満	171	12.8	13.1
	不満	122	9.1	9.3
	合計	1308	98.0	100.0
	無回答・非該当	27	2.0	
		1335	100.0	
2. 研究上の経費について	満足	404 人	30.3 %	31.0 %
	まあ満足	323	24.2	24.8
	どちらとも言えない	289	21.6	22.1
	やや不満	169	12.7	13.0
	不満	120	9.0	9.2
	合計	1305	97.8	100.0
	無回答・非該当	30	2.2	
		1335	100.0	
3. 人間関係について	満足	350 人	26.2 %	26.8 %
	まあ満足	532	39.9	40.7
	どちらとも言えない	233	17.5	17.8
	やや不満	126	9.4	9.6
	不満	66	4.9	5.0
	合計	1307	97.9	100.0
	無回答・非該当	28	2.1	
		1335	100.0	
4. 指導教員の研究指導方法について	満足	382 人	28.6 %	29.2 %
	まあ満足	427	32.0	32.6
	どちらとも言えない	270	20.2	20.6
	やや不満	130	9.7	9.9
	不満	99	7.4	7.6
	合計	1308	98.0	100.0
	無回答・非該当	27	2.0	
		1335	100.0	

		度数	パーセント	無回答・非該当を除外パーセント		
5. 所属研究科の事務の対応について	満足	418 人	31.3 %	32.0 %		
	まあ満足	517	38.7	39.6		
	どちらとも言えない	231	17.3	17.7		
	やや不満	95	7.1	7.3		
	不満	46	3.4	3.5		
	合計	1307	97.9	100.0		
	無回答・非該当	28	2.1			
		1335	100.0			
		度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
27. あなたの研究にあなた自身が負担しているお金は過去1年間でどれくらいですか。	研究に必要な書籍類	1278	0	1000	57.34	89.44
	研究に必要なコピー代	1272	0	500	16.17	31.96
	調査、実験等の費用	1240	0	8000	43.96	275.72
	学会費、学会旅費、参加費	1263	0	1000	38.42	87.65
	その他	669	0	2000	26.50	123.81
単位：(千円)						
28. 大学、短大などの非常勤講師或いはTA、RAをしていますか。	現在している	336 人	25.2 %	25.7 %		
	過去にしたことがある	311	23.3	23.8		
	していない(したことがない)	660	49.4	50.5		
	合計	1307	97.9	100.0		
	無回答	28	2.1			
		1335	100.0			
29. 研究室に、あなたの専用又は共用の机がありますか。	専用の机がある	894 人	67.0 %	68.0 %		
	共用の机がある	212	15.9	16.1		
	どちらも無い	209	15.7	15.9		
	合計	1315	98.5	100.0		
	無回答	20	1.5			
		1335	100.0			
30. 一週間に何日ぐらい大学に来ますか。	0日	36 人	2.7 %	2.7 %		
	1日-2日	175	13.1	13.3		
	3日-4日	238	17.8	18.1		
	5日	380	28.5	28.9		
	6日	322	24.1	24.5		
	7日	164	12.3	12.5		
	合計	1315	98.5	100.0		
	無回答	20	1.5			
		1335	100.0			
◎博士課程の方のみ						
31. あなたの博士論文の執筆予定はいかがですか。	既書いた	41 人	3.1 %	8.5 %		
	在籍中に書く予定	374	28.0	77.4		
	在籍中に書く予定はないが、課程博士は取りたい	56	4.2	11.6		
	課程博士の期間内には書かない	12	0.9	2.5		
	合計	483	36.2	100.0		
	無回答	852	63.8			
		1335	100.0			
32. 研究上(研究発表と論文作成等を含む)使用する主な言語はどれですか。	日本語	885 人	36.3 %	90.5 %		
	英語	673	31.4	78.2		
	中国語	12	0.5	1.3		
	独語	9	0.5	1.3		
	仏語	19	1.2	3.0		
	その他	17	0.9	2.2		
		度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
33. 1日平均および1週平均の研究時間ほどれくらいですか。(自宅等での作業時間も含む)	1日平均の研究時間	922	0	45	7.94	3.90
	1週平均の研究時間	922	0	112	45.01	23.42
単位：(時間)						

IV. 就職について

		度数	パーセント	無回答・非該当を除外パーセント
◎修士課程の方のみ				
34. 修士課程修了後について、どのように考えていますか。 (第2志望まで選択)	修士課程と同じ研究室の博士課程へ進学	264	19.8 %	38.6 %
	東京大学の他の研究室の博士課程へ進学	37	2.8	5.4
	他大学の博士課程へ進学	19	1.4	2.8
	学士入学	12	0.9	1.8
	留学 (博士課程進学後の留学を含む)	78	5.8	11.4
	研究職に就職	257	19.3	37.6
	研究職や専門職以外で就職	317	23.7	46.3
	現在の職場に戻りたい	11	0.8	1.6
	現在の職場から新しい職場へ移りたい	9	0.7	1.3
	その他	38	2.8	5.6
◎博士課程の方のみ				
35. 博士課程修了後について、どのように考えていますか。 (第2志望まで選択)	博士課程と同じ研究室に特別研究員など	125	9.4 %	24.1 %
	東京大学の他の研究室に特別研究員など	54	4.0	10.3
	他大学の研究室に特別研究員など	96	7.2	7.2
	国公立研究機関 (独法を含む) の研究室に特別研究員など	106	7.9	20.4
	学士入学	3	0.2	0.6
	留 学	83	6.2	16.1
	研究職に就職	236	17.7	45.4
	研究職や専門職以外で就職	42	3.1	8.0
	現在の職場に戻りたい (社会人入学のみ)	43	3.2	8.2
	現在の職場から新しい職場へ移りたい (社会人入学のみ)	19	1.4	3.6
	その他	30	2.2	5.7
36. 将来どのような方面に就職したいと 思っていますか。 (第2志望まで選択)	大学 (短大、附置研究所) の教育職、研究職	514	38.5 %	
	大学以外の教育職	58	4.3	
	国公立研究機関 (独法を含む) の研究職	333	24.9	
	国、地方公共団体の研究職、技術職	64	4.8	
	国、地方公共団体の一般職	58	4.3	
	企業の研究職、技術職	315	23.6	
	企業の一般職	138	10.3	
	専門職 ※大学教員や研究職以外 (弁護士、公認会計士、税理士、医師等)	104	7.8	
	その他	39	2.9	
37. 就職の見通しについて、どのように考えていますか。	既に就職が決まっている	193	14.5 %	20.2 %
	決まっていないが、見通しは明るい	49	3.7	5.1
	何とかかなると思っている	282	21.1	29.6
	かなり厳しいと思っている	230	17.2	24.1
	見通しが立たない	116	8.7	12.2
	あまり考えていない	55	4.1	5.8
	その他	29	2.2	3.0
	合 計	954	71.5	100.0
	無回答	381	28.5	
	1335	100.0		
38. 就職の情報について、どのように考えていますか。	公募で探す	281	21.0 %	
	所属する研究室の関係者 (教授、先輩等) の斡旋に頼る	128	9.6	
	自分で情報収集に努める	527	39.5	
	その他	35	2.6	
◎教育職、研究職を目指している大学院生にお尋ねします。				
39. 博士課程修了後、何年位で教育職・研究職に就けるとお考えですか。	直ちに	75	5.6 %	14.8 %
	1 - 2 年	89	6.7	17.5
	3 - 5 年	151	11.3	29.7
	5 - 10 年	48	3.6	9.4
	見通しが立たない	145	10.9	28.5
	合 計	508	38.1	100.0
無回答	827	61.9		
	1335	100.0		

V. 不安・悩みについて

度数 パーセント 無回答・非該当
を除外パーセント

40. 現在の学生生活の中で、次の各項目について、どの程度悩んだり不安を感じたりしていますか。
(それぞれの項目について、該当するものを選んでください。)

項目	程度	度数	パーセント	無回答・非該当 を除外パーセント
1. 勉学（成績・単位など）	良く悩む	345 人	25.8 %	26.1 %
	ときに悩む	424	31.8	32.1
	あまり悩まない	354	26.5	26.8
	全く悩まない	198	14.8	15.0
	合 計	1321	99.0	100.0
	無回答	14	1.0	
		1335	100.0	
2. 進学	良く悩む	220 人	16.5 %	16.8 %
	ときに悩む	306	22.9	23.4
	あまり悩まない	366	27.4	28.0
	全く悩まない	416	31.2	31.8
	合 計	1308	98.0	100.0
	無回答	27	2.0	
		1335	100.0	
3. 就職	良く悩む	557 人	41.7 %	42.3 %
	ときに悩む	439	32.9	33.3
	あまり悩まない	191	14.3	14.5
	全く悩まない	131	9.8	9.9
	合 計	1318	98.7	100.0
	無回答	17	1.3	
		1335	100.0	
4. 将来の進路や生き方	良く悩む	655 人	49.1 %	49.6 %
	ときに悩む	431	32.3	32.7
	あまり悩まない	162	12.1	12.3
	全く悩まない	72	5.4	5.5
	合 計	1320	98.9	100.0
	無回答	15	1.1	
		1335	100.0	
5. 友人との対人関係	良く悩む	74 人	5.5 %	5.6 %
	ときに悩む	306	22.9	23.2
	あまり悩まない	629	47.1	47.6
	全く悩まない	312	23.4	23.6
	合 計	1321	99.0	100.0
	無回答	14	1.0	
		1335	100.0	
6. 教職員との対人関係	良く悩む	152 人	11.4 %	11.5 %
	ときに悩む	339	25.4	25.7
	あまり悩まない	554	41.5	41.9
	全く悩まない	276	20.7	20.9
	合 計	1321	99.0	100.0
	無回答	14	1.0	
		1335	100.0	
7. 性・異性・恋愛・結婚	良く悩む	227 人	17.0 %	17.2 %
	ときに悩む	450	33.7	34.1
	あまり悩まない	384	28.8	29.1
	全く悩まない	260	19.5	19.7
	合 計	1321	99.0	100.0
	無回答	14	1.0	
		1335	100.0	
8. 経済的なことや経済的自立	良く悩む	476 人	35.7 %	36.0 %
	ときに悩む	464	34.8	35.1
	あまり悩まない	285	21.3	21.6
	全く悩まない	96	7.2	7.3
	合 計	1321	99.0	100.0
	無回答	14	1.0	
		1335	100.0	

		度数	パーセント	無回答・非該当 を除くパーセント
9. 自分の性格	良く悩む	206 人	15.4 %	15.6 %
	ときに悩む	401	30.0	30.4
	あまり悩まない	497	37.2	37.7
	全く悩まない	216	16.2	16.4
	合 計	1320	98.9	100.0
	無回答	15	1.1	
		1335	100.0	
10. 自分の体調や健康	良く悩む	165 人	12.4 %	12.5 %
	ときに悩む	417	31.2	31.6
	あまり悩まない	476	35.7	36.0
	全く悩まない	263	19.7	19.9
	合 計	1321	99.0	100.0
	無回答	14	1.0	
		1335	100.0	
11. 人生の意義・目標	良く悩む	312 人	23.4 %	24.1 %
	ときに悩む	424	31.8	32.8
	あまり悩まない	370	27.7	28.6
	全く悩まない	186	13.9	14.4
	合 計	1292	96.8	100.0
	無回答	43	3.2	
		1335	100.0	
41. あなたは、不安や悩みを感じたとき、だれと相談したり、話合ったりしますか。 (それぞれの項目について、該当するものを選んでください。)				
1. 父・母	良く相談する	227 人	17.0 %	17.2 %
	ときどき相談する	277	20.7	21.0
	たまに相談する	454	34.0	34.4
	全く相談しない	360	27.0	27.3
	合 計	1318	98.7	100.0
	無回答	17	1.3	
		1335	100.0	
2. 兄弟・姉妹	良く相談する	65 人	4.9 %	5.0 %
	ときどき相談する	131	9.8	10.1
	たまに相談する	294	22.0	22.7
	全く相談しない	805	60.3	62.2
	合 計	1295	97.0	100.0
	無回答	40	3.0	
		1335	100.0	
3. なんでも相談コーナー・学生相談 所等	良く相談する	12 人	0.9 %	0.9 %
	ときどき相談する	28	2.1	2.1
	たまに相談する	86	6.4	6.5
	全く相談しない	1191	89.2	90.4
	合 計	1317	98.7	100.0
	無回答	18	1.3	
		1335	100.0	
4. 大学の教職員	良く相談する	36 人	2.7 %	2.7 %
	ときどき相談する	120	9.0	9.1
	たまに相談する	463	34.7	35.2
	全く相談しない	695	52.1	52.9
	合 計	1314	98.4	100.0
	無回答	21	1.6	
		1335	100.0	
5. 大学内の同じ学科や研究室の友人	良く相談する	165 人	12.4 %	12.5 %
	ときどき相談する	348	26.1	26.4
	たまに相談する	523	39.2	39.7
	全く相談しない	281	21.0	21.3
	合 計	1317	98.7	100.0
	無回答	18	1.3	
		1335	100.0	

		度数	パーセント	無回答・非該当 を除くパーセント
6. 大学内のサークルや団体の友人	良く相談する	60 人	4.5 %	4.6 %
	ときどき相談する	177	13.3	13.6
	たまに相談する	242	18.1	18.6
	全く相談しない	825	61.8	63.3
	合 計	1304	97.7	100.0
	無回答	31	2.3	
		1335	100.0	
7. 大学外の友人	良く相談する	177 人	13.3 %	13.4 %
	ときどき相談する	387	29.0	29.4
	たまに相談する	445	33.3	33.8
	全く相談しない	309	23.1	23.4
	合 計	1318	98.7	100.0
	無回答	17	1.3	
		1335	100.0	
8. 先輩	良く相談する	119 人	8.9 %	9.1 %
	ときどき相談する	315	23.6	24.0
	たまに相談する	426	31.9	32.5
	全く相談しない	452	33.9	34.5
	合 計	1312	98.3	100.0
	無回答	23	1.7	
		1335	100.0	
9. 恋人	良く相談する	237 人	17.8 %	18.7 %
	ときどき相談する	197	14.8	15.6
	たまに相談する	209	15.7	16.5
	全く相談しない	623	46.7	49.2
	合 計	1266	94.8	100.0
	無回答	69	5.2	
		1335	100.0	
42. あなたは、最近6ヶ月の間に次の項目について、体験したり悩んだりしましたか。 (それぞれの項目について、該当するものを選んでください。)				
1. 強い不安に襲われた	良く体験した	297 人	22.2 %	22.5 %
	時に体験した	474	35.5	35.9
	あまり体験しなかった	286	21.4	21.6
	全く体験しなかった	265	19.9	20.0
	合 計	1322	99.0	100.0
	無回答	13	1.0	
		1335	100.0	
2. 自分でもバカらしいと思う考えが 浮かんだり、自分のすることを何度も 確かめてみなければならなかった	良く体験した	132 人	9.9 %	10.0 %
	時に体験した	277	20.7	21.0
	あまり体験しなかった	408	30.6	30.9
	全く体験しなかった	503	37.7	38.1
	合 計	1320	98.9	100.0
	無回答	15	1.1	
		1335	100.0	
3. 人と話していてとても緊張したり、 不安を感じた	良く体験した	137 人	10.3 %	10.4 %
	時に体験した	371	27.8	28.1
	あまり体験しなかった	423	31.7	32.0
	全く体験しなかった	391	29.3	29.6
	合 計	1322	99.0	100.0
	無回答	13	1.0	
		1335	100.0	
4. 他の人が自分に敵意を持っている、 人から監視されていると感じた	良く体験した	54 人	4.0 %	4.1 %
	時に体験した	160	12.0	12.1
	あまり体験しなかった	342	25.6	25.9
	全く体験しなかった	765	57.3	57.9
	合 計	1321	99.0	100.0
	無回答	14	1.0	
		1335	100.0	

		度数	パーセント	無回答・非該当 を除くパーセント
5. バス・電車などの乗り物に乗るのが怖かった	良く体験した	18 人	1.3 %	1.4 %
	時に体験した	52	3.9	3.9
	あまり体験しなかった	139	10.4	10.5
	全く体験しなかった	1111	83.2	84.2
	合計	1320	98.9	100.0
	無回答	15	1.1	
		1335	100.0	
6. 気分が落ち込んだり、何も興味が持てなくなった	良く体験した	167 人	12.5 %	12.6 %
	時に体験した	354	26.5	26.8
	あまり体験しなかった	365	27.3	27.6
	全く体験しなかった	435	32.6	32.9
	合計	1321	99.0	100.0
	無回答	14	1.0	
		1335	100.0	
7. 人と一緒にいても寂しい感じがした	良く体験した	102 人	7.6 %	7.7 %
	時に体験した	276	20.7	20.9
	あまり体験しなかった	354	26.5	26.8
	全く体験しなかった	589	44.1	44.6
	合計	1321	99.0	100.0
	無回答	14	1.0	
		1335	100.0	
8. 体の病気でもないのに、息切れ・めまい・動悸などがした	良く体験した	54 人	4.0 %	4.1 %
	時に体験した	150	11.2	11.4
	あまり体験しなかった	249	18.7	18.8
	全く体験しなかった	868	65.0	65.7
	合計	1321	99.0	100.0
	無回答	14	1.0	
		1335	100.0	
9. イライラしたり、物を壊したり人を傷つけたりしたい衝動にかられた	良く体験した	85 人	6.4 %	6.4 %
	時に体験した	248	18.6	18.8
	あまり体験しなかった	306	22.9	23.2
	全く体験しなかった	682	51.1	51.6
	合計	1321	99.0	100.0
	無回答	14	1.0	
		1335	100.0	
10. やる気がなくなり、無気力状態（アパシー）になった	良く体験した	151 人	11.3 %	11.4 %
	時に体験した	358	26.8	27.1
	あまり体験しなかった	354	26.5	26.8
	全く体験しなかった	458	34.3	34.7
	合計	1321	99.0	100.0
	無回答	14	1.0	
		1335	100.0	
11. ついつい過食してしまう傾向があった	良く体験した	125 人	9.4 %	9.5 %
	時に体験した	293	21.9	22.2
	あまり体験しなかった	321	24.0	24.3
	全く体験しなかった	582	43.6	44.1
	合計	1321	99.0	100.0
	無回答	14	1.0	
		1335	100.0	
12. 食欲がなくなり、食べ物を口にしないと思った	良く体験した	40 人	3.0 %	3.0 %
	時に体験した	176	13.2	13.4
	あまり体験しなかった	303	22.7	23.0
	全く体験しなかった	799	59.9	60.6
	合計	1318	98.7	100.0
	無回答	17	1.3	
		1335	100.0	

43. あなたの悩みや不安を解消するために、大学にどのような対応があればよいと思いますか。
(それぞれの項目について、該当するものを選んでください。)

項目	回答	度数	パーセント	無回答・非該当を除外パーセント
1. 学生が教員や職員と接触する機会を増やす	全くそう思う	105	7.9 %	8.0 %
	まあそう思う	479	35.9	36.4
	あまりそう思わない	464	34.8	35.3
	全くそう思わない	267	20.0	20.3
	合 計	1315	98.5	100.0
	無回答	20	1.5	
		1335	100.0	
2. 教務課や学生課などの事務機能を充実させる	全くそう思う	70	5.2 %	5.3 %
	まあそう思う	342	25.6	26.0
	あまりそう思わない	569	42.6	43.2
	全くそう思わない	335	25.1	25.5
	合 計	1316	98.6	100.0
	無回答	19	1.4	
		1335	100.0	
3. クラス担任制度やチューター制度を充実させる	全くそう思う	60	4.5 %	4.6 %
	まあそう思う	285	21.3	21.7
	あまりそう思わない	572	42.8	43.5
	全くそう思わない	398	29.8	30.3
	合 計	1315	98.5	100.0
	無回答	20	1.5	
		1335	100.0	
4. 学習方法や学習内容について相談機能を充実させる	全くそう思う	127	9.5 %	9.7 %
	まあそう思う	445	33.3	33.8
	あまりそう思わない	437	32.7	33.2
	全くそう思わない	306	22.9	23.3
	合 計	1315	98.5	100.0
	無回答	20	1.5	
		1335	100.0	
5. 進学について相談機能を充実させる	全くそう思う	221	16.6 %	16.8 %
	まあそう思う	549	41.1	41.8
	あまりそう思わない	311	23.3	23.7
	全くそう思わない	233	17.5	17.7
	合 計	1314	98.4	100.0
	無回答	21	1.6	
		1335	100.0	
6. 就職指導や進路相談機能を充実させる	全くそう思う	331	24.8 %	25.2 %
	まあそう思う	562	42.1	42.7
	あまりそう思わない	252	18.9	19.2
	全くそう思わない	170	12.7	12.9
	合 計	1315	98.5	100.0
	無回答	20	1.5	
		1335	100.0	
7. 健康相談や保健センターの機能を充実させる	全くそう思う	191	14.3 %	14.5 %
	まあそう思う	538	40.3	40.9
	あまりそう思わない	378	28.3	28.7
	全くそう思わない	210	15.7	15.9
	合 計	1317	98.7	100.0
	無回答	18	1.3	
		1335	100.0	
8. 個人的な悩みの学生相談やカウンセリング機能を充実させる	全くそう思う	168	12.6 %	12.8 %
	まあそう思う	520	39.0	39.7
	あまりそう思わない	383	28.7	29.3
	全くそう思わない	238	17.8	18.2
	合 計	1309	98.1	100.0
	無回答	26	1.9	
		1335	100.0	

		度数	パーセント	無回答・非該当 を除くパーセント
9. 奨学金の充実や、授業料免除など、経済的支援を強化する	全くそう思う	757 人	56.7 %	57.6 %
	まあそう思う	343	25.7	26.1
	あまりそう思わない	142	10.6	10.8
	全くそう思わない	73	5.5	5.6
	合 計	1315	98.5	100.0
	無回答	20	1.5	
		1335	100.0	
10. 学生同士が支え合うネットワークづくりを強化する	全くそう思う	231 人	17.3 %	17.6 %
	まあそう思う	496	37.2	37.7
	あまりそう思わない	381	28.5	29.0
	全くそう思わない	206	15.4	15.7
	合 計	1314	98.4	100.0
	無回答	21	1.6	
		1335	100.0	

VI. 大学への要望

44. 現在、大学では大学の社会的貢献を促進し、また、国際化を推進しようとしています。これらに関連して右に挙げるそれぞれの事項はどの程度重要だと思いますか。

(それぞれの項目について回答してください。)

1. 社会的貢献を促進するために、授業の外部開放を進める	非常に重要	118 人	8.8 %	8.9 %
	かなり重要	187	14.0	14.1
	重 要	445	33.3	33.7
	あまり重要でない	434	32.5	32.8
	ほとんど重要でない	138	10.3	10.4
	合 計	1322	99.0	100.0
	無回答	13	1.0	
		1335	100.0	
2. 社会的貢献を促進するために、産学協同をより推進する	非常に重要	239 人	17.9 %	18.1 %
	かなり重要	320	24.0	24.2
	重 要	499	37.4	37.8
	あまり重要でない	193	14.5	14.6
	ほとんど重要でない	69	5.2	5.2
	合 計	1320	98.9	100.0
	無回答	15	1.1	
		1335	100.0	
3. 社会的貢献を促進するために、直接的に社会的要請の高い研究を推進する	非常に重要	136 人	10.2 %	10.3 %
	かなり重要	208	15.6	15.7
	重 要	409	30.6	30.9
	あまり重要でない	399	29.9	30.2
	ほとんど重要でない	171	12.8	12.9
	合 計	1323	99.1	100.0
	無回答	12	0.9	
		1335	100.0	
4. 社会的貢献を促進するために、(むしろ)基礎研究を充実させる	非常に重要	411 人	30.8 %	31.1 %
	かなり重要	346	25.9	26.2
	重 要	432	32.4	32.7
	あまり重要でない	103	7.7	7.8
	ほとんど重要でない	30	2.2	2.3
	合 計	1322	99.0	100.0
	無回答	13	1.0	
		1335	100.0	
5. 研究の国際化を推進するため、研究者の交流をより積極的に進める	非常に重要	510 人	38.2 %	38.6 %
	かなり重要	419	31.4	31.7
	重 要	329	24.6	24.9
	あまり重要でない	46	3.4	3.5
	ほとんど重要でない	18	1.3	1.4
	合 計	1322	99.0	100.0
	無回答	13	1.0	
		1335	100.0	

		度数	パーセント	無回答・非該当を除くパーセント
6. 研究の国際化を推進するため、国際共同研究をより推奨する	非常に重要	409 人	30.6 %	30.9 %
	かなり重要	421	31.5	31.8
	重要	375	28.1	28.4
	あまり重要でない	93	7.0	7.0
	ほとんど重要でない	24	1.8	1.8
	合計	1322	99.0	100.0
	無回答	13	1.0	
		1335	100.0	
7. 教育の国際化を推進するため、日本から外国へ留学する機会をもっと拡大する	非常に重要	462 人	34.6 %	34.9 %
	かなり重要	388	29.1	29.3
	重要	353	26.4	26.7
	あまり重要でない	92	6.9	7.0
	ほとんど重要でない	28	2.1	2.1
	合計	1323	99.1	100.0
	無回答	12	0.9	
		1335	100.0	
8. 教育の国際化を推進するため、外国からの留学生をより一層受け入れる	非常に重要	280 人	21.0 %	21.2 %
	かなり重要	300	22.5	22.7
	重要	434	32.5	32.8
	あまり重要でない	232	17.4	17.5
	ほとんど重要でない	77	5.8	5.8
	合計	1323	99.1	100.0
	無回答	12	0.9	
		1335	100.0	
45. 大学へ特に要望したいことや期待することは何ですか。(主なものを3つまで選んでください。)	カリキュラムの改革	156 人	11.7 %	
	教室・研究室の充実	357	26.7	
	実験室や実習室の充実	118	8.8	
	教育スタッフの充実	221	16.6	
	学生生活関連施設の充実	137	10.3	
	小人数教育の実施	72	5.4	
	授業の方法の工夫・改善	190	14.2	
	単位認定や学年試験を緩やかに	56	4.2	
	単位認定や学年試験を厳しく	68	5.1	
	キャンパスの拡大・移転・統合	34	2.5	
	図書館の充実	222	16.6	
	カウンセリング・サービスの充実	40	3.0	
	学生自治に対する適切な助成と助言	12	0.9	
	学生自治の尊重	18	1.3	
	奨学金(育英資金)・育英貸付金などの拡充や増額	652	48.8	
	就職対策の充実	347	26.0	
	留学・国際交流への支援	234	17.5	
	オーバードクター問題やポストドク問題への対応	629	47.1	
	ハラスメントへの対応	69	5.2	
	その他	92	6.9	

VII. 家庭の状況について

46. 実家の所在地はどこですか。	東京都	332 人	24.9 %	25.3 %
	関東地方(東京都を除く)	449	33.6	34.2
	北海道	20	1.5	1.5
	東北地方	47	3.5	3.6
	中部地方	164	12.3	12.5
	近畿地方	136	10.2	10.4
	中国地方	60	4.5	4.6
	四国地方	31	2.3	2.4
	九州・沖縄地方	69	5.2	5.3
	日本国外	4	0.3	0.3
	合計	1312	98.3	100.0
	無回答	23	1.7	
		1335	100.0	

		度数	パーセント	無回答・非該当 を除くパーセント
47. 結婚していますか。	未婚	1138 人	85.2 %	86.5 %
	既婚	177	13.3	13.5
	合計	1315	98.5	100.0
	無回答	20	1.5	
		1335	100.0	
48. 子供は何人いますか。	0 人	86 人	6.4 %	48.6 %
	1 人	55	4.1	31.1
	2 人	26	1.9	14.7
	3 人以上	10	0.7	5.6
	合計	177	13.3	100.0
	無回答	1158	86.7	
	1335	100.0		
◎子供のいる方のみ 49. 保育所に預けていますか。	いる	30 人	2.2 %	33.3 %
	いない	60	4.5	66.7
	合計	90	6.7	100.0
	無回答・非該当	1245	93.3	
		1335	100.0	
50. ◎子供のいる方のみ あなたの子供の世話はだれがしていますか。 (2つ以上にわたる場合は2つまで選び、主たるものが従たるものを選んでください。)				
1. 自分	主たる場合	33 人	2.5 %	52.4 %
	従たる場合	30	2.2	47.6
	合計	63	4.7	100.0
	無回答・非該当	1272	95.3	
		1335	100.0	
2. 配偶者	主たる場合	60 人	4.5 %	81.1 %
	従たる場合	14	1.0	18.9
	合計	74	5.5	100.0
	無回答・非該当	1261	94.5	
		1335	100.0	
3. 自分又は配偶者の親	主たる場合	2 人	0.1 %	16.7 %
	従たる場合	10	0.7	83.3
	合計	12	0.9	100.0
	無回答・非該当	1323	99.1	
		1335	100.0	
4. その他の親族	主たる場合	- 人	- %	- %
	従たる場合	-	-	-
	無回答・非該当	1335	100.0	
5. 知人	主たる場合	- 人	- %	- %
	従たる場合	1	0.1	100.0
	無回答・非該当	1334	99.9	
		1335	100.0	
6. その他 ()	主たる場合	- 人	- %	- %
	従たる場合	4	0.3	100.0
	合計	1331	99.7	
		1335	100.0	
51. あなたの家族は、あなたを含めて何人 ですか。 (家族とは、生計を共にしている者)	1 人	237 人	17.8 %	18.1 %
	2 人	118	8.8	9.0
	3 人	322	24.1	24.6
	4 人	387	29.0	29.6
	5 人	180	13.5	13.8
	6 人	48	3.6	3.7
	7 人	13	1.0	1.0
	8 人	2	0.1	0.2
	9 人以上	1	0.1	0.1
	合計	1308	98.0	100.0
	無回答	27	2.0	
	1335	100.0		

		度数	パーセント	無回答・非該当 を除くパーセント		
52. あなたの現在の生計を主に支えているのはだれですか。 (複数回答可)	父	838 人	62.8 %			
	母	287	21.5			
	本人	416	31.2			
	配偶者	83	6.2			
	その他	46	3.4			
◎社会人入学者の方はご自分について記入してください						
53. あなたの親元の職業はどれにあたりますか。 (社会人入学者はご自分の職業)	父	専門的、技術的職業	216 人	16.2 %		
		教育的職業	111	8.3		
		管理的職業	202	15.1		
		事務	39	2.9		
		販売	26	1.9		
		農・林・漁業	12	0.9		
		生産工程・採掘作業	15	1.1		
		運輸・通信・保安・サービス	74	5.5		
		無職	63	4.7		
		その他	24	1.8		
	母	専門的、技術的職業	67	5.0		
		教育的職業	116	8.7		
		管理的職業	21	1.6		
		事務	96	7.2		
		販売	32	2.4		
		農・林・漁業	8	0.6		
		生産工程・採掘作業	7	0.5		
		運輸・通信・保安・サービス	31	2.3		
		無職	182	13.6		
		その他	39	2.9		
本人	専門的、技術的職業	106	7.9			
	教育的職業	28	2.1			
	管理的職業	14	1.0			
	事務	12	0.9			
	販売	1	0.1			
	農・林・漁業	0	0.0			
	生産工程・採掘作業	1313	98.4			
	運輸・通信・保安・サービス	11	0.8			
	無職	54	4.0			
	その他	20	1.5			
◎社会人入学者の方はご自分について記入してください						
54. あなたの親元の年収(税込)はどれくらいですか。 (給与生活者の場合はボーナスも含めてください。)	記入あり	387 人	29.0 %	52.5 %		
	わからない	350	26.2	47.5		
	合計	737	55.2	100.0		
	無回答	598	44.8			
		1335	100.0			
		度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
		616	0	800	96.60	89.41
単位：(十万円)						

VIII. 生活費の状況について

(単位：千円)

		度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
55. 生活費の状況 右の各欄に金額を記入してください。 (最近3ヶ月の実績から、平均1ヶ月の 収支額を、該当しない場合は、「0」 を記入する。)	◎あなた自身の「経済生活」について伺いま す。					
	衣料費	1275	0	200	10.00	12.648
	食費	1283	0	200	33.68	21.38
	住居費	1284	0	370	48.56	45.05
	光熱水費	1277	0	100	7.94	8.88
	研究・勉学費	1275	0	600	14.19	24.57
	教養・娯楽費	1279	0	300	14.51	16.64
	子供の養育・娯楽費	1242	0	500	4.19	25.01
	通学費	1273	0	240	7.57	13.81
	通信費	1275	0	100	7.84	7.21
	その他雑費	1254	0	220	11.35	16.97
	支出合計	1266	2	1050	156.52	102.97
	家庭からの仕送り・小遣い	1261	0	400	43.09	59.58
	助成金・奨学金	1262	0	960	57.97	76.07
	学内研究経費等	1236	0	600	18.60	40.76
アルバイト	1246	0	3000	22.49	100.68	
定職	1226	0	990	37.63	123.59	
配偶者の収入	1213	0	5000	22.55	164.38	
その他	1119	0	400	3.28	23.78	
収入合計	1252	0	3090	188.17	168.67	

IX. 研究奨励金及び奨学金について

		度数	パーセント	無回答・非該当 を除くパーセント
56. 現在、日本学術振興会の研究奨励金を 受けていますか。	受けている	269 人	20.1 %	21.1 %
	受けたいが受けられなかった	471	35.3	36.9
	受けたくない	52	3.9	4.1
	受ける必要はない	483	36.2	37.9
	合計	1275	95.5	100.0
	無回答	60	4.5	
		1335	100.0	
57. 現在、他の奨学的な資金を受けていま すか。 (博士課程研究遂行協力制度、RA、TA を除く)	受けている	322 人	24.1 %	25.1 %
	受けたいが受けられなかった	371	27.8	28.9
	受けたくない	66	4.9	5.1
	受ける必要はない	524	39.3	40.8
	合計	1283	96.1	100.0
	無回答	52	3.9	
		1335	100.0	
58. その理由はどれにあたりますか。	◎設問56 または57 で「受けられなかつ た」、「受けたくない」と答えた方のみ			
	事務手続きが煩雑だから	56 人	4.2 %	7.8 %
	掲示等に気がつかなかった	74	5.5	10.3
	書類を期限までに整えられなかった	52	3.9	7.2
	出願したが採用されなかった	180	13.5	25.0
	貸与なので申請しなかった	126	9.4	17.5
その他	125	9.4	17.4	

		度数	パーセント	無回答・非該当を除くパーセント	
59. どの奨学的な資金を受けていますか。 (いくつでも選んでください。)	◎設問56 または57 で「受けている」と答えた方のみ (奨学的な資金を受けている方のみ)	日本学術振興会 (特別研究員)	120 人	9.0 %	21.1 %
		日本学生支援機構	377	28.2	66.1
		地方公共団体 (自治体)	1	0.1	0.2
		民間の奨学団体	32	2.4	5.6
		日本以外の奨学団体	5	0.4	0.9
60. 奨学的な資金の主たる支出目的 (用途) はどれにあたりますか。 (主たるものを3つまで選んでください。)	◎設問56 または57 で「受けている」と答えた方のみ (奨学的な資金を受けている方のみ)	生活費 (衣・食・住居費)	443 人	33.2 %	77.7 %
		授業料	252	18.9	44.2
		研究・勉学費	261	19.6	45.8
		教養・娯楽費	122	9.1	21.4
		旅行 (帰省も含む)	26	1.9	4.6
		技術・資格等取得の費用	16	1.2	2.8
		貯金	67	5.0	11.8
		その他	11	0.8	1.9

X. アルバイトについて

61. 過去1年間にアルバイトをしましたか。	継続的 (1ヶ月以上) アルバイトをした	495 人	37.1 %	37.9 %		
	臨時 (1ヶ月未満) アルバイトをした	151	11.3	11.6		
	継続的なアルバイトと臨時的アルバイトを両方した	118	8.8	9.0		
	しなかった	543	40.7	41.5		
	合計	1307	97.9	100.0		
62. そのアルバイトの種類はどれにあたりますか。 (主たるものを2つまで選んでください。)	◎アルバイトをしている方のみ	大学などの非常勤講師	26 人	1.9 %	3.4 %	
		TA・RA	231	17.3	30.2	
		研究事務補助	93	7.0	12.2	
		小・中・高等学校の講師	10	0.7	1.3	
		塾・予備校の講師	137	10.3	17.9	
		家庭教師	118	8.8	15.4	
		試験監督・採点・通信教育の添削	62	4.6	8.1	
		執筆・翻訳・通訳・編集	47	3.5	6.2	
		一般事務	61	4.6	8.0	
		販売・サービス業	80	6.0	10.5	
		セールス・訪問調査	2	0.1	0.3	
		飲食店	42	3.1	5.5	
		宿直、警備	13	1.0	1.7	
		肉体労働	33	2.5	4.3	
		上記以外の専門を生かしたもの	104	7.8	13.6	
	その他	29	2.2	3.8		
63. ◎アルバイトをしている方のみ アルバイトに費やす時間と収入額はどれくらいでしたか。	費やす時間 (単位: 時間)	730	0	80	12.7	
	収入額 (単位: 千円)	734	0	3000	62.4	
64. アルバイトの紹介者はだれでしたか。 (主たるものを2つまで選んでください。)	◎アルバイトをしている方のみ	大学の担当事務	81 人	6.1 %	10.6 %	
		指導教員	164	12.3	21.5	
		日本学生支援機構	1	0.1	0.1	
		新聞広告・アルバイト広告誌	66	4.9	8.6	
		インターネット	184	13.8	24.1	
		友人・知人等	277	20.7	36.3	
		アルバイト先と直接	123	9.2	16.1	
		伝言板	9	0.7	1.2	
		その他	47	3.5	6.2	
	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差	
	費やす時間 (往復時間を含め、1週間あたりの平均)	730	0	80	12.74	12.15
	収入額 (1ヶ月あたりの平均) (単位: 千円)	734	0	3000	62.40	139.46

		度数	パーセント	無回答・非該当を除くパーセント	
65. アルバイトをした理由はどれにあたりましたか。	◎アルバイトをしている方のみ	生活費を稼ぐため	407 人	30.5 %	53.3 %
		勉学費を稼ぐため	121	9.1	15.8
		学生生活を楽しむため	114	8.5	14.9
		社会経験のため	127	9.5	16.6
		その他	52	3.9	6.8
66. アルバイトの収入は、何に使っていましたか。(主たるものを2つまで選んでください。)	◎アルバイトをしている方のみ	生活費(衣・食・住居費)	480 人	36.0 %	62.8 %
		授業料	109	8.2	14.3
		研究・勉学費	177	13.3	23.2
		教養・娯楽費	288	21.6	37.7
		旅行(帰省も含む)	74	5.5	9.7
		技術・資格等取得の費用	10	0.7	1.3
		預貯金	92	6.9	12.0
67. 継続的アルバイトは勉学の妨げになりませんでしたか。	◎アルバイトをしている方のみ	かなり妨げになった	75 人	5.6 %	12.8 %
	◎設問61で「継続的アルバイトをした」また「継続的アルバイトと臨時的アルバイトを両方した」と答えた方のみ	多少妨げになった	240	18.0	41.0
		妨げにならなかった	271	20.3	46.2
		合計	586	43.9	100.0
		無回答・非該当	749	56.1	
68. 現在の暮らし向きについてどうお考えですか。		かなり楽な方	177 人	13.3 %	13.7 %
		やや楽な方	257	19.3	19.8
		普通	463	34.7	35.7
		やや苦しい方	274	20.5	21.1
		大変苦しい方	118	8.8	9.1
		わからない	7	0.5	0.5
		合計	1296	97.1	100.0
		無回答・非該当	39	2.9	
		1335	100.0		

XI. 研究・学生生活のサポート体制について

69. あなたが通学に利用している交通機関を記入してください。(複数回答可)		電車	840 人	62.9 %			
		バス	137	10.3			
		自家用車	48	3.6			
		バイク	39	2.9			
		自転車	528	39.6			
		徒歩のみ	114	8.5			
		その他	9	0.7			
70. 片道の通学所要時間はどれくらいですか。(分単位で記入してください。)		片道の通学所要時間 (単位:分)	1335	0	400	46.32	36.21
71. 本学の課外活動施設、福利厚生施設等のうち、あなたは次の諸施設の現状をどう思いますか。それぞれの項目について、回答してください。また、「不満」と答えた方は、下の〔 〕内に該当する施設名とその理由を簡潔に記入してください。	1. 研究科内の学生控室・談話室・ラウンジ	満足している	308 人	23.1 %	23.5 %		
		どちらとも言えない	425	31.8	32.5		
		不満である	313	23.4	23.9		
		利用したことがない	263	19.7	20.1		
		合計	1309	98.1	100.0		
		無回答	26	1.9			
			1335	100.0			
	2. 学生会館、課外活動共用施設、キャンパスプラザ(駒場)	満足している	135 人	10.1 %	10.4 %		
		どちらとも言えない	308	23.1	23.6		
		不満である	67	5.0	5.1		
利用したことがない		794	59.5	60.9			
合計		1304	97.7	100.0			
	無回答	31	2.3				
		1335	100.0				

		度数	パーセント	無回答・非該当 を除くパーセント
3. 学生相談所	満足している	73 人	5.5 %	5.6 %
	どちらとも言えない	216	16.2	16.5
	不満である	41	3.1	3.1
	利用したことがない	977	73.2	74.8
	合 計	1307	97.9	100.0
	無回答	28	2.1	
		1335	100.0	
4. 屋内体育施設・駒場	満足している	88 人	6.6 %	6.8 %
	どちらとも言えない	249	18.7	19.1
	不満である	49	3.7	3.8
	利用したことがない	917	68.7	70.4
	合 計	1303	97.6	100.0
	無回答	32	2.4	
		1335	100.0	
5. 屋外体育施設・駒場 (野球場、テニスコート等)	満足している	85 人	6.4 %	6.5 %
	どちらとも言えない	200	15.0	15.4
	不満である	25	1.9	1.9
	利用したことがない	988	74.0	76.1
	合 計	1298	97.2	100.0
	無回答	37	2.8	
		1335	100.0	
6. 屋内体育施設・本郷 (御殿下記念館、二食プール)	満足している	397 人	29.7 %	30.4 %
	どちらとも言えない	213	16.0	16.3
	不満である	51	3.8	3.9
	利用したことがない	645	48.3	49.4
	合 計	1306	97.8	100.0
	無回答	29	2.2	
		1335	100.0	
7. 屋外体育施設・本郷 (御殿下グラウンド、農学部グラウンド、 野球場等)	満足している	207 人	15.5 %	15.9 %
	どちらとも言えない	189	14.2	14.5
	不満である	43	3.2	3.3
	利用したことがない	866	64.9	66.4
	合 計	1305	97.8	100.0
	無回答	30	2.2	
		1335	100.0	
8. 屋内体育施設・柏 (トレーニング施設)	満足している	37 人	2.8 %	2.8 %
	どちらとも言えない	93	7.0	7.1
	不満である	25	1.9	1.9
	利用したことがない	1152	86.3	88.1
	合 計	1307	97.9	100.0
	無回答	28	2.1	
		1335	100.0	
9. 屋外体育施設・柏 (ラグビー場)	満足している	22 人	1.6 %	1.7 %
	どちらとも言えない	91	6.8	7.0
	不満である	9	0.7	0.7
	利用したことがない	1185	88.8	90.7
	合 計	1307	97.9	100.0
	無回答	28	2.1	
		1335	100.0	
10. 二食内ホール、サークル部室等 (本郷)	満足している	57 人	4.3 %	4.4 %
	どちらとも言えない	163	12.2	12.5
	不満である	40	3.0	3.1
	利用したことがない	1044	78.2	80.1
	合 計	1304	97.7	100.0
	無回答	31	2.3	
		1335	100.0	
11. 検見川総合運動場、検見川セミ ナーハウス	満足している	130 人	9.7 %	10.0 %
	どちらとも言えない	199	14.9	15.2
	不満である	33	2.5	2.5
	利用したことがない	943	70.6	72.3
	合 計	1305	97.8	100.0
	無回答	30	2.2	
		1335	100.0	

		度数	パーセント	無回答・非該当 を除くパーセント
12. スポーティア (戸田、山中、下賀茂、乗鞍)	満足している	53 人	4.0 %	4.1 %
	どちらとも言えない	115	8.6	8.8
	不満である	15	1.1	1.1
	利用したことがない	1123	84.1	86.0
	合 計	1306	97.8	100.0
	無回答	29	2.2	
		1335	100.0	
13. 学内食堂	満足している	396 人	29.7 %	30.3 %
	どちらとも言えない	507	38.0	38.8
	不満である	346	25.9	26.5
	利用したことがない	58	4.3	4.4
	合 計	1307	97.9	100.0
	無回答	28	2.1	
		1335	100.0	
14. 学寮 (豊島、白金、三鷹国際学生宿舎)	満足している	38 人	2.8 %	2.9 %
	どちらとも言えない	92	6.9	7.1
	不満である	27	2.0	2.1
	利用したことがない	1145	85.8	87.9
	合 計	1302	97.5	100.0
	無回答	33	2.5	
		1335	100.0	
15. 保健センター	満足している	400 人	30.0 %	30.6 %
	どちらとも言えない	510	38.2	39.1
	不満である	95	7.1	7.3
	利用したことがない	301	22.5	23.0
	合 計	1306	97.8	100.0
	無回答	29	2.2	
		1335	100.0	

クロス集計表

ここでは、「調査票」のそれぞれの設問項目と、所要な基本項目とのクロス集計を行ったものを一括して順次掲載した。また、比較のため、2004年（第54回）の大学院学生調査で、今回調査と同じ設定をしている調査項目の数値を、適宜、各集計表に示した。

表の見方

1. 百分率（パーセント）表示については、小数点第一位までを有効数字として算出した。また、行パーセントについては、無回答と非該当を除く比率を示した。ただし、複数回答の設問については、非該当を除く比率を示した。合計は100%を超える。また、それぞれについて、比率の分母となる事例数を示した。
2. 平均値の算出は、無回答のものを除く該当者平均を求めた。
3. 作表の説明変数として用いた用語の定義は、次のとおりである。
「全体」-----回答者全員の比率を示す。
「文科系」「理科系」----在籍する研究科等により二つの系に区分したものを示す。
4. 設問方法や非該当については、各集計表に示した。

1-1 表 大学院に入学した目的

区分	高度の専門知識・技術を身につけるため	大学の研究・教育職をめざして	企業の研究職をめざして	学部卒業・修士修了で就職の機会がなかった	現在の仕事に生かすため	学位を取得するため	社会に貢献できる能力・資質を身につける	特に目的はない	その他	事例数
	% (75.2)	% (41.7)	% (10.9)	% (3.4)	% (3.1)	% (25.8)	% (29.5)	% (1.6)	% (2.3)	人 (1031)
2004年(54回)										
全体	70.4	36.0	10.4	2.5	3.7	20.1	23.8	1.6	3.7	1335
男子	71.7	36.5	11.6	2.3	3.4	20.4	23.2	2.0	3.2	948
女子	68.4	34.7	7.6	2.9	4.2	19.2	25.8	0.8	5.3	380
修士課程	77.2	27.2	16.2	3.7	1.9	12.1	28.1	2.0	3.1	684
博士課程	60.8	55.9	4.9	0.8	4.7	29.4	15.7	0.8	2.7	490
獣医学又は医学を履修する博士課程	52.6	36.8	10.5	-	15.8	44.7	10.5	-	2.6	38
専門職学位課程	77.4	5.2	0.0	3.5	6.1	20.0	39.1	3.5	13.0	115
文科系	66.9	48.1	0.8	3.8	3.1	16.3	22.9	1.5	6.1	393
理科系	72.2	31.2	14.5	1.9	4.0	21.9	24.1	1.7	2.8	932

(2つまで)

1-2 表 本学を選んだ理由

区分	自分の志望した研究科(専攻分野)	スタッフ・環境・設備	東大の伝統や雰囲気	実力相応	将来の進路	社会的評価が高い	親・教師・先輩の勧め	経済的理由	地理的に自宅に近い	その他	事例数
	% (70.8)	% (69.3)	% (16.3)	% (13.1)	% (40.8)	% (21.5)	% (15.0)	% (15.0)	% (15.7)	% (4.0)	人 (1031)
2004年(54回)											
全体	68.6	57.4	14.5	8.2	34.2	21.2	8.4	11.4	11.5	6.0	1335
男子	68.1	58.5	15.0	9.9	35.4	22.3	6.8	10.1	10.4	5.3	948
女子	70.5	55.0	12.9	3.9	31.3	18.9	12.6	14.7	14.2	7.9	380
修士課程	69.6	56.0	14.9	9.6	35.5	21.6	8.0	10.7	11.5	5.7	684
博士課程	73.3	62.2	12.0	6.5	28.6	17.1	9.8	9.8	11.6	6.5	490
獣医学又は医学を履修する博士課程	60.5	68.4	15.8	-	34.2	18.4	5.3	10.5	13.2	7.9	38
専門職学位課程	47.0	42.6	22.6	9.6	53.0	37.4	6.1	23.5	10.4	4.3	115
文科系	65.1	52.7	15.8	7.9	35.9	21.1	11.2	14.8	9.7	7.4	393
理科系	70.5	59.9	14.1	8.4	33.7	21.1	7.3	10.0	12.4	5.4	932

(3つまで)

設問 15

1-3 表 大学院を選ぶ際、他にどのような進路を考えましたか

(複数回答)

区分	本学の他の研究科	他大学の大学院	外国の大学院	就職	考えなかった	事例数
	%	%	%	%	%	人
2004年(54回)	(26.9)	選択肢なし	(11.2)	(22.2)	(30.8)	(1031)
全体	17.3	44.0	8.8	14.9	32.6	1335
男子	17.0	43.5	6.8	14.8	34.8	948
女子	18.4	45.3	13.7	15.3	27.4	380
修士課程	19.3	43.0	6.0	14.5	33.8	684
博士課程	15.9	39.2	12.7	16.5	35.1	490
獣医学又は医学を履修する博士課程	26.3	36.8	10.5	23.7	31.6	38
専門職学位課程	8.7	74.8	9.6	8.7	14.8	115
文科系	13.5	52.7	10.9	13.7	26.7	393
理科系	19.1	40.6	7.9	15.5	35.1	932

設問 16

1-4 表 最終的に本学を選んだ理由

(2つまで)

区分	希望専攻分野が東大の方が充実	東大の方がネームバリューがある	経済的理由	外国で勉強・生活するには語学の問題がある	その他	事例数
	%	%	%	%	%	人
2004年(54回)	(65.1)	(30.5)	(23.6)	(8.8)	(19.2)	(453)
全体	61.1	27.0	24.3	3.1	18.2	511
男子	64.8	27.2	22.6	3.7	15.5	349
女子	54.1	27.4	28.7	1.9	24.2	157
修士課程	67.8	27.3	20.4	2.9	15.1	245
博士課程	59.4	19.4	21.2	4.1	25.9	170
獣医学又は医学を履修する博士課程	60.0	10.0	10.0	10.0	20.0	10
専門職学位課程	46.3	45.1	45.1	1.2	12.2	82
文科系	56.9	32.8	29.2	2.1	15.4	195
理科系	64.8	23.5	21.6	3.9	20.0	310

問15で「他大学の大学院」, または「外国の大学院」を選んだ方のみ

設問 17

2-1 表 現在所属している日本国内の学会数

区分	なし	1学会	2学会	3学会以上	事例数
	%	%	%	%	人
2004年(54回)	(31.9)	(37.9)	(19.0)	(11.2)	(1031)
全体	35.2	36.5	15.1	13.2	1327
男子	35.8	36.9	14.5	12.7	943
女子	33.5	36.1	16.4	14.0	379
修士課程	44.7	41.8	11.1	2.3	682
博士課程	10.9	37.0	24.2	27.9	487
獣医学又は医学を履修する博士課程	10.5	34.2	10.5	44.7	38
専門職学位課程	89.5	4.4	1.8	4.4	114
文科系	51.7	22.0	10.7	15.6	391
理科系	28.2	42.8	16.8	12.2	928

2-2 表 現在所属している日本国外の学会数

区分	なし	1学会	2学会	3学会以上	事例数
	%	%	%	%	人
2004年(54回)	(89.7)	(8.8)	(1.1)	(0.4)	(1031)
全体	88.9	9.9	1.2	0.1	1212
男子	89.4	9.3	1.3	-	868
女子	87.9	10.9	0.9	0.3	339
修士課程	95.0	4.7	0.3	-	623
博士課程	78.1	19.4	2.3	0.2	434
獣医学又は医学を履修する博士課程	80.6	13.9	5.6	-	36
専門職学位課程	98.2	1.8	-	-	113
文科系	90.8	7.2	1.7	0.3	360
理科系	88.2	10.9	0.9	-	845

2-3 表 国内の学会過去 1 年間の参加回数

区 分	なし	1回	2回	3回以上	事例数
2004年(54回)	% (26.4)	% (28.3)	% (25.0)	% (20.3)	人 (1031)
全 体	30.8	24.7	20.0	24.5	1327
男 子	30.2	24.7	19.8	25.3	944
女 子	32.0	24.6	20.6	22.8	378
修士課程	34.8	28.0	18.6	18.5	681
博士課程	13.7	24.2	25.2	36.9	488
獣医学又は医学を履修する博士課程	5.3	28.9	26.3	39.5	38
専門職学位課程	88.6	5.3	3.5	2.6	114
文科系	48.1	20.1	10.0	21.9	389
理科系	23.5	26.7	24.2	25.6	930

2-4 表 国内の学会過去 1 年間の発表件数

区 分	なし	1回	2回	3回以上	事例数
2004年(54回)	% (49.1)	% (27.9)	% (13.7)	% (9.3)	人 (1031)
全 体	48.3	26.7	14.4	10.6	1310
男 子	45.6	26.6	15.6	12.2	934
女 子	55.0	27.0	11.3	6.7	371
修士課程	58.0	26.0	10.2	5.8	674
博士課程	25.1	33.1	22.4	19.5	478
獣医学又は医学を履修する博士課程	18.4	36.8	31.6	13.2	38
専門職学位課程	97.4	1.8	-	0.9	114
文科系	72.2	17.9	6.2	3.6	385
理科系	38.2	30.6	17.7	13.5	917

2-5 表 国外の学会過去 1 年間の参加回数

区 分	なし	1回	2回	3回以上	事例数
2004年(54回)	% (79.6)	% (15.6)	% (3.7)	% (1.4)	人 (1031)
全 体	78.5	15.9	3.9	1.7	1268
男 子	76.5	16.9	4.8	1.8	904
女 子	83.3	13.6	1.7	1.4	359
修士課程	90.4	8.3	1.2	0.2	654
博士課程	57.0	29.7	9.0	4.4	458
獣医学又は医学を履修する博士課程	66.7	30.6	2.8	-	36
専門職学位課程	99.1	0.9	-	-	114
文科系	89.4	6.8	2.7	1.1	369
理科系	74.0	19.6	4.5	1.9	891

2-6 表 国外の学会過去 1 年間の発表件数

区 分	なし	1回	2回	3回以上	事例数
2004年(54回)	% (82.4)	% (13.8)	% (2.5)	% (1.3)	人 (1031)
全 体	80.7	14.5	3.4	1.4	1267
男 子	79.0	15.2	4.2	1.7	904
女 子	84.9	13.1	1.1	0.8	358
修士課程	91.3	8.0	0.6	0.2	654
博士課程	61.1	26.9	8.3	3.7	457
獣医学又は医学を履修する博士課程	75.0	22.2	2.8	-	36
専門職学位課程	99.1	0.9	-	-	114
文科系	91.6	6.0	1.9	0.5	368
理科系	76.2	18.0	4.0	1.8	891

設問 19

2-7 表 海外での調査や研究をした経験

区 分	ある	ない	事例数
2004年(54回)	% (15.3)	% (84.7)	人 (1031)
全 体	16.6	83.4	1331
男 子	16.0	84.0	946
女 子	18.4	81.6	380
修士課程	8.6	91.4	684
博士課程	31.9	68.1	489
獣医学又は医学を履修する博士課程	7.9	92.1	38
専門職学位課程	1.8	98.2	114
文科系	23.3	76.7	391
理科系	13.9	86.1	932

設問 20

2-8 表 海外留学をした体験

区 分	ある	ない	事例数
2004年(54回)	% (3.7)	% (96.3)	人 (1031)
全 体	6.5	93.5	1331
男 子	5.7	94.3	946
女 子	8.4	91.6	380
修士課程	1.6	98.4	684
博士課程	14.7	85.3	489
獣医学又は医学を履修する博士課程	2.6	97.4	38
専門職学位課程	1.8	98.2	114
文科系	13.0	87.0	391
理科系	3.8	96.2	932

設問 21

2-9 表 外国の大学との交換留学希望

区 分	条件によっては 留学したい	留学したいとは思 わない	事例数
2004年(54回)	% (78.1)	% (21.9)	人 (1031)
全 体	70.2	29.8	1329
男 子	67.4	32.6	945
女 子	77.6	22.4	379
修士課程	69.5	30.5	683
博士課程	74.5	25.5	487
獣医学又は医学を履修する博士課程	76.3	23.7	38
専門職学位課程	53.0	47.0	115
文科系	72.8	27.2	390
理科系	69.0	31.0	931

設問 22

2-10 表 留学希望地域

(2つまで)

区分	アジア	中近東	アフリカ	北アメリカ	中南米(メキシコを含む)	西ヨーロッパ	東ヨーロッパ(ロシアを含む)	オセアニア	その他	事例数
	% (12.6)	% (1.4)	% (1.5)	% (79.6)	% (1.2)	% (78.3)	% (3.5)	% (5.6)	% (0.6)	人 (803)
2004年(54回)										
全体	10.3	0.2	2.1	74.2	1.8	77.2	5.1	3.0	0.4	933
男子	9.7	0.2	2.2	76.3	1.4	77.4	4.9	1.6	0.3	637
女子	11.2	0.3	2.0	70.1	2.7	76.9	5.4	6.1	0.7	294
修士課程	10.1	0.2	2.7	74.5	2.1	75.8	4.8	3.2	0.4	475
博士課程	8.8	0.3	1.9	72.5	1.1	80.7	6.3	2.8	0.6	363
獣医学又は医学を履修する博士課程	6.9	0.0	0.0	89.7	3.4	82.8	0.0	0.0	0.0	29
専門職学位課程	21.3	0.0	0.0	75.4	3.3	65.6	3.3	4.9	0.0	61
文科系	14.4	0.7	2.5	58.8	2.8	73.2	8.8	3.9	0.4	284
理科系	8.6	0.0	2.0	81.0	1.2	79.0	3.4	2.6	0.5	642

問21で「留学したい」と答えた方のみ

設問 23

2-11 表 海外留学の機会があれば希望

区分	留学したい	どちらかといえば留学したい	どちらともいえない	どちらかといえば留学したくない	留学したくない	事例数
	% (35.8)	% (25.4)	% (19.4)	% (10.6)	% (9)	人 (1031)
2004年(54回)						
全体	36.0	23.5	20.9	12.0	1317	
男子	34.9	22.2	21.0	12.9	936	
女子	38.6	26.6	20.5	9.6	376	
修士課程	33.6	25.9	21.6	9.0	676	
博士課程	43.1	18.8	21.6	10.5	485	
獣医学又は医学を履修する博士課程	26.3	28.9	28.9	7.9	38	
専門職学位課程	23.2	25.9	11.6	32.1	112	
文科系	46.4	19.8	14.6	14.3	384	
理科系	31.7	24.8	23.6	11.1	925	
人文社会科学系研究科	65.8	13.9	7.6	8.9	79	
教育学研究科	31.7	24.4	31.7	7.3	41	
法学政治学研究科	24.5	25.5	10.6	31.9	94	
経済学研究科	52.9	11.8	11.8	17.6	17	
総合文化研究科	57.5	18.1	14.2	7.1	127	
理学系研究科	35.1	25.1	26.9	10.5	171	
工学系研究科	30.0	26.3	19.8	11.5	243	
農学生命科学研究科	29.1	22.3	25.2	9.7	103	
医学系研究科	41.0	21.3	23.0	9.0	122	
薬学系研究科	30.8	23.1	23.1	10.3	39	
数理科学研究科	12.5	6.3	56.3	12.5	16	
新領域創成科学研究科	28.6	26.1	24.8	12.4	161	
情報理工学系研究科	20.4	28.6	22.4	18.4	49	
学際情報学府	47.6	33.3	4.8	4.8	21	
公共政策学教育部	30.8	23.1	26.9	11.5	26	

3-1 表 これまでの研究成果

区分	満足	まあ満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	事例数
	% (4.5)	% (19.9)	% (35.6)	% (28.8)	% (11.3)	人 (1031)
2004年(54回)	4.0	28.8	29.3	22.7	15.2	1322
全体	4.4	28.7	29.3	21.9	15.7	940
男子	3.2	29.4	29.4	23.9	14.1	377
女子	2.9	26.0	31.1	23.0	17.0	678
修士課程	6.0	33.5	24.4	22.8	13.3	487
博士課程	-	26.3	31.6	18.4	23.7	38
獣医学又は医学を履修する博士課程	3.5	26.5	38.1	21.2	10.6	113
専門職学位課程	3.1	27.1	28.9	23.8	17.1	387
文科系	4.3	29.6	29.4	22.1	14.6	927
理科系						

3-2 表 これまでの研究成果についての不満

区分	思うように研究成果が上がらない	今やっている研究の意義がはっきりしない	研究テーマがはっきりしていない	研究の進捗がたまたま	自分の進捗が性に不安がある	研究時間を十分とれない	自分の研究について指導を受けられる教員が少ない	教員の指導が十分である	指導教員と意見が合わない	論文発表の機会が少ない	関連講座が十分そろっていない	研究設備・スペースが不備である	図書設備が不備である	研究上の経費が不足している	研究室の雇用で自分の研究ができない	その他		事例数
																%	人	
2004年(54回)	54.4	17.9	18.4	33.4	42.2	18.3	13.2	15.9	5.1	5.1	6.1	6.1	2.9	7.6	8.3	6.8	5.0	340
全体	57.5	18.4	18.4	26.9	40.9	18.8	9.4	14.0	6.0	6.0	3.6	4.0	4.0	8.8	5.8	5.6	5.6	501
男子	62.1	18.9	18.4	27.4	33.9	19.5	8.8	13.0	5.9	4.5	4.5	4.0	4.0	8.2	6.5	5.6	5.6	384
女子	46.2	17.5	18.9	25.9	58.0	16.1	9.8	16.1	6.3	1.4	7.0	5.6	4.2	10.5	4.2	5.6	5.6	143
修士課程	54.2	22.1	21.8	29.5	41.0	12.9	8.9	14.4	6.6	3.3	7.0	6.6	5.5	5.2	7.4	5.5	5.7	271
博士課程	63.6	15.3	13.6	28.4	40.9	23.9	9.7	11.9	5.7	4.5	1.1	4.5	1.7	14.2	6.3	5.7	5.7	176
獣医学又は医学を履修する博士課程	68.8	12.5	25.0	18.8	31.3	18.5	-	25.0	12.5	-	-	12.5	-	18.8	6.5	5.6	5.6	38
専門職学位課程	47.2	8.3	13.9	5.6	44.4	36.1	11.1	16.7	7.0	2.8	3.2	19.4	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	16
文科系	43.7	20.3	23.4	23.4	45.6	25.3	8.9	13.9	7.0	3.2	8.9	7.6	8.9	14.6	3.8	7.0	5.6	158
理科系	64.1	17.6	16.2	28.8	38.8	15.6	9.1	14.1	5.0	3.8	4.4	6.8	1.8	5.9	6.8	5.0	5.0	340
人文社会科学系	57.9	21.1	36.8	18.4	42.1	18.4	2.6	15.8	10.5	6.3	2.6	2.6	5.3	21.1	10.5	5.3	5.3	38
教育学研究科	25.0	31.3	12.5	50.0	43.8	25.0	18.8	18.8	12.5	6.3	12.5	2.6	1.8	18.8	16	16	16	16
法政政治学研究所	57.7	3.8	3.8	7.7	61.5	30.8	7.7	19.2	-	19.2	7.7	7.7	7.7	3.8	3.8	3.8	3.8	26
経済学研究所	42.9	14.3	14.3	42.9	71.4	42.9	-	19.2	-	-	-	-	-	28.6	7	14.3	7	7
総合文化研究科	39.3	23.0	24.6	26.2	44.3	21.3	9.8	13.1	8.2	4.9	4.9	6.6	16.4	13.1	1.6	9.8	6.1	61
理学系研究科	66.7	14.3	15.9	19.0	41.3	7.9	7.9	17.7	9.5	9.5	3.2	3.2	4.8	3.2	7.9	4.8	6.3	63
工学系研究科	55.2	21.8	19.5	25.0	34.5	21.8	4.6	14.9	2.3	1.1	4.6	4.6	2.6	4.6	5.7	6.9	4.8	87
農学系研究科	84.2	15.8	5.3	28.9	47.7	5.3	13.2	15.8	2.6	2.9	2.9	10.5	2.6	2.6	2.6	2.6	3.8	38
医学系研究科	61.9	7.1	16.7	26.2	47.6	14.3	9.5	23.8	4.8	7.4	11.9	4.8	12	14.3	9.5	4.8	4.2	42
薬学系研究科	41.7	8.3	8.3	33.3	8.3	-	-	16.7	10.0	8.3	16.7	25.0	-	-	8.3	8.3	8.3	12
歯学系研究科	50.0	50.0	30.0	50.0	20.0	30.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	-	-	-	-	-	-	10
新領域創成科学研究科	81.0	10.3	8.6	39.7	41.4	15.5	13.8	8.6	8.6	1.7	3.4	8.6	3.4	5.2	1.7	5.2	1.7	58
情報理工学系研究科	43.5	26.1	34.8	43.5	39.1	17.4	8.7	13.0	8.7	8.7	4.3	8.7	13.0	17.4	4.3	13.0	13.0	23
学際情報学専攻	42.9	28.6	28.6	28.6	42.9	71.4	14.3	14.3	14.3	-	-	14.3	-	-	-	-	-	7
公共政策学教員部	10.0	30.0	40.0	10.0	10.0	50.0	20.0	-	-	10.0	30.0	20.0	-	-	-	10.0	10.0	10

(3つまで)

設問 26

3-3-1 表 研究設備・スペースについて

区 分	満足	まあ満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	事例数
	%	%	%	%	%	人
2004年(54回)	(21.4)	(27.1)	(19.8)	(19.2)	(12.4)	(1031)
全 体	31.0	35.6	11.0	13.1	9.3	1308
男 子	32.4	35.7	10.3	11.8	9.8	935
女 子	27.2	35.9	12.8	16.0	8.2	368
修士課程	35.7	35.8	10.9	11.5	6.1	676
博士課程	30.4	39.4	9.0	12.5	8.8	480
獣医学又は医学を履修する博士課程	32.4	40.5	16.2	8.1	2.7	37
専門職学位課程	3.6	17.3	18.2	27.3	33.6	110
文科系	12.1	26.8	14.4	24.4	22.3	381
理科系	38.7	39.3	9.5	8.5	4.0	920
人文社会系研究科	12.7	30.4	13.9	19.0	24.1	79
教育学研究科	14.3	31.0	14.3	31.0	9.5	42
法学政治学研究科	3.3	20.7	15.2	23.9	37.0	92
経済学研究科	35.3	41.2	5.9	5.9	11.8	17
総合文化研究科	16.7	29.4	12.7	25.4	15.9	126
理学系研究科	47.9	41.4	4.7	3.6	2.4	169
工学系研究科	31.3	42.4	14.0	9.1	3.3	243
農学生命科学研究科	40.2	32.4	5.9	17.6	3.9	102
医学系研究科	30.8	40.0	14.2	10.0	5.0	120
薬学系研究科	29.7	45.9	8.1	8.1	8.1	37
数理科学研究科	62.5	31.3	6.3	-	-	16
新領域創成科学研究科	41.5	40.2	7.9	5.5	4.9	164
情報理工学系研究科	60.4	22.9	4.2	8.3	4.2	48
学際情報学府	14.3	42.9	14.3	19.0	9.5	21
公共政策学教育部	-	8.0	28.0	40.0	24.0	25

設問 27

3-3-2 表 研究上の経費について

区 分	満足	まあ満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	事例数
	%	%	%	%	%	人
2004年(54回)	(29.6)	(20.9)	(22.6)	(15.5)	(11.4)	(1031)
全 体	31.0	24.8	22.1	13.0	9.2	1305
男 子	32.7	25.5	21.2	12.3	8.4	934
女 子	27.0	22.7	24.0	14.8	11.5	366
修士課程	37.4	25.3	20.3	10.4	6.7	676
博士課程	28.2	27.4	18.6	15.1	10.7	478
獣医学又は医学を履修する博士課程	32.4	32.4	18.9	13.5	2.7	37
専門職学位課程	2.8	6.4	50.5	20.2	20.2	109
文科系	7.1	9.0	39.2	24.6	20.1	378
理科系	41.0	31.0	15.1	8.2	4.8	920
人文社会系研究科	10.1	15.2	32.9	19.0	22.8	79
教育学研究科	11.9	2.4	31.0	40.5	14.3	42
法学政治学研究科	2.2	3.3	49.5	19.8	25.3	91
経済学研究科	11.8	23.5	17.6	11.8	35.3	17
総合文化研究科	8.1	10.5	38.7	28.2	14.5	124
理学系研究科	46.7	34.3	13.0	3.6	2.4	169
工学系研究科	32.5	33.3	20.6	7.4	6.2	243
農学生命科学研究科	47.1	28.4	6.9	11.8	5.9	102
医学系研究科	29.2	30.8	18.3	15.0	6.7	120
薬学系研究科	40.5	35.1	13.5	8.1	2.7	37
数理科学研究科	43.8	18.8	25.0	6.3	6.3	16
新領域創成科学研究科	50.6	28.0	10.4	6.1	4.9	164
情報理工学系研究科	56.3	27.1	12.5	4.2	-	48
学際情報学府	19.0	23.8	28.6	23.8	4.8	21
公共政策学教育部	-	4.0	52.0	24.0	20.0	25

3-3-3 表 人間関係について

区 分	満足	まあ満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	事例数
2004年(54回)	% (20.3)	% (32.1)	% (27.9)	% (13.3)	% (6.4)	人 (1031)
全 体	26.8	40.7	17.8	9.6	5.0	1307
男 子	26.6	42.1	18.1	8.9	4.3	935
女 子	27.2	37.1	17.2	11.4	7.1	367
修士課程	30.1	38.4	16.0	10.7	4.9	675
博士課程	25.4	45.8	15.6	8.1	5.0	480
獣医学又は医学を履修する博士課程	18.9	45.9	24.3	5.4	5.4	37
専門職学位課程	16.4	30.9	35.5	10.9	6.4	110
文科系	24.1	37.5	21.8	10.5	6.0	381
理科系	27.9	42.1	16.1	9.4	4.6	919
人文社会系研究科	27.8	35.4	17.7	13.9	5.1	79
教育学研究科	26.2	45.2	14.3	7.1	7.1	42
法学政治学研究科	17.4	29.3	34.8	10.9	7.6	92
経済学研究科	35.3	35.3	11.8	5.9	11.8	17
総合文化研究科	25.4	45.2	15.1	8.7	5.6	126
理学系研究科	27.8	42.0	14.8	7.7	7.7	169
工学系研究科	27.3	47.9	14.0	7.9	2.9	242
農学生命科学研究科	24.5	40.2	20.6	11.8	2.9	102
医学系研究科	22.5	44.2	16.7	11.7	5.0	120
薬学系研究科	29.7	40.5	13.5	13.5	2.7	37
数理科学研究科	18.8	37.5	18.8	12.5	12.5	16
新領域創成科学研究科	32.9	37.2	18.3	7.9	3.7	164
情報理工学系研究科	43.8	25.0	14.6	10.4	6.3	48
学際情報学府	9.5	57.1	14.3	14.3	4.8	21
公共政策学教育部	20.0	24.0	40.0	16.0	-	25

3-3-4 表 指導教員の研究指導方法について

区 分	満足	まあ満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	事例数
2004年(54回)	% (21.3)	% (29.0)	% (25.4)	% (15.1)	% (9.1)	人 (1031)
全 体	29.2	32.6	20.6	9.9	7.6	1308
男 子	29.7	32.6	21.7	8.6	7.4	935
女 子	28.0	32.9	18.2	12.8	8.2	368
修士課程	30.6	31.4	19.1	10.8	8.1	676
博士課程	32.7	34.4	17.9	7.9	7.1	480
獣医学又は医学を履修する博士課程	13.5	40.5	24.3	10.8	10.8	37
専門職学位課程	11.8	30.0	40.9	11.8	5.5	110
文科系	27.3	27.8	25.5	11.3	8.1	381
理科系	30.2	34.7	18.6	9.3	7.2	919
人文社会系研究科	35.4	20.3	20.3	12.7	11.4	79
教育学研究科	21.4	28.6	31.0	14.3	4.8	42
法学政治学研究科	13.0	34.8	35.9	10.9	5.4	92
経済学研究科	23.5	29.4	29.4	-	17.6	17
総合文化研究科	37.3	28.6	14.3	11.1	8.7	126
理学系研究科	33.1	36.1	19.5	5.3	5.9	169
工学系研究科	31.3	37.4	15.2	9.5	6.6	243
農学生命科学研究科	22.5	35.3	20.6	12.7	8.8	102
医学系研究科	24.2	35.8	16.7	12.5	10.8	120
薬学系研究科	29.7	32.4	18.9	13.5	5.4	37
数理科学研究科	43.8	25.0	12.5	6.3	12.5	16
新領域創成科学研究科	33.5	28.7	22.0	7.9	7.9	164
情報理工学系研究科	31.3	33.3	22.9	10.4	2.1	48
学際情報学府	28.6	42.9	19.0	9.5	-	21
公共政策学教育部	16.0	20.0	48.0	12.0	4.0	25

3-3-5 表 所属研究科の事務の対応について

区 分	満足	まあ満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	事例数
2004年(第54回)	% (21.3)	% (27.1)	% (30.5)	% (13.8)	% (7.6)	人 (1031)
全 体	32.0	39.6	17.7	7.3	3.5	1307
男 子	31.7	40.3	18.3	6.1	3.6	934
女 子	32.9	38.0	16.0	10.1	3.0	368
修士課程	33.2	40.4	16.9	6.2	3.3	675
博士課程	33.8	42.5	14.4	7.1	2.3	480
獣医学又は医学を履修する博士課程	13.5	29.7	35.1	16.2	5.4	37
専門職学位課程	23.6	23.6	31.8	11.8	9.1	110
文科系	29.7	36.7	18.6	9.4	5.5	381
理科系	33.1	40.9	17.1	6.4	2.5	919
人文社会系研究科	34.2	36.7	20.3	5.1	3.8	79
教育学研究科	35.7	35.7	4.8	19.0	4.8	42
法学政治学研究科	13.0	29.3	34.8	14.1	8.7	92
経済学研究科	47.1	29.4	11.8	11.8	-	17
総合文化研究科	29.4	46.8	10.3	7.1	6.3	126
理学系研究科	42.3	38.1	11.9	7.7	-	168
工学系研究科	26.7	46.5	21.0	3.7	2.1	243
農学生命科学研究科	29.4	44.1	19.6	4.9	2.0	102
医学系研究科	22.5	40.8	16.7	12.5	7.5	120
薬学系研究科	24.3	56.8	10.8	5.4	2.7	37
数理科学研究科	43.8	31.3	6.3	6.3	12.5	16
新領域創成科学研究科	39.0	36.6	18.3	4.3	1.8	164
情報理工学系研究科	52.1	25.0	18.8	4.2	-	48
学際情報学府	28.6	33.3	9.5	23.8	4.8	21
公共政策学教育部	56.0	20.0	24.0	-	-	25

3-4 表 過去1年間に自分自身が負担した研究費

単位:千円

区分	研究に必要な書籍類の購入費		研究に必要なコピー代、その他文房具の購入費		調査、実験等の費用		学費、学会旅費、参加費、学会に 関する諸費用		その他	
	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数
2004年(第54回)	(64.7)	(1031)	(19.8)	(1031)	(35.6)	(1031)	(42.7)	(1031)	(22.5)	(1031)
全体	57.34	1278	16.17	1272	43.96	1240	38.42	1263	26.50	669
男	56.52	917	14.27	913	35.62	894	34.77	905	19.70	493
女	59.46	357	20.84	355	65.48	343	46.82	354	45.25	175
修士課程	33.30	659	10.76	656	27.84	645	21.73	649	11.85	345
博士課程	78.31	467	20.49	465	71.10	463	66.74	469	48.34	239
獣医学又は医学を履修する博士課程	59.95	37	9.83	36	24.33	36	66.51	37	7.62	21
専門職学位課程	110.55	111	32.39	111	5.75	104	4.92	104	30.97	62
文科系	116.00	368	34.31	369	55.74	345	46.67	357	40.40	179
理科系	33.32	905	8.77	898	39.58	891	34.04	902	21.47	489
修士課程	84.82	131	26.00	131	57.24	124	35.60	126	27.40	52
博士課程	147.81	134	42.49	135	93.33	125	89.03	134	60.09	67
獣医学又は医学を履修する博士課程	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
専門職学位課程	115.85	101	34.67	101	4.93	95	2.39	95	30.52	58
修士課程	20.52	526	6.98	523	20.92	519	18.44	521	9.12	292
博士課程	50.40	332	11.49	329	71.12	327	57.54	334	43.76	172
獣医学又は医学を履修する博士課程	53.28	36	10.11	35	25.03	35	40.58	36	7.62	21
専門職学位課程	56.67	9	8.11	9	14.44	9	31.67	9	37.50	4
人文社会系研究科	114.30	74	35.30	74	97.18	71	52.70	73	34.29	35
教育学研究科	132.55	42	38.19	42	55.15	41	94.34	41	22.50	16
法学政治学研究科	131.34	92	34.49	92	5.76	86	7.74	87	24.00	54
経済学研究科	92.35	17	36.71	17	43.33	15	64.59	17	.00	6
総合文化研究科	111.89	117	30.84	118	79.92	107	61.07	114	57.36	55
理学系研究科	23.37	165	4.16	163	34.02	161	28.11	167	10.85	96
工学系研究科	36.32	238	9.55	237	45.00	236	31.86	236	17.64	137
農学生命科学研究科	18.32	100	5.27	100	89.98	99	24.33	100	18.47	58
薬学研究科	63.58	118	17.44	117	47.93	115	72.17	118	22.23	60
理学系研究科	19.39	36	4.94	35	6.22	37	24.62	37	10.53	19
数理学系研究科	35.31	16	15.19	16	.67	15	40.20	15	.00	7
新領域創成科学研究科	22.33	163	6.48	162	16.75	159	21.99	160	26.19	72
情報理工学系研究科	24.96	48	4.31	48	16.56	48	35.46	48	11.70	30
学際情報学部	105.71	21	34.55	20	50.14	21	38.43	21	220.00	10
公共政策学教育部	73.85	26	38.73	26	15.00	25	8.56	25	93.85	13

設問 28

3-5 表 大学、短大などの非常勤講師或いは TA、RA をしているか

区 分	現在している	過去にしたことがある	していない(したことがない)	事例数
2004年(54回)	% (26.8)	% (18.3)	% (54.9)	人 (1031)
全 体	25.7	23.8	50.5	1307
男 子	26.3	24.5	49.1	934
女 子	23.9	22.3	53.8	368
修士課程	19.8	22.3	57.9	673
博士課程	38.8	30.8	30.4	480
獣医学又は医学を履修する博士課程	29.7	24.3	45.9	37
専門職学位課程	4.5	3.6	92.0	112
文科系	18.8	16.4	64.8	384
理科系	28.7	26.9	44.4	916

設問 29

3-6 表 研究室に専用又は共用の机の有無

区 分	専用の机がある	共用の机がある	どちらもない	事例数
2004年(54回)	% (74.4)	% (11.6)	% (14.0)	人 (1031)
全 体	68.0	16.1	15.9	1315
男 子	71.8	13.5	14.7	939
女 子	58.5	22.6	18.9	371
修士課程	77.5	13.7	8.8	679
博士課程	67.4	17.6	14.9	482
獣医学又は医学を履修する博士課程	89.2	8.1	2.7	37
専門職学位課程	6.3	25.9	67.9	112
文科系	11.5	42.4	46.1	384
理科系	91.5	5.2	3.3	923

設問 30

3-7 表 一週間の登校数

区 分	0日	1日-2日	3日-4日	5日	6日	7日	事例数
2004年(54回)	% (0.6)	% (9.9)	% (18.9)	% (27.4)	% (30.1)	% (13.2)	人 (1031)
全 体	2.7	13.3	18.1	28.9	24.5	12.5	1315
男 子	2.3	12.5	17.9	30.7	23.9	12.8	939
女 子	3.8	15.1	18.3	24.8	26.1	11.9	371
修士課程	1.3	8.4	19.9	33.9	26.8	9.6	678
博士課程	5.0	22.8	16.2	19.9	22.2	13.9	482
獣医学又は医学を履修する博士課程	5.6	8.3	8.3	11.1	36.1	30.6	36
専門職学位課程	0.9	4.4	19.5	41.6	15.9	17.7	113
文科系	2.9	25.5	30.9	21.3	11.2	8.3	385
理科系	2.7	8.4	12.9	32.1	29.8	14.1	922

設問 31

3-8 表 博士論文の執筆予定

区 分	既に書いた	在学中に書く予定	在学中に書く予定はないが、課程博士は取りたい	課程博士の期間内には書かない	事例数
2004年(54回)	% (5.3)	% (79.5)	% (12.4)	% (2.7)	人 (450)
全 体	8.5	77.4	11.6	2.5	483
男	8.4	79.9	9.9	1.8	333
女	8.8	72.1	15.0	4.1	147
文科系	2.1	59.7	33.3	4.9	144
理科系	11.2	84.9	2.4	1.5	338
人文社会学系研究科	-	51.1	38.3	10.6	47
教育学研究科	-	52.6	42.1	5.3	19
法学政治学研究科	-	83.3	16.7	-	6
経済学研究科	-	60.0	40.0	-	10
総合文化研究科	4.8	66.1	27.4	1.6	62
理学系研究科	16.9	76.6	2.6	3.9	77
工学系研究科	2.8	94.4	2.8	-	71
農学生命科学研究科	11.6	88.4	-	-	43
医学系研究科	17.9	80.4	-	1.8	56
薬学系研究科	-	93.3	6.7	-	15
数理学系研究科	11.1	88.9	-	-	9
新領域創成科学研究科	13.0	84.8	2.2	-	46
情報理工学系研究科	7.1	78.6	7.1	7.1	14
学際情報学府	-	85.7	14.3	-	7
公共政策学教育部	-	-	-	-	-

設問 32

3-9 表 研究上使用する主な言語

(2つまで)

区 分	日本語	英語	中国語	独 語	仏 語	その他	事例数
2004年(54回)	% (93.9)	% (82.8)	% (1.3)	% (1.6)	% (2.3)	% (1.6)	人 (1031)
全 体	90.5	78.2	1.3	1.3	3.0	2.2	536
男 子	92.7	79.5	1.6	1.1	2.4	1.9	371
女 子	87.4	76.1	0.6	1.9	4.4	3.1	159
修士課程	-	-	-	-	-	-	-
博士課程	91.2	78.6	1.2	1.2	3.3	2.4	490
獣医学又は医学を履修する博士課程	94.7	86.8	-	2.6	-	-	38
専門職学位課程	-	-	-	-	-	-	-
文科系	92.6	53.4	4.7	3.4	10.8	7.4	148
理科系	90.3	88.3	-	0.5	-	0.3	383

博士課程のみ

設問 33

3-10-1 表 一日平均の研究時間

単位:時間

区 分	平均値	度数
2004年(第54回)	(7.7)	(1031)
全 体	7.9	1335
男	8.1	658
女	7.7	260
修士課程	7.6	356
博士課程	8.2	474
獣医学又は医学を履修する博士課程	9.4	36
専門職学位課程	7.3	54
文科系	6.2	251
理科系	8.6	668

3-10-2 表 一週間平均の研究時間

単位:時間

区 分	平均値	度数
2004年(54回)	(43.3)	(1031)
全 体	45.0	922
男	45.8	658
女	43.6	260
修士課程	40.8	357
博士課程	47.4	473
獣医学又は医学を履修する博士課程	53.1	36
専門職学位課程	45.3	54
文科系	38.6	250
理科系	47.4	669

設問 34

4-1 表 修士課程修了後の進路

区分	社会人入学の方のみ (2つまで)										
	修士課程と同じ 研究室の博士課 程へ進学したい	東京大学の他の 研究室の博士課 程へ進学したい	他大学の博士課 程へ進学したい	修士入学したい	留学したい(博士 課程進学後の留 学を含む)	研究職に就職し たい	研究職や専門職 以外で就職した い	現在の職場に戻 りたい	現在の職場から 新しい職場へ移り たい	その他	事例数
2004年(54回)	% (40.5)	% (3.8)	% (0.9)	% (0.6)	% (3.8)	% (23.5)	% (23.5)	% (0.8)	% (0.4)	% (2.1)	人 (529)
全体	38.6	5.4	2.8	1.8	11.4	37.6	46.3	1.6	1.3	5.6	692
男子	38.6	5.6	3.4	1.4	9.7	39.0	49.1	1.6	0.8	4.2	507
女子	38.3	5.0	1.1	2.8	15.6	33.9	38.9	1.7	2.8	9.4	181
文科系	61.4	10.0	4.3	0.7	23.6	17.9	29.3	1.4	5.0	8.6	142
理科系	32.6	4.3	2.4	2.0	8.3	42.6	50.9	1.7	0.4	4.6	543

修士課程の方のみ

設問 35

4-2 表 博士課程修了後の進路

区分	社会人入学の方のみ (2つまで)										
	博士課程と同じ 研究室に特別研 究員などとして残 りたい	東京大学の他の 研究室に特別研 究員などとして残 りたい	他大学の研究室 に特別研究員な どとして残りた い	国公立研究機関 (独法を含む)の 研究室に特別研 究員などとして移 りたい	学士入学したい	研究職に就職し たい	研究職や専門職 以外で就職した い	現在の職場に戻 りたい	現在の職場から 新しい職場へ移り たい	その他	事例数
2004年(54回)	% (15.5)	% (7.7)	% (10.8)	% (14.6)	% (0.4)	% (27.2)	% (3.8)	% (3.1)	% (0.2)	% (3.3)	人 (450)
全体	24.1	10.3	7.2	20.4	16.1	45.4	8.0	8.2	3.6	5.7	527
男子	25.4	11.0	7.8	20.2	15.4	43.9	6.9	9.8	4.4	4.4	366
女子	21.0	8.9	5.8	21.3	17.9	49.7	10.9	3.8	1.9	8.2	158
文科系	24.7	11.0	6.6	7.5	15.1	69.2	9.6	0.7	3.4	8.2	146
理科系	24.1	10.1	7.6	25.5	16.5	36.0	7.5	11.1	3.7	4.7	379

博士課程の方のみ

4-3 表 就職希望職種

(2つまで)

区分	大学(短大、附置 研究所を含む)の 教育職、研究職	大学以外の教育 職	国立研究機関 (独法を含む)の 研究職	国、地方公共団 体の研究職、技 術職	国、地方公共団 体の一般職	企業の研究職、 技術職	企業の一般職	専門職 ※大学 教員や研究職以 外(弁護士、公 認会計士、税理 士、医師等)	その他	事例数
	% (45.8)	% (1.7)	% (10.9)	% (3.5)	% (2.8)	% (19.6)	% (6.8)	% (6.6)	% (2.3)	人 (1031)
2004年(54回)	38.5	4.3	24.9	4.8	4.3	23.6	10.3	7.8	2.9	1335
全体	39.5	4.0	24.7	4.5	4.5	25.4	10.9	6.4	2.8	948
男子	36.6	5.0	25.8	5.5	3.9	18.9	9.2	11.3	2.9	380
女子	18.0	3.7	13.3	5.7	5.1	28.2	14.5	2.8	1.8	684
修士課程	73.3	6.1	46.1	4.7	1.8	23.1	5.5	5.3	5.1	490
博士課程	65.8	5.3	36.8	-	-	18.4	10.5	36.8	-	38
獣医学又は医学を履修する博士課程	5.2	0.9	0.9	1.7	12.2	-	7.0	39.1	1.7	115
専門職学位課程	44.0	9.2	17.8	3.3	6.1	4.1	6.6	14.8	4.1	393
文科系	36.6	2.4	28.2	5.5	3.6	31.9	11.9	4.7	2.5	932
理科系										

4-4 表 就職の見通し

区別	既に就職が決まっている	決まっていないが、見通しは明るい	何とかなっている	かなり厳しいと 思っている	見通しが立たない	あまり考えていない	その他	事例数
	% (18.7)	% (5.8)	% (32.4)	% (23.1)	% (13.0)	% (5.9)	% (1.1)	人 (1031)
2004年(54回)	20.2	5.1	29.6	24.1	12.2	5.8	3.0	954
全体	22.3	4.2	30.9	22.4	11.6	5.4	3.2	683
男子	15.0	7.5	25.9	28.9	13.5	6.8	2.3	266
女子	33.1	4.2	26.5	19.8	7.7	7.1	1.6	378
修士課程	11.9	5.0	29.1	28.0	16.7	4.6	4.6	478
博士課程	5.4	10.8	40.5	18.9	8.1	13.5	2.7	37
獣医学又は医学を履修する博士課程	13.8	8.6	44.8	24.1	6.9	1.7	0.0	58
専門職学位課程	9.4	4.5	27.7	34.5	18.4	4.9	0.7	267
文科系	24.6	5.3	30.2	20.1	9.8	6.1	4.0	683
理科系								

4-5 表 就職の情報

(複数回答)

区 分	公募で探す	所属する研究室 の関係者(教授、 先輩等)の斡旋に 頼る	自分で情報収集 に努める	その他	事例数
2004年(54回)	% (26.9)	% (16.5)	% (54.3)	% (2.3)	人 (1031)
全 体	21.0	9.6	39.5	2.6	1335
男 子	21.2	9.8	39.3	3.2	948
女 子	20.5	8.7	40.0	1.1	380
修士課程	13.2	4.5	36.8	1.5	684
博士課程	36.3	15.9	43.9	4.3	490
獣医学又は医学を履修する博士課程	7.9	42.1	36.8	7.9	38
専門職学位課程	7.8	1.7	39.1	0.9	115
文科系	26.0	6.6	34.1	1.5	393
理科系	19.2	10.7	42.0	3.1	932

2004年(第54回)調査では、単数回答(合計が100%)として集計したが、今回は複数回答として集計した。

設問 39

4-6 表 博士課程修了後、何年位で教育職・研究職に就けるとおもいますか

区 分	直ちに	1-2年	3-5年	5-10年	見通しが立たない	事例数
2004年(54回)	% (14.3)	% (22.4)	% (27.4)	% (5.5)	% (30.6)	人 (535)
全 体	14.8	17.5	29.7	9.4	28.5	508
男 子	13.4	18.8	30.3	10.1	27.5	357
女 子	17.6	14.2	29.1	8.1	31.1	148
修士課程	14.5	16.9	27.4	12.1	29.0	124
博士課程	14.2	18.1	30.4	8.5	28.8	365
獣医学又は医学を履修する博士課程	25.0	12.5	37.5	6.3	18.8	16
専門職学位課程	50.0	-	-	-	50.0	2
文科系	6.0	19.2	26.5	12.6	35.8	151
理科系	18.5	16.8	31.1	8.1	25.5	357

教育職・研究職を目指している方のみ

設問 40

現在の学生生活の中で、各項目について、どの程度悩んだり不安を感じたりしていますか

5-1-1 表 勉学（成績・単位など）

区 分	良く悩む	ときに悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
全 体	% 26.1	% 32.1	% 26.8	% 15.0	人 1321
男 子	22.7	31.2	28.2	17.9	939
女 子	34.7	34.0	23.3	8.0	377
修士課程	21.6	32.8	29.9	15.7	680
博士課程	27.7	29.8	25.1	17.4	483
獣医学又は医学を履修する博士課程	24.3	43.2	24.3	8.1	37
専門職学位課程	46.1	34.8	15.7	3.5	115
未 婚	26.0	31.7	27.2	15.1	1132
既 婚	26.7	34.7	23.3	15.3	176
文科系	37.1	33.0	19.6	10.3	388
理科系	21.2	31.7	30.1	17.1	925
人文社会系研究科	31.6	31.6	24.1	12.7	79
教育学研究科	23.8	47.6	16.7	11.9	42
法学政治学研究科	50.5	40.2	7.2	2.1	97
経済学研究科	52.9	23.5	11.8	11.8	17
総合文化研究科	37.0	23.6	24.4	15.0	127
理学系研究科	23.3	27.3	34.9	14.5	172
工学系研究科	17.4	32.2	30.6	19.8	242
農学生命科学研究科	24.3	31.1	30.1	14.6	103
医学系研究科	24.0	38.0	25.6	12.4	121
薬学系研究科	13.2	31.6	42.1	13.2	38
数理学研究科	53.3	20.0	13.3	13.3	15
新領域創成科学研究科	15.9	36.0	28.0	20.1	164
情報理工学系研究科	28.6	22.4	24.5	24.5	49
学際情報学府	33.3	23.8	28.6	14.3	21
公共政策学教育部	15.4	38.5	38.5	7.7	26

5-1-2 表 進学

区 分	良く悩む	ときに悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
全 体	% 16.8	% 23.4	% 28.0	% 31.8	人 1308
男 子	14.9	23.0	28.2	33.9	928
女 子	21.9	24.8	27.2	26.1	375
修士課程	19.7	28.2	27.0	25.1	681
博士課程	14.9	16.8	28.1	40.2	470
獣医学又は医学を履修する博士課程	8.1	27.0	40.5	24.3	37
専門職学位課程	9.6	21.9	28.9	39.5	114
未 婚	18.1	23.4	27.8	30.7	1122
既 婚	8.7	21.4	28.9	41.0	173
文科系	18.7	25.5	26.3	29.5	380
理科系	15.9	22.6	28.8	32.7	920
人文社会系研究科	23.4	26.0	27.3	23.4	77
教育学研究科	19.0	40.5	19.0	21.4	42
法学政治学研究科	11.5	20.8	30.2	37.5	96
経済学研究科	18.8	37.5	18.8	25.0	16
総合文化研究科	23.6	22.0	26.8	27.6	123
理学系研究科	24.3	19.5	26.6	29.6	169
工学系研究科	8.3	19.8	31.4	40.5	242
農学生命科学研究科	17.8	22.8	27.7	31.7	101
医学系研究科	15.7	25.6	30.6	28.1	121
薬学系研究科	12.8	30.8	28.2	28.2	39
数理学研究科	42.9	28.6	14.3	14.3	14
新領域創成科学研究科	16.5	25.6	26.2	31.7	164
情報理工学系研究科	12.2	18.4	30.6	38.8	49
学際情報学府	19.0	28.6	38.1	14.3	21
公共政策学教育部	7.7	26.9	23.1	42.3	26

5-1-3 表 就職

区 分	良く悩む	ときに悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
全 体	% 42.3	% 33.3	% 14.5	% 9.9	人 1318
男 子	39.9	34.2	14.3	11.6	935
女 子	48.1	31.5	14.8	5.6	378
修士課程	42.7	33.6	14.6	9.1	679
博士課程	42.9	32.8	12.7	11.6	482
獣医学又は医学を履修する博士課程	30.6	30.6	27.8	11.1	36
専門職学位課程	40.9	35.7	15.7	7.8	115
未 婚	44.4	35.0	13.4	7.3	1130
既 婚	28.0	22.9	21.1	28.0	175
文科系	47.5	32.0	14.2	6.2	387
理科系	39.9	34.0	14.7	11.4	923
人文社会系研究科	55.1	29.5	11.5	3.8	78
教育学研究科	45.2	31.0	9.5	14.3	42
法学政治学研究科	39.2	39.2	16.5	5.2	97
経済学研究科	41.2	41.2	11.8	5.9	17
総合文化研究科	52.8	26.0	15.7	5.5	127
理学系研究科	48.0	35.7	11.7	4.7	171
工学系研究科	31.0	33.1	18.2	17.8	242
農学生命科学研究科	50.5	32.0	9.7	7.8	103
医学系研究科	35.8	30.8	21.7	11.7	120
薬学系研究科	34.2	36.8	21.1	7.9	38
数理科学研究科	33.3	53.3	13.3	0.0	15
新領域創成科学研究科	42.7	37.2	7.9	12.2	164
情報理工学系研究科	42.9	24.5	20.4	12.2	49
学際情報学府	33.3	38.1	14.3	14.3	21
公共政策学教育部	38.5	38.5	15.4	7.7	26

5-1-4 表 将来の進路や生き方

区 分	良く悩む	ときに悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
全 体	% 49.6	% 32.7	% 12.3	% 5.5	人 1320
男 子	46.5	34.0	12.6	6.8	937
女 子	57.1	29.4	11.4	2.1	378
修士課程	52.0	31.6	11.6	4.8	681
博士課程	48.0	33.5	12.1	6.4	481
獣医学又は医学を履修する博士課程	45.9	37.8	13.5	2.7	37
専門職学位課程	44.3	33.9	15.7	6.1	115
未 婚	51.5	32.4	11.7	4.4	1133
既 婚	38.5	33.9	14.9	12.6	174
文科系	47.5	33.3	14.0	5.2	387
理科系	50.4	32.5	11.5	5.6	925
人文社会系研究科	55.1	30.8	9.0	5.1	78
教育学研究科	42.9	38.1	11.9	7.1	42
法学政治学研究科	44.3	38.1	15.5	2.1	97
経済学研究科	23.5	52.9	17.6	5.9	17
総合文化研究科	50.4	29.9	13.4	6.3	127
理学系研究科	52.3	34.9	12.2	0.6	172
工学系研究科	44.6	33.1	12.8	9.5	242
農学生命科学研究科	58.3	28.2	6.8	6.8	103
医学系研究科	47.1	36.4	13.2	3.3	121
薬学系研究科	46.2	38.5	10.3	5.1	39
数理科学研究科	53.3	13.3	20.0	13.3	15
新領域創成科学研究科	58.9	28.8	6.7	5.5	163
情報理工学系研究科	42.9	36.7	14.3	6.1	49
学際情報学府	38.1	28.6	28.6	4.8	21
公共政策学教育部	46.2	19.2	26.9	7.7	26

5-1-5 表 友人との対人関係

区 分	良く悩む	ときに悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
全 体	% 5.6	% 23.2	% 47.6	% 23.6	人 1321
男 子	5.1	21.6	47.2	26.0	938
女 子	6.9	27.0	48.4	17.7	378
修士課程	6.5	25.0	46.0	22.6	681
博士課程	4.4	17.4	51.5	26.8	482
獣医学又は医学を履修する博士課程	0.0	40.5	48.6	10.8	37
専門職学位課程	7.8	30.4	41.7	20.0	115
未 婚	6.0	24.1	47.1	22.8	1133
既 婚	3.4	17.1	50.3	29.1	175
文科系	6.2	22.7	47.0	24.0	387
理科系	5.2	23.2	48.2	23.4	926
人文社会系研究科	7.7	15.4	51.3	25.6	78
教育学研究科	4.8	21.4	59.5	14.3	42
法学政治学研究科	9.3	32.0	37.1	21.6	97
経済学研究科	0.0	5.9	52.9	41.2	17
総合文化研究科	4.7	21.3	47.2	26.8	127
理学系研究科	5.8	19.2	52.3	22.7	172
工学系研究科	4.1	21.1	47.9	26.9	242
農学生命科学研究科	8.7	21.4	51.5	18.4	103
医学系研究科	2.5	31.4	49.6	16.5	121
薬学系研究科	2.6	33.3	43.6	20.5	39
数理科学研究科	6.7	20.0	40.0	33.3	15
新領域創成科学研究科	4.9	24.4	44.5	26.2	164
情報理工学系研究科	8.2	18.4	44.9	28.6	49
学際情報学府	9.5	28.6	42.9	19.0	21
公共政策学教育部	3.8	30.8	46.2	19.2	26

5-1-6 表 教職員との対人関係

区 分	良く悩む	ときに悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
全 体	% 11.5	% 25.7	% 41.9	% 20.9	人 1321
男 子	10.7	23.9	42.5	22.9	938
女 子	13.5	30.2	40.5	15.9	378
修士課程	13.2	27.0	39.6	20.1	681
博士課程	11.4	24.9	43.8	19.9	482
獣医学又は医学を履修する博士課程	10.8	45.9	35.1	8.1	37
専門職学位課程	2.6	14.8	48.7	33.9	115
未 婚	12.0	26.1	41.0	20.8	1133
既 婚	8.6	21.7	47.4	22.3	175
文科系	7.8	20.4	47.0	24.8	387
理科系	13.0	27.8	39.8	19.4	926
人文社会系研究科	12.8	24.4	34.6	28.2	78
教育学研究科	4.8	16.7	69.0	9.5	42
法学政治学研究科	3.1	11.3	47.4	38.1	97
経済学研究科	5.9	29.4	35.3	29.4	17
総合文化研究科	10.2	23.6	48.0	18.1	127
理学系研究科	12.2	23.8	43.6	20.3	172
工学系研究科	6.2	22.3	49.2	22.3	242
農学生命科学研究科	16.5	35.9	34.0	13.6	103
医学系研究科	15.7	41.3	33.9	9.1	121
薬学系研究科	17.9	30.8	33.3	17.9	39
数理科学研究科	26.7	6.7	26.7	40.0	15
新領域創成科学研究科	15.2	29.3	34.1	21.3	164
情報理工学系研究科	22.4	18.4	30.6	28.6	49
学際情報学府	4.8	23.8	52.4	19.0	21
公共政策学教育部	3.8	26.9	50.0	19.2	26

5-1-7 表 性・異性・恋愛・結婚

区 分	良く悩む	ときに悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
全 体	% 17.2	% 34.1	% 29.1	% 19.7	人 1321
男 子	16.8	32.2	29.9	21.1	938
女 子	18.0	38.9	27.2	15.9	378
修士課程	17.6	34.8	31.4	16.2	681
博士課程	17.0	33.2	25.9	23.9	482
獣医学又は医学を履修する博士課程	8.1	45.9	24.3	21.6	37
専門職学位課程	17.4	30.4	29.6	22.6	115
未 婚	19.2	37.5	29.2	14.0	1133
既 婚	5.1	12.6	26.9	55.4	175
文科系	15.8	29.5	31.8	23.0	387
理科系	17.7	35.9	28.1	18.4	926
人文社会系研究科	12.8	30.8	26.9	29.5	78
教育学研究科	14.3	31.0	38.1	16.7	42
法学政治学研究科	15.5	29.9	35.1	19.6	97
経済学研究科	5.9	41.2	35.3	17.6	17
総合文化研究科	16.5	26.8	32.3	24.4	127
理学系研究科	17.4	39.5	26.7	16.3	172
工学系研究科	15.3	30.2	33.5	21.1	242
農学生命科学研究科	22.3	38.8	24.3	14.6	103
医学系研究科	20.7	35.5	26.4	17.4	121
薬学系研究科	7.7	59.0	17.9	15.4	39
数理科学研究科	40.0	13.3	20.0	26.7	15
新領域創成科学研究科	15.9	39.0	28.0	17.1	164
情報理工学系研究科	26.5	24.5	28.6	20.4	49
学際情報学府	4.8	33.3	28.6	33.3	21
公共政策学教育部	30.8	26.9	19.2	23.1	26

5-1-8 表 経済的なことや経済的自立

区 分	良く悩む	ときに悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
全 体	% 36.0	% 35.1	% 21.6	% 7.3	人 1321
男 子	34.9	34.8	22.8	7.6	938
女 子	39.2	36.2	18.3	6.3	378
修士課程	32.9	36.7	22.6	7.8	681
博士課程	40.0	32.4	20.7	6.8	482
獣医学又は医学を履修する博士課程	37.8	24.3	27.0	10.8	37
専門職学位課程	39.1	38.3	17.4	5.2	115
未 婚	37.5	35.9	20.3	6.3	1133
既 婚	25.7	30.9	29.1	14.3	175
文科系	46.8	33.6	14.7	4.9	387
理科系	31.7	35.5	24.5	8.2	926
人文社会系研究科	52.6	34.6	9.0	3.8	78
教育学研究科	52.4	26.2	21.4	0.0	42
法学政治学研究科	42.3	36.1	17.5	4.1	97
経済学研究科	29.4	29.4	29.4	11.8	17
総合文化研究科	48.8	33.1	11.0	7.1	127
理学系研究科	36.0	39.0	19.8	5.2	172
工学系研究科	21.1	32.6	32.2	14.0	242
農学生命科学研究科	35.9	36.9	23.3	3.9	103
医学系研究科	36.4	29.8	26.4	7.4	121
薬学系研究科	33.3	46.2	17.9	2.6	39
数理科学研究科	33.3	46.7	20.0	0.0	15
新領域創成科学研究科	36.6	35.4	18.9	9.1	164
情報理工学系研究科	30.6	34.7	26.5	8.2	49
学際情報学府	33.3	42.9	23.8	0.0	21
公共政策学教育部	38.5	38.5	19.2	3.8	26

5-1-9 表 自分の性格

区 分	良く悩む	ときに悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
全 体	% 15.6	% 30.4	% 37.7	% 16.4	人 1320
男 子	14.9	27.6	38.6	18.9	938
女 子	17.5	37.1	35.3	10.1	377
修士課程	17.6	31.7	36.3	14.4	681
博士課程	13.1	28.8	39.0	19.1	482
獣医学又は医学を履修する博士課程	18.9	32.4	40.5	8.1	37
専門職学位課程	14.0	28.9	37.7	19.3	114
未 婚	16.1	30.9	37.0	16.0	1132
既 婚	12.0	27.4	41.1	19.4	175
文科系	13.5	31.6	39.1	15.8	386
理科系	16.4	29.9	37.1	16.5	926
人文社会系研究科	17.9	32.1	32.1	17.9	78
教育学研究科	7.1	35.7	47.6	9.5	42
法学政治学研究科	11.5	33.3	39.6	15.6	96
経済学研究科	11.8	29.4	52.9	5.9	17
総合文化研究科	13.4	29.9	39.4	17.3	127
理学系研究科	16.3	32.0	37.2	14.5	172
工学系研究科	13.6	29.8	38.4	18.2	242
農学生命科学研究科	16.5	28.2	37.9	17.5	103
医学系研究科	16.5	28.1	41.3	14.0	121
薬学系研究科	12.8	41.0	28.2	17.9	39
数理科学研究科	13.3	33.3	33.3	20.0	15
新領域創成科学研究科	18.9	29.3	35.4	16.5	164
情報理工学系研究科	22.4	24.5	30.6	22.4	49
学際情報学府	23.8	28.6	42.9	4.8	21
公共政策学教育部	19.2	26.9	34.6	19.2	26

5-1-10 表 自分の体調や健康

区 分	良く悩む	ときに悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
全 体	% 12.5	% 31.6	% 36.0	% 19.9	人 1321
男 子	11.3	30.2	36.4	22.2	938
女 子	15.6	34.7	35.4	14.3	378
修士課程	12.0	31.9	34.5	21.6	681
博士課程	12.2	30.5	37.8	19.5	482
獣医学又は医学を履修する博士課程	10.8	24.3	56.8	8.1	37
専門職学位課程	17.4	36.5	31.3	14.8	115
未 婚	12.5	31.5	35.7	20.3	1133
既 婚	12.0	33.7	36.6	17.7	175
文科系	16.3	30.7	35.1	17.8	387
理科系	10.7	31.9	36.7	20.7	926
人文社会系研究科	21.8	20.5	37.2	20.5	78
教育学研究科	14.3	28.6	45.2	11.9	42
法学政治学研究科	17.5	38.1	33.0	11.3	97
経済学研究科	5.9	41.2	23.5	29.4	17
総合文化研究科	15.0	29.9	33.9	21.3	127
理学系研究科	13.4	27.9	36.0	22.7	172
工学系研究科	4.1	30.2	38.4	27.3	242
農学生命科学研究科	9.7	38.8	32.0	19.4	103
医学系研究科	12.4	26.4	47.9	13.2	121
薬学系研究科	10.3	38.5	38.5	12.8	39
数理科学研究科	26.7	26.7	33.3	13.3	15
新領域創成科学研究科	15.9	36.6	27.4	20.1	164
情報理工学系研究科	8.2	32.7	40.8	18.4	49
学際情報学府	14.3	33.3	42.9	9.5	21
公共政策学教育部	11.5	34.6	34.6	19.2	26

5-1-11 表 人生の意義・目標

区分	良く悩む	ときに悩む	あまり悩まない	全く悩まない	事例数
全体	% 24.1	% 32.8	% 28.6	% 14.4	人 1292
男子	22.8	33.8	26.9	16.5	916
女子	27.5	30.2	33.2	9.2	371
修士課程	26.8	34.8	26.7	11.7	667
博士課程	20.9	31.1	29.1	18.9	470
獣医学又は医学を履修する博士課程	36.1	25.0	30.6	8.3	36
専門職学位課程	18.6	31.0	37.2	13.3	113
未婚	24.7	33.3	28.9	13.1	1109
既婚	21.6	30.4	24.6	23.4	171
文科系	20.1	32.5	32.5	15.0	379
理科系	25.6	33.1	27.2	14.0	905
人文社会系研究科	15.8	40.8	23.7	19.7	76
教育学研究科	19.0	42.9	28.6	9.5	42
法学政治学研究科	16.8	28.4	44.2	10.5	95
経済学研究科	-	41.2	41.2	17.6	17
総合文化研究科	28.2	20.2	33.9	17.7	124
理学系研究科	27.6	31.8	26.5	14.1	170
工学系研究科	20.3	37.7	25.1	16.9	231
農学生命科学研究科	26.5	32.4	31.4	9.8	102
医学系研究科	35.3	25.2	26.9	12.6	119
薬学系研究科	20.5	33.3	33.3	12.8	39
数理科学研究科	21.4	42.9	21.4	14.3	14
新領域創成科学研究科	25.3	36.4	27.2	11.1	162
情報理工学系研究科	25.0	27.1	27.1	20.8	48
学際情報学府	25.0	25.0	30.0	20.0	20
公共政策学教育部	20.0	60.0	8.0	12.0	25

設問 41

あなたは、不安や悩みを感じたとき、だれと相談したり、話し合ったりしますか

5-2-1 表 父・母

区分	良く相談する	ときどき相談する	たまに相談する	全く相談しない	事例数
全体	% 17.2	% 21.0	% 34.4	% 27.3	人 1318
男	12.0	20.2	35.9	31.9	935
女	30.4	23.0	30.7	15.9	378
修士課程	17.4	22.9	35.4	24.3	680
博士課程	18.5	17.1	33.5	30.8	480
獣医学又は医学を履修する博士課程	10.8	16.2	45.9	27.0	37
専門職学位課程	13.9	27.8	27.8	30.4	115
未婚	18.2	22.4	34.6	24.7	1132
既婚	11.0	12.7	31.8	44.5	173
文科系	21.8	23.1	27.5	27.7	386
理科系	15.3	20.2	37.1	27.4	924
人文社会系研究科	25.6	16.7	26.9	30.8	78
教育学研究科	14.3	16.7	40.5	28.6	42
法学政治学研究科	16.5	30.9	28.9	23.7	97
経済学研究科	47.1	29.4	5.9	17.6	17
総合文化研究科	23.8	23.8	23.8	28.6	126
理学系研究科	18.0	18.6	38.4	25.0	172
工学系研究科	9.9	24.4	35.1	30.6	242
農学生命科学研究科	19.4	20.4	34.0	26.2	103
医学系研究科	19.0	16.5	40.5	24.0	121
薬学系研究科	17.9	20.5	30.8	30.8	39
数理科学研究科	13.3	33.3	33.3	20.0	15
新領域創成科学研究科	16.7	19.1	37.0	27.2	162
情報理工学系研究科	10.2	14.3	44.9	30.6	49
学際情報学府	9.5	19.0	42.9	28.6	21
公共政策学教育部	15.4	15.4	34.6	34.6	26

5-2-2 表 兄弟・姉妹

区分	良く相談する	ときどき相談する	たまに相談する	全く相談しない	事例数
全体	% 5.0	% 10.1	% 22.7	% 62.2	人 1295
男	3.3	8.9	20.7	67.1	918
女	9.4	12.6	27.7	50.3	372
修士課程	4.6	11.0	22.4	62.0	671
博士課程	5.7	9.4	22.3	62.6	470
獣医学又は医学を履修する博士課程	2.7	8.1	27.0	62.2	37
専門職学位課程	4.5	9.0	26.1	60.4	111
未婚	5.0	10.6	22.8	61.6	1109
既婚	4.6	8.1	22.0	65.3	173
文科系	6.1	9.3	21.7	63.0	378
理科系	4.6	10.4	22.9	62.1	910
人文社会系研究科	-	6.6	21.1	72.4	76
教育学研究科	2.4	11.9	31.0	54.8	42
法学政治学研究科	4.2	11.5	29.2	55.2	96
経済学研究科	5.9	5.9	11.8	76.5	17
総合文化研究科	11.4	10.6	15.4	62.6	123
理学系研究科	3.6	6.6	24.7	65.1	166
工学系研究科	4.2	11.4	19.1	65.3	236
農学生命科学研究科	7.8	11.8	20.6	59.8	102
医学系研究科	5.0	10.0	25.8	59.2	120
薬学系研究科	2.6	2.6	23.1	71.8	39
数理科学研究科	0.0	13.3	20.0	66.7	15
新領域創成科学研究科	6.1	13.5	22.1	58.3	163
情報理工学系研究科	2.1	12.5	25.0	60.4	48
学際情報学府	-	9.5	47.6	42.9	21
公共政策学教育部	12.5	-	16.7	70.8	24

5-2-3 表 なんでも相談コーナー・学生相談所等

区分	良く相談する	ときどき相談する	たまに相談する	全く相談しない	事例数
全体	% 0.9	% 2.1	% 6.5	% 90.4	人 1317
男	1.0	1.9	5.6	91.5	934
女	0.8	2.6	9.0	87.6	378
修士課程	0.7	2.4	6.5	90.4	679
博士課程	0.8	2.3	5.4	91.5	480
獣医学又は医学を履修する博士課程	0.0	-	5.4	94.6	37
専門職学位課程	2.6	0.9	12.2	84.3	115
未婚	1.0	2.1	6.6	90.3	1131
既婚	0.6	1.7	5.8	91.9	173
文科系	1.3	3.4	6.5	88.8	384
理科系	0.8	1.6	6.4	91.2	925
人文社会系研究科	2.6	6.4	5.1	85.9	78
教育学研究科	-	2.4	4.8	92.9	42
法学政治学研究科	2.1	1.0	10.3	86.6	97
経済学研究科	-	-	5.9	94.1	17
総合文化研究科	-	4.8	3.2	91.9	124
理学系研究科	-	1.7	9.3	89.0	172
工学系研究科	-	-	3.7	96.3	242
農学生命科学研究科	1.9	2.9	9.7	85.4	103
医学系研究科	0.0	2.5	5.8	91.7	121
薬学系研究科	0.0	-	7.7	92.3	39
数理科学研究科	6.7	-	-	93.3	15
新領域創成科学研究科	1.2	1.8	6.7	90.2	163
情報理工学系研究科	4.1	6.1	6.1	83.7	49
学際情報学府	-	-	-	100.0	21
公共政策学教育部	3.8	-	15.4	80.8	26

5-2-4 表 大学の教職員

区分	良く相談する	ときどき相談する	たまに相談する	全く相談しない	事例数
全体	% 2.7	% 9.1	% 35.2	% 52.9	人 1314
男	2.8	8.9	34.4	53.9	932
女	2.7	9.5	37.4	50.4	377
修士課程	1.6	8.4	34.0	56.0	679
博士課程	5.2	11.5	39.7	43.5	478
獣医学又は医学を履修する博士課程	-	11.1	50.0	38.9	36
専門職学位課程	-	3.5	20.0	76.5	115
未婚	2.7	8.9	34.4	54.0	1129
既婚	2.9	10.5	41.3	45.3	172
文科系	3.9	7.0	32.8	56.3	384
理科系	2.3	10.1	36.2	51.4	922
人文社会系研究科	2.6	9.0	42.3	46.2	78
教育学研究科	-	7.1	40.5	52.4	42
法学政治学研究科	1.0	4.1	21.6	73.2	97
経済学研究科	5.9	11.8	35.3	47.1	17
総合文化研究科	8.9	8.9	34.7	47.6	124
理学系研究科	2.9	8.8	37.1	51.2	170
工学系研究科	1.2	10.3	35.1	53.3	242
農学生命科学研究科	1.0	13.6	32.0	53.4	103
医学系研究科	4.2	13.3	47.5	35.0	120
薬学系研究科	5.1	7.7	30.8	56.4	39
数理科学研究科	-	6.7	40.0	53.3	15
新領域創成科学研究科	2.5	8.6	30.7	58.3	163
情報理工学系研究科	2.0	8.2	32.7	57.1	49
学際情報学府	-	4.8	57.1	38.1	21
公共政策学教育部	-	-	23.1	76.9	26

5-2-5 表 大学内の同じ学科や研究室の友人

区分	良く相談する	ときどき相談する	たまに相談する	全く相談しない	事例数
全体	% 12.5	% 26.4	% 39.7	% 21.3	人 1317
男	10.7	25.3	41.3	22.7	935
女	17.2	28.6	36.3	17.8	377
修士課程	13.1	27.6	40.6	18.7	680
博士課程	12.1	24.8	37.8	25.3	479
獣医学又は医学を履修する博士課程	5.4	24.3	56.8	13.5	37
専門職学位課程	13.9	27.0	38.3	20.9	115
未婚	13.2	28.0	39.8	19.1	1132
既婚	8.1	15.6	40.5	35.8	173
文科系	12.8	25.3	39.1	22.9	384
理科系	12.5	26.7	40.1	20.6	925
人文社会系研究科	9.1	23.4	41.6	26.0	77
教育学研究科	11.9	31.0	47.6	9.5	42
法学政治学研究科	15.5	21.6	42.3	20.6	97
経済学研究科	23.5	29.4	17.6	29.4	17
総合文化研究科	13.6	24.0	36.8	25.6	125
理学系研究科	9.3	32.0	43.6	15.1	172
工学系研究科	8.7	26.0	40.1	25.2	242
農学生命科学研究科	20.4	23.3	37.9	18.4	103
医学系研究科	16.5	35.5	33.1	14.9	121
薬学系研究科	20.5	20.5	41.0	17.9	39
数理科学研究科	6.7	40.0	33.3	20.0	15
新領域創成科学研究科	15.3	23.3	41.7	19.6	163
情報理工学系研究科	4.1	18.4	49.0	28.6	49
学際情報学府	9.5	4.8	33.3	52.4	21
公共政策学教育部	3.8	38.5	30.8	26.9	26

5-2-6 表 大学内のサークルや団体の友人

区 分	良く相談する	ときどき相談する	たまに相談する	全く相談しない	事例数
全 体	% 4.6	% 13.6	% 18.6	% 63.3	人 1304
男	4.7	14.7	19.8	60.7	927
女	4.3	11.0	15.3	69.4	372
修士課程	7.1	17.5	21.1	54.3	674
博士課程	2.1	8.7	14.0	75.3	473
獣医学又は医学を履修する博士課程	-	5.4	24.3	70.3	37
専門職学位課程	1.8	14.0	20.2	64.0	114
未 婚	5.2	15.0	19.7	60.1	1119
既 婚	1.2	5.2	11.6	82.0	172
文科系	3.7	12.2	15.6	68.5	378
理科系	5.0	14.1	19.6	61.3	918
人文社会系研究科	3.9	9.1	11.7	75.3	77
教育学研究科	-	7.1	23.8	69.0	42
法学政治学研究科	3.1	15.5	21.6	59.8	97
経済学研究科	-	5.9	11.8	82.4	17
総合文化研究科	6.7	12.5	8.3	72.5	120
理学系研究科	4.2	12.5	17.3	66.1	168
工学系研究科	7.9	18.6	20.2	53.3	242
農学生命科学研究科	5.8	16.5	25.2	52.4	103
医学系研究科	2.5	6.6	13.2	77.7	121
薬学系研究科	2.6	15.4	33.3	48.7	39
数理科学研究科	-	6.7	13.3	80.0	15
新領域創成科学研究科	5.0	13.8	18.1	63.1	160
情報理工学系研究科	2.0	12.2	26.5	59.2	49
学際情報学府	4.8	14.3	14.3	66.7	21
公共政策学教育部	-	20.0	28.0	52.0	25

5-2-7 表 大学外の友人

区 分	良く相談する	ときどき相談する	たまに相談する	全く相談しない	事例数
全 体	% 13.4	% 29.4	% 33.8	% 23.4	人 1318
男	12.0	27.7	34.7	25.7	935
女	16.9	33.6	31.5	18.0	378
修士課程	15.1	30.3	31.2	23.4	680
博士課程	11.3	28.3	35.4	25.0	480
獣医学又は医学を履修する博士課程	2.7	24.3	48.6	24.3	37
専門職学位課程	14.8	29.6	39.1	16.5	115
未 婚	14.1	30.2	33.4	22.3	1132
既 婚	9.8	23.7	35.8	30.6	173
文科系	14.5	31.2	34.0	20.3	385
理科系	13.0	28.6	33.4	25.0	925
人文社会系研究科	6.4	38.5	32.1	23.1	78
教育学研究科	16.7	31.0	38.1	14.3	42
法学政治学研究科	14.4	24.7	44.3	16.5	97
経済学研究科	11.8	35.3	29.4	23.5	17
総合文化研究科	18.4	30.4	27.2	24.0	125
理学系研究科	12.8	25.6	37.2	24.4	172
工学系研究科	14.0	29.3	31.0	25.6	242
農学生命科学研究科	14.6	33.0	28.2	24.3	103
医学系研究科	8.3	33.9	33.9	24.0	121
薬学系研究科	2.6	30.8	28.2	38.5	39
数理科学研究科	-	33.3	26.7	40.0	15
新領域創成科学研究科	19.6	26.4	33.7	20.2	163
情報理工学系研究科	10.2	16.3	42.9	30.6	49
学際情報学府	4.8	33.3	42.9	19.0	21
公共政策学教育部	19.2	34.6	30.8	15.4	26

5-2-8 表 先輩

区 分	良く相談する	ときどき相談する	たまに相談する	全く相談しない	事例数
全 体	% 9.1	% 24.0	% 32.5	% 34.5	人 1312
男	8.0	22.8	32.7	36.5	929
女	11.6	26.7	32.3	29.4	378
修士課程	10.0	24.5	33.0	32.4	678
博士課程	9.0	23.9	31.7	35.3	476
獣医学又は医学を履修する博士課程	10.8	27.0	45.9	16.2	37
専門職学位課程	2.6	20.9	28.7	47.8	115
未 婚	9.7	24.4	32.3	33.6	1127
既 婚	5.2	20.3	33.7	40.7	172
文科系	9.1	23.7	29.4	37.8	384
理科系	9.0	24.0	33.7	33.3	920
人文社会系研究科	9.0	28.2	25.6	37.2	78
教育学研究科	14.3	35.7	33.3	16.7	42
法学政治学研究科	3.1	17.5	24.7	54.6	97
経済学研究科	11.8	35.3	23.5	29.4	17
総合文化研究科	12.1	19.4	34.7	33.9	124
理学系研究科	8.2	21.8	35.9	34.1	170
工学系研究科	6.2	22.8	38.6	32.4	241
農学生命科学研究科	13.7	27.5	28.4	30.4	102
医学系研究科	12.5	29.2	33.3	25.0	120
薬学系研究科	12.8	28.2	28.2	30.8	39
数理科学研究科	6.7	26.7	13.3	53.3	15
新領域創成科学研究科	9.8	24.5	30.1	35.6	163
情報理工学系研究科	6.1	14.3	28.6	51.0	49
学際情報学府	-	19.0	52.4	28.6	21
公共政策学教育部	7.7	26.9	30.8	34.6	26

5-2-9 表 恋人

区 分	良く相談する	ときどき相談する	たまに相談する	全く相談しない	事例数
全 体	% 18.7	% 15.6	% 16.5	% 49.2	人 1266
男	12.8	15.1	17.7	54.4	900
女	33.5	16.3	13.6	36.6	361
修士課程	17.5	16.8	14.6	51.1	656
博士課程	19.8	14.3	19.2	46.7	454
獣医学又は医学を履修する博士課程	24.3	8.1	10.8	56.8	37
専門職学位課程	17.7	16.8	18.6	46.9	113
未 婚	17.1	16.3	16.3	50.4	1094
既 婚	29.6	10.7	17.0	42.8	159
文科系	20.5	13.0	17.7	48.8	361
理科系	18.1	16.6	15.9	49.4	897
人文社会系研究科	20.3	7.2	20.3	52.2	69
教育学研究科	18.4	15.8	28.9	36.8	38
法学政治学研究科	17.7	16.7	15.6	50.0	96
経済学研究科	18.8	12.5	12.5	56.3	16
総合文化研究科	22.4	11.2	14.7	51.7	116
理学系研究科	12.2	11.0	11.6	65.2	164
工学系研究科	17.4	22.5	18.6	41.5	236
農学生命科学研究科	19.8	14.9	17.8	47.5	101
医学系研究科	28.4	12.9	13.8	44.8	116
薬学系研究科	18.4	15.8	13.2	52.6	38
数理科学研究科	13.3	-	-	86.7	15
新領域創成科学研究科	20.1	17.0	16.4	46.5	159
情報理工学系研究科	10.6	21.3	19.1	48.9	47
学際情報学府	9.5	23.8	28.6	38.1	21
公共政策学教育部	26.9	19.2	19.2	34.6	26

あなたは、最近 6 ヶ月の間に次の項目について、
体験したり悩んだりしましたか

5-3-1 表 強い不安に襲われた

区 分	良く体験した	時に体験した	あまり体験しな かった	全く体験しなかつ た	事例数
全 体	% 22.5	% 35.9	% 21.6	% 20.0	人 1322
男 子	19.9	34.4	23.0	22.7	941
女 子	28.7	39.6	18.6	13.0	376
修士課程	24.2	36.5	21.4	17.9	682
博士課程	20.1	36.2	21.7	21.9	483
獣医学又は医学を履修する博士課程	19.4	33.3	22.2	25.0	36
専門職学位課程	22.6	32.2	23.5	21.7	115
未 婚	23.5	36.2	22.0	18.3	1134
既 婚	16.5	33.0	19.9	30.7	176
文科系	26.2	34.4	22.6	16.7	389
理科系	20.6	36.5	21.3	21.6	926
人文社会系研究科	31.6	35.4	19.0	13.9	79
教育学研究科	20.9	30.2	30.2	18.6	43
法学政治学研究科	24.7	30.9	23.7	20.6	97
経済学研究科	29.4	41.2	23.5	5.9	17
総合文化研究科	26.8	37.8	18.1	17.3	127
理学系研究科	20.9	39.0	23.3	16.9	172
工学系研究科	17.2	32.8	22.5	27.5	244
農学生命科学研究科	22.5	39.2	16.7	21.6	102
医学系研究科	17.5	40.0	20.0	22.5	120
薬学系研究科	20.5	23.1	28.2	28.2	39
数理科学研究科	33.3	53.3	0.0	13.3	15
新領域創成科学研究科	24.4	39.6	20.1	15.9	164
情報理工学系研究科	24.5	24.5	26.5	24.5	49
学際情報学府	19.0	42.9	19.0	19.0	21
公共政策学教育部	19.2	30.8	38.5	11.5	26

5-3-2 表 自分でもバカらしいと思う考えが浮かんだり、自分のすることを
何度も確かめてみなければならなかった

区 分	良く体験した	時に体験した	あまり体験しな かった	全く体験しなかつ た	事例数
全 体	% 10.0	% 21.0	% 30.9	% 38.1	人 1320
男 子	9.2	19.8	32.2	38.8	941
女 子	12.0	24.1	27.8	36.1	374
修士課程	10.3	22.5	31.7	35.5	681
博士課程	9.5	19.3	30.9	40.2	482
獣医学又は医学を履修する博士課程	11.1	22.2	22.2	44.4	36
専門職学位課程	10.4	20.0	27.8	41.7	115
未 婚	10.2	20.9	31.8	37.0	1132
既 婚	8.5	20.5	25.0	46.0	176
文科系	12.9	18.5	32.4	36.2	389
理科系	8.8	22.0	30.3	39.0	924
人文社会系研究科	17.7	15.2	32.9	34.2	79
教育学研究科	7.0	20.9	32.6	39.5	43
法学政治学研究科	13.4	16.5	29.9	40.2	97
経済学研究科	11.8	35.3	29.4	23.5	17
総合文化研究科	13.4	18.1	34.6	33.9	127
理学系研究科	9.3	20.9	33.1	36.6	172
工学系研究科	5.3	23.0	29.9	41.8	244
農学生命科学研究科	9.9	25.7	27.7	36.6	101
医学系研究科	8.4	18.5	29.4	43.7	119
薬学系研究科	5.1	12.8	28.2	53.8	39
数理科学研究科	26.7	6.7	40.0	26.7	15
新領域創成科学研究科	9.1	29.3	28.0	33.5	164
情報理工学系研究科	12.2	10.2	34.7	42.9	49
学際情報学府	23.8	19.0	33.3	23.8	21
公共政策学教育部	3.8	23.1	30.8	42.3	26

5-3-3 表 人と話していても緊張したり、不安を感じた

区分	良く体験した	時に体験した	あまり体験しなかった	全く体験しなかった	事例数
全体	% 10.4	% 28.1	% 32.0	% 29.6	人 1322
男子	9.0	27.3	32.5	31.1	941
女子	13.8	30.3	30.6	25.3	376
修士課程	12.2	30.4	29.2	28.3	682
博士課程	8.9	25.7	34.8	30.6	483
獣医学又は医学を履修する博士課程	5.6	33.3	33.3	27.8	36
専門職学位課程	7.8	24.3	37.4	30.4	115
未婚	10.9	28.7	32.5	28.0	1134
既婚	6.8	23.9	29.5	39.8	176
文科系	12.3	25.7	33.4	28.5	389
理科系	9.4	29.2	31.4	30.0	926
人文社会系研究科	21.5	19.0	32.9	26.6	79
教育学研究科	9.3	23.3	41.9	25.6	43
法学政治学研究科	10.3	19.6	42.3	27.8	97
経済学研究科	0.0	47.1	35.3	17.6	17
総合文化研究科	11.8	29.9	26.0	32.3	127
理学系研究科	8.7	34.9	24.4	32.0	172
工学系研究科	7.0	28.7	29.5	34.8	244
農学生命科学研究科	12.7	27.5	33.3	26.5	102
医学系研究科	10.0	26.7	30.8	32.5	120
薬学系研究科	2.6	23.1	35.9	38.5	39
数理科学研究科	26.7	20.0	33.3	20.0	15
新領域創成科学研究科	12.2	29.3	37.2	21.3	164
情報理工学系研究科	8.2	24.5	36.7	30.6	49
学際情報学府	4.8	38.1	38.1	19.0	21
公共政策学教育部	7.7	38.5	23.1	30.8	26

5-3-4 表 他の人が自分に敵意を持っている、人から監視されていると感じた

区分	良く体験した	時に体験した	あまり体験しなかった	全く体験しなかった	事例数
全体	% 4.1	% 12.1	% 25.9	% 57.9	人 1321
男子	4.0	11.6	26.9	57.5	941
女子	4.3	13.6	23.7	58.4	375
修士課程	5.0	13.8	25.2	56.0	682
博士課程	3.5	11.8	26.8	57.9	482
獣医学又は医学を履修する博士課程	2.8	5.6	36.1	55.6	36
専門職学位課程	1.7	6.1	22.6	69.6	115
未婚	4.3	12.9	25.5	57.3	1134
既婚	2.9	8.0	26.9	62.3	175
文科系	3.9	10.6	24.7	60.8	388
理科系	4.1	12.7	26.3	56.8	926
人文社会系研究科	7.7	7.7	32.1	52.6	78
教育学研究科	0.0	18.6	25.6	55.8	43
法学政治学研究科	3.1	8.2	24.7	63.9	97
経済学研究科	0.0	17.6	17.6	64.7	17
総合文化研究科	3.9	11.8	22.8	61.4	127
理学系研究科	4.1	15.7	25.6	54.7	172
工学系研究科	0.8	8.2	28.7	62.3	244
農学生命科学研究科	10.8	7.8	25.5	55.9	102
医学系研究科	4.2	11.7	30.0	54.2	120
薬学系研究科	5.1	17.9	23.1	53.8	39
数理科学研究科	6.7	13.3	13.3	66.7	15
新領域創成科学研究科	5.5	15.9	22.6	56.1	164
情報理工学系研究科	2.0	18.4	30.6	49.0	49
学際情報学府	0.0	23.8	23.8	52.4	21
公共政策学教育部	3.8	3.8	15.4	76.9	26

5-3-5 表 バス・電車などの乗り物に乗るのが怖かった

区 分	良く体験した	時に体験した	あまり体験しな かった	全く体験しなかつ た	事例数
	%	%	%	%	人
全 体	1.4	3.9	10.5	84.2	1320
男 子	1.1	3.4	9.6	85.9	939
女 子	2.1	5.3	13.0	79.5	376
修士課程	1.6	4.3	9.8	84.3	681
博士課程	1.2	3.7	11.6	83.4	482
獣医学又は医学を履修する博士課程	0.0	0.0	5.6	94.4	36
専門職学位課程	0.9	4.3	12.2	82.6	115
未 婚	1.4	3.9	10.2	84.5	1132
既 婚	0.6	4.5	13.6	81.3	176
文科系	2.6	5.4	15.5	76.5	388
理科系	0.9	3.4	8.5	87.2	925
人文社会系研究科	5.1	8.9	17.7	68.4	79
教育学研究科	0.0	4.7	16.3	79.1	43
法学政治学研究科	1.0	4.1	14.4	80.4	97
経済学研究科	5.9	11.8	11.8	70.6	17
総合文化研究科	2.4	4.0	17.5	76.2	126
理学系研究科	0.6	4.7	7.6	87.2	172
工学系研究科	0.4	1.6	7.0	91.0	244
農学生命科学研究科	0.0	4.9	10.8	84.3	102
医学系研究科	1.7	2.5	8.3	87.5	120
薬学系研究科	2.6	2.6	2.6	92.3	39
数理科学研究科	0.0	0.0	13.3	86.7	15
新領域創成科学研究科	0.6	3.7	10.4	85.3	163
情報理工学系研究科	4.1	2.0	8.2	85.7	49
学際情報学府	0.0	14.3	19.0	66.7	21
公共政策学教育部	3.8	3.8	3.8	88.5	26

5-3-6 表 気分が落ち込んだり、何も興味が持てなくなった

区 分	良く体験した	時に体験した	あまり体験しな かった	全く体験しなかつ た	事例数
	%	%	%	%	人
全 体	12.6	26.8	27.6	32.9	1321
男 子	11.0	25.2	26.8	37.0	940
女 子	16.8	31.1	29.5	22.6	376
修士課程	13.2	28.5	28.9	29.4	681
博士課程	12.8	25.5	27.3	34.4	483
獣医学又は医学を履修する博士課程	8.3	22.2	27.8	41.7	36
専門職学位課程	9.6	25.2	20.0	45.2	115
未 婚	12.8	27.7	28.7	30.8	1133
既 婚	10.2	21.0	21.0	47.7	176
文科系	14.7	26.3	26.8	32.2	388
理科系	11.6	27.0	28.1	33.4	926
人文社会系研究科	17.7	29.1	25.3	27.8	79
教育学研究科	14.0	23.3	30.2	32.6	43
法学政治学研究科	11.3	23.7	27.8	37.1	97
経済学研究科	0.0	29.4	35.3	35.3	17
総合文化研究科	18.3	27.0	28.6	26.2	126
理学系研究科	11.0	26.7	29.1	33.1	172
工学系研究科	8.2	25.0	25.4	41.4	244
農学生命科学研究科	12.7	34.3	28.4	24.5	102
医学系研究科	12.5	27.5	26.7	33.3	120
薬学系研究科	7.7	17.9	30.8	43.6	39
数理科学研究科	13.3	40.0	26.7	20.0	15
新領域創成科学研究科	11.6	30.5	29.9	28.0	164
情報理工学系研究科	26.5	12.2	26.5	34.7	49
学際情報学府	14.3	28.6	42.9	14.3	21
公共政策学教育部	11.5	26.9	7.7	53.8	26

5-3-7 表 人と一緒にいても寂しい感じがした

区分	良く体験した	時に体験した	あまり体験しなかった	全く体験しなかった	事例数
全体	% 7.7	% 20.9	% 26.8	% 44.6	人 1321
男子	6.2	18.6	26.4	48.8	940
女子	11.7	26.6	28.2	33.5	376
修士課程	8.1	22.8	26.3	42.9	681
博士課程	6.6	18.8	27.3	47.2	483
獣医学又は医学を履修する博士課程	11.1	22.2	19.4	47.2	36
専門職学位課程	9.6	19.1	29.6	41.7	115
未婚	7.9	22.0	27.3	42.9	1133
既婚	6.8	14.2	22.7	56.3	176
文科系	10.1	22.7	28.1	39.2	388
理科系	6.8	20.1	26.3	46.8	926
人文社会系研究科	13.9	24.1	24.1	38.0	79
教育学研究科	4.7	32.6	25.6	37.2	43
法学政治学研究科	11.3	20.6	27.8	40.2	97
経済学研究科	11.8	11.8	23.5	52.9	17
総合文化研究科	8.7	22.2	31.0	38.1	126
理学系研究科	4.7	16.9	29.7	48.8	172
工学系研究科	3.3	18.9	24.2	53.7	244
農学生命科学研究科	9.8	26.5	25.5	38.2	102
医学系研究科	10.0	20.8	26.7	42.5	120
薬学系研究科	10.3	2.6	25.6	61.5	39
数理科学研究科	13.3	26.7	26.7	33.3	15
新領域創成科学研究科	7.9	20.7	29.9	41.5	164
情報理工学系研究科	10.2	24.5	16.3	49.0	49
学際情報学府	4.8	38.1	23.8	33.3	21
公共政策学教育部	7.7	19.2	34.6	38.5	26

5-3-8 表 体の病気でもないのに、息切れ・めまい・動悸などがした

区分	良く体験した	時に体験した	あまり体験しなかった	全く体験しなかった	事例数
全体	% 4.1	% 11.4	% 18.8	% 65.7	人 1321
男子	2.6	9.5	18.1	69.9	940
女子	8.0	16.2	20.7	55.1	376
修士課程	4.1	10.9	17.3	67.7	681
博士課程	3.7	12.4	19.5	64.4	483
獣医学又は医学を履修する博士課程	0.0	13.9	19.4	66.7	36
専門職学位課程	7.0	9.6	24.3	59.1	115
未婚	4.0	11.3	19.0	65.8	1133
既婚	5.1	10.8	18.2	65.9	176
文科系	6.2	12.6	19.1	62.1	388
理科系	3.1	10.8	18.6	67.5	926
人文社会系研究科	6.3	19.0	15.2	59.5	79
教育学研究科	0.0	14.0	16.3	69.8	43
法学政治学研究科	8.2	11.3	24.7	55.7	97
経済学研究科	0.0	11.8	29.4	58.8	17
総合文化研究科	7.9	9.5	16.7	65.9	126
理学系研究科	2.9	8.7	18.6	69.8	172
工学系研究科	1.2	7.0	14.3	77.5	244
農学生命科学研究科	7.8	13.7	22.5	55.9	102
医学系研究科	2.5	16.7	20.8	60.0	120
薬学系研究科	5.1	15.4	15.4	64.1	39
数理科学研究科	6.7	13.3	6.7	73.3	15
新領域創成科学研究科	2.4	10.4	24.4	62.8	164
情報理工学系研究科	2.0	14.3	10.2	73.5	49
学際情報学府	9.5	9.5	23.8	57.1	21
公共政策学教育部	3.8	11.5	19.2	65.4	26

5-3-9 表 イライラしたり、物を壊したり人を傷つけたりしたい衝動にかられた

区 分	良く体験した	時に体験した	あまり体験しな かった	全く体験しなかつ た	事例数
全 体	% 6.4	% 18.8	% 23.2	% 51.6	人 1321
男 子	5.3	17.3	23.1	54.3	940
女 子	9.0	22.6	23.7	44.7	376
修士課程	6.2	18.9	25.0	49.9	681
博士課程	6.6	19.0	20.5	53.8	483
獣医学又は医学を履修する博士課程	2.8	25.0	19.4	52.8	36
専門職学位課程	7.8	15.7	25.2	51.3	115
未 婚	6.7	18.7	23.7	50.9	1133
既 婚	4.0	17.6	21.6	56.8	176
文科系	8.0	21.1	23.7	47.2	388
理科系	5.7	17.8	22.9	53.6	926
人文社会系研究科	7.6	25.3	22.8	44.3	79
教育学研究科	9.3	23.3	30.2	37.2	43
法学政治学研究科	9.3	16.5	24.7	49.5	97
経済学研究科	5.9	23.5	23.5	47.1	17
総合文化研究科	6.3	23.8	20.6	49.2	126
理学系研究科	5.8	18.6	20.3	55.2	172
工学系研究科	2.0	12.7	20.1	65.2	244
農学生命科学研究科	8.8	25.5	22.5	43.1	102
医学系研究科	6.7	20.0	24.2	49.2	120
薬学系研究科	12.8	12.8	25.6	48.7	39
数理科学研究科	20.0	13.3	26.7	40.0	15
新領域創成科学研究科	5.5	21.3	24.4	48.8	164
情報理工学系研究科	4.1	12.2	32.7	51.0	49
学際情報学府	9.5	19.0	28.6	42.9	21
公共政策学教育部	11.5	7.7	26.9	53.8	26

5-3-10 表 やる気がなくなり、無気力状態（アパシー）になった

区 分	良く体験した	時に体験した	あまり体験しな かった	全く体験しなかつ た	事例数
全 体	% 11.4	% 27.1	% 26.8	% 34.7	人 1321
男 子	10.7	23.6	27.7	38.0	940
女 子	13.3	35.9	24.7	26.1	376
修士課程	11.9	27.5	28.0	32.6	681
博士課程	11.0	27.7	26.5	34.8	483
獣医学又は医学を履修する博士課程	8.3	36.1	16.7	38.9	36
専門職学位課程	12.2	19.1	25.2	43.5	115
未 婚	11.8	27.7	27.3	33.2	1133
既 婚	8.5	23.3	25.0	43.2	176
文科系	15.5	25.5	25.5	33.5	388
理科系	9.7	27.5	27.4	35.3	926
人文社会系研究科	19.0	32.9	21.5	26.6	79
教育学研究科	9.3	32.6	27.9	30.2	43
法学政治学研究科	12.4	20.6	26.8	40.2	97
経済学研究科	0.0	23.5	41.2	35.3	17
総合文化研究科	19.0	26.2	23.8	31.0	126
理学系研究科	8.1	30.2	26.7	34.9	172
工学系研究科	7.4	25.8	26.6	40.2	244
農学生命科学研究科	13.7	31.4	24.5	30.4	102
医学系研究科	11.7	31.7	21.7	35.0	120
薬学系研究科	2.6	17.9	35.9	43.6	39
数理科学研究科	20.0	26.7	26.7	26.7	15
新領域創成科学研究科	7.3	29.3	30.5	32.9	164
情報理工学系研究科	22.4	14.3	28.6	34.7	49
学際情報学府	14.3	19.0	47.6	19.0	21
公共政策学教育部	19.2	7.7	26.9	46.2	26

5-3-11 表 ついつい過食してしまう傾向があった

区 分	良く体験した	時に体験した	あまり体験しな かった	全く体験しなかつ た	事例数
	%	%	%	%	人
全 体	9.5	22.2	24.3	44.1	1321
男 子	7.9	19.9	23.6	48.6	940
女 子	13.6	27.7	26.1	32.7	376
修士課程	10.0	23.1	24.7	42.3	681
博士課程	8.3	21.3	24.4	46.0	483
獣医学又は医学を履修する博士課程	13.9	27.8	13.9	44.4	36
専門職学位課程	10.4	19.1	24.3	46.1	115
未 婚	9.4	23.1	24.4	43.1	1133
既 婚	8.5	16.5	24.4	50.6	176
文科系	11.1	18.8	27.1	43.0	388
理科系	8.9	23.2	23.3	44.6	926
人文社会系研究科	11.4	16.5	32.9	39.2	79
教育学研究科	11.6	27.9	23.3	37.2	43
法学政治学研究科	10.3	19.6	25.8	44.3	97
経済学研究科	5.9	23.5	35.3	35.3	17
総合文化研究科	11.9	16.7	26.2	45.2	126
理学系研究科	6.4	20.9	22.7	50.0	172
工学系研究科	4.9	20.5	24.6	50.0	244
農学生命科学研究科	13.7	33.3	18.6	34.3	102
医学系研究科	12.5	26.7	17.5	43.3	120
薬学系研究科	12.8	15.4	28.2	43.6	39
数理科学研究科	13.3	6.7	40.0	40.0	15
新領域創成科学研究科	7.3	26.2	25.0	41.5	164
情報理工学系研究科	16.3	16.3	24.5	42.9	49
学際情報学府	14.3	23.8	33.3	28.6	21
公共政策学教育部	11.5	15.4	19.2	53.8	26

5-3-12 表 食欲がなくなり、食べ物を口にしたくないと思った

区 分	良く体験した	時に体験した	あまり体験しな かった	全く体験しなかつ た	事例数
	%	%	%	%	人
全 体	3.0	13.4	23.0	60.6	1318
男 子	2.9	9.8	20.7	66.6	938
女 子	3.5	22.1	28.8	45.6	375
修士課程	3.5	14.0	24.0	58.5	680
博士課程	2.3	13.3	22.2	62.2	481
獣医学又は医学を履修する博士課程	5.6	5.6	22.2	66.7	36
専門職学位課程	2.6	12.2	20.9	64.3	115
未 婚	3.1	14.1	23.3	59.6	1131
既 婚	2.9	8.6	21.1	67.4	175
文科系	2.8	14.7	21.2	61.2	387
理科系	3.0	12.8	23.8	60.4	924
人文社会系研究科	1.3	16.5	21.5	60.8	79
教育学研究科	-	18.6	27.9	53.5	43
法学政治学研究科	1.0	13.4	19.6	66.0	97
経済学研究科	-	17.6	23.5	58.8	17
総合文化研究科	4.8	13.6	19.2	62.4	125
理学系研究科	1.8	12.4	24.1	61.8	170
工学系研究科	2.0	9.8	23.0	65.2	244
農学生命科学研究科	7.8	14.7	27.5	50.0	102
医学系研究科	4.2	12.5	20.0	63.3	120
薬学系研究科	5.1	12.8	17.9	64.1	39
数理科学研究科	-	-	33.3	66.7	15
新領域創成科学研究科	1.8	17.1	24.4	56.7	164
情報理工学系研究科	4.1	12.2	20.4	63.3	49
学際情報学府	-	19.0	42.9	38.1	21
公共政策学教育部	11.5	11.5	23.1	53.8	26

あなたの悩みや不安を解消するために、
大学にどのような対応があればよいと思いますか

5-4-1 表 学生が教員や職員と接触する機会を増やす

区 分	全くそう思う	まあそう思う	あまりそう思わ ない	全くそう思わない	事例数
全 体	% 8.0	% 36.4	% 35.3	% 20.3	人 1315
男 子	8.4	36.1	33.3	22.2	937
女 子	6.7	37.5	40.5	15.3	373
修士課程	8.6	35.0	35.9	20.5	677
博士課程	8.1	38.7	34.3	18.9	481
獣医学又は医学を履修する博士課程	0.0	38.9	27.8	33.3	36
専門職学位課程	7.0	33.9	39.1	20.0	115
未 婚	7.7	36.3	35.7	20.3	1129
既 婚	8.6	37.1	33.1	21.1	175
文科系	9.1	38.9	31.9	20.2	386
理科系	7.6	35.4	36.8	20.3	922
人文社会系研究科	7.6	35.4	32.9	24.1	79
教育学研究科	4.8	35.7	42.9	16.7	42
法学政治学研究科	6.2	33.0	37.1	23.7	97
経済学研究科	11.8	35.3	29.4	23.5	17
総合文化研究科	12.8	45.6	24.8	16.8	125
理学系研究科	9.3	37.8	37.2	15.7	172
工学系研究科	9.1	38.3	32.9	19.8	243
農学生命科学研究科	3.9	29.4	42.2	24.5	102
医学系研究科	5.0	40.3	30.3	24.4	119
薬学系研究科	13.2	31.6	39.5	15.8	38
数理科学研究科	13.3	53.3	26.7	6.7	15
新領域創成科学研究科	4.9	29.9	42.1	23.2	164
情報理工学系研究科	8.2	34.7	38.8	18.4	49
学際情報学府	15.0	20.0	45.0	20.0	20
公共政策学教育部	11.5	46.2	26.9	15.4	26

5-4-2 表 教務課や学生課などの事務機能を充実させる

区 分	全くそう思う	まあそう思う	あまりそう思わ ない	全くそう思わない	事例数
全 体	% 5.3	% 26.0	% 43.2	% 25.5	人 1316
男 子	5.3	24.1	42.8	27.8	938
女 子	5.1	30.8	44.5	19.6	373
修士課程	5.7	24.6	43.7	25.9	679
博士課程	4.2	24.8	45.0	26.0	480
獣医学又は医学を履修する博士課程	0.0	36.1	27.8	36.1	36
専門職学位課程	9.6	34.8	39.1	16.5	115
未 婚	5.4	25.6	43.7	25.3	1131
既 婚	4.6	27.6	42.5	25.3	174
文科系	7.3	33.0	37.4	22.3	385
理科系	4.5	22.9	45.6	26.9	924
人文社会系研究科	2.5	35.4	32.9	29.1	79
教育学研究科	7.1	23.8	42.9	26.2	42
法学政治学研究科	11.3	35.1	34.0	19.6	97
経済学研究科	5.9	29.4	41.2	23.5	17
総合文化研究科	8.1	31.5	41.9	18.5	124
理学系研究科	4.7	21.5	49.4	24.4	172
工学系研究科	2.9	22.6	43.2	31.3	243
農学生命科学研究科	3.9	17.6	50.0	28.4	102
医学系研究科	4.2	28.3	39.2	28.3	120
薬学系研究科	5.1	28.2	41.0	25.6	39
数理科学研究科	6.7	13.3	53.3	26.7	15
新領域創成科学研究科	4.9	23.8	47.0	24.4	164
情報理工学系研究科	8.2	20.4	44.9	26.5	49
学際情報学府	15.0	30.0	50.0	5.0	20
公共政策学教育部	3.8	42.3	30.8	23.1	26

5-4-3 表 クラス担任制度やチューター制度を充実させる

区 分	全くそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	事例数
全 体	% 4.6	% 21.7	% 43.5	% 30.3	人 1315
男 子	4.6	19.7	42.3	33.4	937
女 子	4.6	26.8	46.4	22.3	373
修士課程	4.4	20.2	43.8	31.6	678
博士課程	4.0	19.8	44.8	31.5	480
獣医学又は医学を履修する博士課程	0.0	27.8	36.1	36.1	36
専門職学位課程	9.6	35.7	39.1	15.7	115
未 婚	4.4	21.1	44.0	30.5	1130
既 婚	5.7	25.9	40.2	28.2	174
文科系	7.5	24.9	41.8	25.7	385
理科系	3.4	20.4	44.0	32.3	923
人文社会系研究科	7.6	17.7	36.7	38.0	79
教育学研究科	2.4	28.6	47.6	21.4	42
法学政治学研究科	9.3	30.9	40.2	19.6	97
経済学研究科	0.0	23.5	47.1	29.4	17
総合文化研究科	8.1	19.4	46.8	25.8	124
理学系研究科	3.5	19.2	46.5	30.8	172
工学系研究科	3.3	19.4	40.9	36.4	242
農学生命科学研究科	5.9	18.6	43.1	32.4	102
医学系研究科	1.7	25.8	43.3	29.2	120
薬学系研究科	0.0	20.5	43.6	35.9	39
数理科学研究科	0.0	26.7	40.0	33.3	15
新領域創成科学研究科	3.7	15.9	49.4	31.1	164
情報理工学系研究科	4.1	28.6	38.8	28.6	49
学際情報学府	5.0	30.0	40.0	25.0	20
公共政策学教育部	11.5	46.2	26.9	15.4	26

5-4-4 表 学習方法や学習内容について相談機能を充実させる

区 分	全くそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	事例数
全 体	% 9.7	% 33.8	% 33.2	% 23.3	人 1315
男 子	8.4	32.7	33.3	25.6	937
女 子	12.6	37.3	32.7	17.4	373
修士課程	9.6	35.5	31.8	23.1	679
博士課程	7.1	29.0	38.4	25.5	479
獣医学又は医学を履修する博士課程	5.6	38.9	25.0	30.6	36
専門職学位課程	21.7	41.7	23.5	13.0	115
未 婚	9.8	32.8	33.7	23.6	1130
既 婚	8.6	39.1	30.5	21.8	174
文科系	14.0	39.0	26.5	20.5	385
理科系	7.9	31.6	36.0	24.5	923
人文社会系研究科	7.6	38.0	20.3	34.2	79
教育学研究科	11.9	35.7	31.0	21.4	42
法学政治学研究科	20.6	42.3	21.6	15.5	97
経済学研究科	17.6	35.3	29.4	17.6	17
総合文化研究科	12.9	37.9	32.3	16.9	124
理学系研究科	7.0	29.8	38.6	24.6	171
工学系研究科	6.6	34.2	33.7	25.5	243
農学生命科学研究科	4.9	32.4	36.3	26.5	102
医学系研究科	7.5	35.0	34.2	23.3	120
薬学系研究科	5.1	33.3	30.8	30.8	39
数理科学研究科	6.7	46.7	26.7	20.0	15
新領域創成科学研究科	10.4	26.2	41.5	22.0	164
情報理工学系研究科	20.4	24.5	30.6	24.5	49
学際情報学府	5.0	40.0	35.0	20.0	20
公共政策学教育部	15.4	42.3	26.9	15.4	26

5-4-5 表 進学について相談機能を充実させる

区 分	全くそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	事例数
全 体	% 16.8	% 41.8	% 23.7	% 17.7	人 1314
男 子	15.4	40.4	24.7	19.5	937
女 子	20.4	45.2	21.2	13.2	372
修士課程	17.0	43.7	22.7	16.7	678
博士課程	16.1	38.6	25.5	19.8	479
獣医学又は医学を履修する博士課程	16.7	36.1	27.8	19.4	36
専門職学位課程	20.0	44.3	20.9	14.8	115
未 婚	17.3	42.1	23.6	17.0	1130
既 婚	11.6	39.9	24.9	23.7	173
文科系	18.5	39.9	24.3	17.2	383
理科系	16.1	42.6	23.3	18.0	924
人文社会系研究科	16.5	36.7	21.5	25.3	79
教育学研究科	16.7	31.0	38.1	14.3	42
法学政治学研究科	17.5	45.4	21.6	15.5	97
経済学研究科	17.6	47.1	23.5	11.8	17
総合文化研究科	20.5	38.5	26.2	14.8	122
理学系研究科	19.8	45.9	21.5	12.8	172
工学系研究科	12.3	42.4	23.9	21.4	243
農学生命科学研究科	16.7	41.2	21.6	20.6	102
医学系研究科	14.2	40.8	25.0	20.0	120
薬学系研究科	10.3	48.7	15.4	25.6	39
数理科学研究科	13.3	53.3	13.3	20.0	15
新領域創成科学研究科	21.3	44.5	22.0	12.2	164
情報理工学系研究科	16.3	30.6	32.7	20.4	49
学際情報学府	10.0	30.0	40.0	20.0	20
公共政策学教育部	23.1	46.2	11.5	19.2	26

5-4-6 表 就職指導や進路相談機能を充実させる

区 分	全くそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	事例数
全 体	% 25.2	% 42.7	% 19.2	% 12.9	人 1315
男 子	23.7	41.5	20.2	14.6	937
女 子	28.7	46.1	16.6	8.6	373
修士課程	25.2	43.4	18.3	13.1	679
博士課程	24.6	42.4	20.0	12.9	479
獣医学又は医学を履修する博士課程	16.7	41.7	25.0	16.7	36
専門職学位課程	31.3	39.1	19.1	10.4	115
未 婚	26.4	42.9	18.6	12.1	1131
既 婚	15.0	42.2	24.3	18.5	173
文科系	26.8	41.7	19.5	12.0	384
理科系	24.6	43.3	18.8	13.3	924
人文社会系研究科	24.1	39.2	20.3	16.5	79
教育学研究科	19.0	42.9	26.2	11.9	42
法学政治学研究科	29.9	40.2	18.6	11.3	97
経済学研究科	23.5	47.1	17.6	11.8	17
総合文化研究科	30.1	42.3	19.5	8.1	123
理学系研究科	28.5	44.2	16.9	10.5	172
工学系研究科	19.3	45.7	19.8	15.2	243
農学生命科学研究科	32.4	40.2	15.7	11.8	102
医学系研究科	15.8	40.8	27.5	15.8	120
薬学系研究科	25.6	41.0	17.9	15.4	39
数理科学研究科	26.7	46.7	13.3	13.3	15
新領域創成科学研究科	31.7	45.1	12.8	10.4	164
情報理工学系研究科	18.4	36.7	26.5	18.4	49
学際情報学府	20.0	40.0	25.0	15.0	20
公共政策学教育部	23.1	46.2	11.5	19.2	26

5-4-7 表 健康相談や保健センターの機能を充実させる

区 分	全くそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	事例数
全 体	% 14.5	% 40.9	% 28.7	% 15.9	人 1317
男 子	13.2	38.4	30.2	18.2	938
女 子	17.9	47.3	24.6	10.2	374
修士課程	13.3	40.8	30.2	15.8	679
博士課程	16.0	38.7	27.9	17.5	481
獣医学又は医学を履修する博士課程	13.9	36.1	30.6	19.4	36
専門職学位課程	16.5	51.3	22.6	9.6	115
未 婚	14.9	41.1	28.6	15.4	1131
既 婚	11.4	38.3	30.3	20.0	175
文科系	15.3	41.2	29.0	14.5	386
理科系	14.1	40.6	28.8	16.6	924
人文社会系研究科	11.4	29.1	35.4	24.1	79
教育学研究科	11.9	38.1	33.3	16.7	42
法学政治学研究科	18.6	50.5	20.6	10.3	97
経済学研究科	23.5	41.2	23.5	11.8	17
総合文化研究科	17.6	42.4	29.6	10.4	125
理学系研究科	15.7	37.2	28.5	18.6	172
工学系研究科	11.1	43.6	28.8	16.5	243
農学生命科学研究科	15.7	41.2	25.5	17.6	102
医学系研究科	15.8	38.3	29.2	16.7	120
薬学系研究科	10.3	51.3	23.1	15.4	39
数理科学研究科	6.7	33.3	40.0	20.0	15
新領域創成科学研究科	15.2	40.2	29.9	14.6	164
情報理工学系研究科	16.3	42.9	26.5	14.3	49
学際情報学府	15.0	25.0	45.0	15.0	20
公共政策学教育部	3.8	42.3	34.6	19.2	26

5-4-8 表 個人的な悩みの学生相談やカウンセリング機能を充実させる

区 分	全くそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	事例数
全 体	% 12.8	% 39.7	% 29.3	% 18.2	人 1309
男 子	12.1	36.9	30.2	20.8	933
女 子	14.8	46.9	27.0	11.3	371
修士課程	11.2	39.2	30.9	18.6	676
博士課程	14.7	38.6	28.1	18.7	477
獣医学又は医学を履修する博士課程	8.3	58.3	13.9	19.4	36
専門職学位課程	16.5	41.7	28.7	13.0	115
未 婚	13.3	38.7	30.1	17.9	1123
既 婚	9.7	44.6	25.7	20.0	175
文科系	14.3	36.2	32.0	17.4	384
理科系	12.2	41.3	28.1	18.4	918
人文社会系研究科	10.3	33.3	33.3	23.1	78
教育学研究科	19.0	33.3	23.8	23.8	42
法学政治学研究科	13.4	44.3	27.8	14.4	97
経済学研究科	29.4	23.5	29.4	17.6	17
総合文化研究科	12.9	34.7	37.9	14.5	124
理学系研究科	11.0	44.2	26.2	18.6	172
工学系研究科	10.0	36.3	32.9	20.8	240
農学生命科学研究科	15.7	38.2	31.4	14.7	102
医学系研究科	12.6	51.3	20.2	16.0	119
薬学系研究科	13.2	39.5	26.3	21.1	38
数理科学研究科	13.3	26.7	33.3	26.7	15
新領域創成科学研究科	12.9	43.6	26.4	17.2	163
情報理工学系研究科	16.3	42.9	20.4	20.4	49
学際情報学府	10.0	25.0	50.0	15.0	20
公共政策学教育部	19.2	34.6	30.8	15.4	26

5-4-9 表 奨学金の充実や、授業料免除など、経済的支援を強化する

区分	全くそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	事例数
全体	% 57.6	% 26.1	% 10.8	% 5.6	人 1315
男子	56.3	26.7	11.0	6.1	938
女子	61.0	24.7	10.2	4.0	372
修士課程	51.3	27.0	14.7	6.9	678
博士課程	67.5	23.5	5.6	3.3	480
獣医学又は医学を履修する博士課程	44.4	38.9	13.9	2.8	36
専門職学位課程	58.3	27.0	7.8	7.0	115
未婚	58.5	25.4	11.0	5.1	1130
既婚	50.0	31.0	10.3	8.6	174
文科系	68.8	21.1	6.3	3.9	384
理科系	53.0	28.0	12.8	6.2	924
人文社会系研究科	79.7	16.5	2.5	1.3	79
教育学研究科	73.2	19.5	4.9	2.4	41
法学政治学研究科	63.9	21.6	8.2	6.2	97
経済学研究科	58.8	29.4	5.9	5.9	17
総合文化研究科	69.4	20.2	8.1	2.4	124
理学系研究科	60.5	25.6	10.5	3.5	172
工学系研究科	40.3	32.5	18.5	8.6	243
農学生命科学研究科	55.9	23.5	11.8	8.8	102
医学系研究科	62.5	27.5	7.5	2.5	120
薬学系研究科	53.8	28.2	15.4	2.6	39
数理科学研究科	66.7	33.3	0.0	0.0	15
新領域創成科学研究科	57.9	25.0	9.8	7.3	164
情報理工学系研究科	40.8	30.6	18.4	10.2	49
学際情報学府	50.0	35.0	15.0	0.0	20
公共政策学教育部	50.0	34.6	3.8	11.5	26

5-4-10 表 学生同士が支え合うネットワークづくりを強化する

区分	全くそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	事例数
全体	% 17.6	% 37.7	% 29.0	% 15.7	人 1314
男子	18.5	38.3	26.7	16.5	937
女子	15.6	36.8	34.4	13.2	372
修士課程	20.5	36.9	28.0	14.6	678
博士課程	15.7	36.1	30.9	17.3	479
獣医学又は医学を履修する博士課程	11.1	61.1	16.7	11.1	36
専門職学位課程	11.3	40.9	31.3	16.5	115
未婚	18.6	37.1	29.4	14.9	1129
既婚	11.5	41.4	27.0	20.1	174
文科系	17.4	38.3	28.6	15.6	384
理科系	17.6	37.6	29.1	15.7	923
人文社会系研究科	16.5	34.2	21.5	27.8	79
教育学研究科	9.8	39.0	41.5	9.8	41
法学政治学研究科	9.3	38.1	35.1	17.5	97
経済学研究科	17.6	35.3	23.5	23.5	17
総合文化研究科	25.8	40.3	25.8	8.1	124
理学系研究科	18.0	37.2	30.2	14.5	172
工学系研究科	15.6	39.9	27.2	17.3	243
農学生命科学研究科	13.7	33.3	33.3	19.6	102
医学系研究科	13.4	46.2	27.7	12.6	119
薬学系研究科	15.4	33.3	30.8	20.5	39
数理科学研究科	20.0	46.7	20.0	13.3	15
新領域創成科学研究科	25.0	32.9	28.7	13.4	164
情報理工学系研究科	20.4	32.7	32.7	14.3	49
学際情報学府	15.0	35.0	30.0	20.0	20
公共政策学教育部	23.1	42.3	23.1	11.5	26

設問 44

6-1 表 現在、大学では大学の社会的貢献を促進し、また、国際化を推進しようとしています。これらに関連してそれぞれの事項はどの程度重要だと思いますか。

6-1-1 表 社会的貢献を促進するために、授業の外部開放を進める

区分	非常に重要	かなり重要	重要	あまり重要でない	ほとんど重要でない	事例数
2004年(54回)	% (8.6)	% (15.3)	% (34.9)	% (31.0)	% (10.2)	人 (1031)
全体	8.9	14.1	33.7	32.8	10.4	1322
男子	9.7	13.1	32.6	33.5	11.2	941
女子	6.9	17.0	36.4	31.1	8.5	376
修士課程	9.1	14.8	36.1	31.9	8.1	681
博士課程	9.3	13.2	30.6	32.9	14.0	484
獣医学又は医学を履修する博士課程	11.1	8.3	41.7	27.8	11.1	36
専門職学位課程	6.1	15.7	31.3	38.3	8.7	115

6-1-2 表 社会的貢献を促進するために、産学協同をより推進する

区分	非常に重要	かなり重要	重要	あまり重要でない	ほとんど重要でない	事例数
2004年(54回)	% (22.1)	% (27.9)	% (34.4)	% (11.5)	% (4.1)	人 (1031)
全体	18.1	24.2	37.8	14.6	5.2	1320
男子	19.5	24.1	35.7	14.3	6.4	940
女子	14.4	24.5	43.5	15.2	2.4	375
修士課程	20.3	26.9	36.6	12.1	4.1	680
博士課程	15.5	20.9	39.1	17.2	7.2	483
獣医学又は医学を履修する博士課程	19.4	25.0	47.2	5.6	2.8	36
専門職学位課程	16.5	22.6	36.5	20.0	4.3	115

6-1-3 表 社会的貢献を促進するために、直接的に社会的要請の高い研究を推進する

区分	非常に重要	かなり重要	重要	あまり重要でない	ほとんど重要でない	事例数
2004年(54回)	% (12.4)	% (17.7)	% (32.7)	% (25.6)	% (11.7)	人 (1031)
全体	10.3	15.7	30.9	30.2	12.9	1323
男子	10.4	15.5	30.0	30.7	13.4	942
女子	9.6	16.2	33.5	29.3	11.4	376
修士課程	11.0	17.3	31.8	28.9	11.0	682
博士課程	8.9	11.8	27.7	33.5	18.2	484
獣医学又は医学を履修する博士課程	13.9	22.2	33.3	25.0	5.6	36
専門職学位課程	11.3	20.9	37.4	25.2	5.2	115

6-1-4 表 社会的貢献を促進するために、基礎研究を充実させる

区分	非常に重要	かなり重要	重要	あまり重要でない	ほとんど重要でない	事例数
2004年(54回)	% (32.9)	% (27.5)	% (32.8)	% (6.2)	% (0.6)	人 (1031)
全体	31.1	26.2	32.7	7.8	2.3	1322
男子	31.8	26.4	30.9	8.2	2.7	942
女子	29.3	25.6	37.6	6.4	1.1	375
修士課程	28.6	24.7	34.9	9.1	2.6	681
博士課程	37.0	26.7	28.9	5.4	2.1	484
獣医学又は医学を履修する博士課程	41.7	25.0	27.8	5.6	0.0	36
専門職学位課程	19.1	33.9	36.5	8.7	1.7	115

6-1-5 表 研究の国際化を推進するために、研究者の交流をより積極的に進める

区 分	非常に重要	かなり重要	重要	あまり重要でない	ほとんど重要でない	事例数
2004年(54回)	% (42.4)	% (32.8)	% (20.7)	% (3.4)	% (0.8)	人 (1031)
全 体	38.6	31.7	24.9	3.5	1.4	1322
男 子	37.8	30.9	25.9	3.6	1.7	941
女 子	40.7	33.5	22.3	3.2	0.3	376
修士課程	37.3	33.9	23.6	3.8	1.3	681
博士課程	42.1	30.2	23.3	2.9	1.4	484
獣医学又は医学を履修する博士課程	47.2	25.0	27.8	0.0	0.0	36
専門職学位課程	28.7	27.0	38.3	4.3	1.7	115

6-1-6 表 研究の国際化を推進するために、国際共同研究をより推奨する

区 分	非常に重要	かなり重要	重要	あまり重要でない	ほとんど重要でない	事例数
2004年(54回)	% (32.9)	% (30.3)	% (29.5)	% (6.2)	% (1.2)	人 (1031)
全 体	30.9	31.8	28.4	7.0	1.8	1322
男 子	30.2	31.0	29.0	7.5	2.2	941
女 子	33.2	33.8	26.6	5.9	0.5	376
修士課程	29.8	33.5	28.2	6.9	1.6	681
博士課程	34.1	29.8	27.5	6.2	2.5	484
獣医学又は医学を履修する博士課程	33.3	30.6	30.6	5.6	0.0	36
専門職学位課程	24.3	31.3	33.0	10.4	0.9	115

6-1-7 表 教育の国際化を推進するため、日本から外国へ留学する機会をもっと拡大する

区 分	非常に重要	かなり重要	重要	あまり重要でない	ほとんど重要でない	事例数
2004年(54回)	% (37.6)	% (28.3)	% (26.6)	% (6.2)	% (1.4)	人 (1031)
全 体	34.9	29.3	26.7	7.0	2.1	1323
男 子	34.0	29.4	26.5	7.5	2.5	942
女 子	37.8	29.0	27.1	5.3	0.8	376
修士課程	35.8	27.7	26.7	7.9	1.9	682
博士課程	35.7	31.4	25.6	5.0	2.3	484
獣医学又は医学を履修する博士課程	38.9	25.0	30.6	5.6	0.0	36
専門職学位課程	26.1	31.3	30.4	8.7	3.5	115

6-1-8 表 教育の国際化を推進するため、外国からの留学生をより一層受け入れる

区 分	非常に重要	かなり重要	重要	あまり重要でない	ほとんど重要でない	事例数
2004年(54回)	% (24.9)	% (24.0)	% (36.3)	% (11.2)	% (3.8)	人 (1031)
全 体	21.2	22.7	32.8	17.5	5.8	1323
男 子	22.0	21.3	31.2	18.9	6.6	942
女 子	19.4	26.3	36.7	14.4	3.2	376
修士課程	24.2	21.7	31.4	17.3	5.4	682
博士課程	18.0	22.9	33.5	18.6	7.0	484
獣医学又は医学を履修する博士課程	16.7	25.0	47.2	11.1	0.0	36
専門職学位課程	19.1	27.8	32.2	15.7	5.2	115

設問 45

6-2 表 大学への要望や期待

(3つまで)

区分	カリキュラムの改革	教室・研究室の充実	実験室や実習室の充実	教養プログラムの充実	学生生活関連施設の充実	小人数授業の実施	授業の方法の工夫改善	単位認定や学生記録を厳しく	キャンパスの拡張・移転・統合	図書館の充実	カウンセリング・サビスの充実	学生自治に対する適切な助言	学生自治の尊重	奨学金・奨励金・奨学金以外の出費や増額	留学・国際交流への支援	オーバーワークや学業問題への対応	ハラスメントへの対応	その他	事例数
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	人
2004年(54回)全体	11.7	8.8	14.5	26.4	10.3	6.2	17.9	3.3	2.5	22.5	4.3	0.5	1.6	18.5	39.1	4.9	5.2	4.4	1031
男子	12.0	8.9	14.5	27.3	10.7	5.7	16.2	4.2	3.1	22.5	3.0	0.8	1.3	17.5	46.6	3.7	5.2	6.3	948
女子	11.1	8.9	14.5	25.5	9.5	6.8	18.2	3.7	1.3	20.0	3.2	0.8	0.5	22.6	48.7	8.9	8.9	8.4	380
本郷	13.7	9.2	14.5	29.9	9.1	6.8	14.4	6.1	2.3	15.0	2.9	1.0	0.7	23.0	44.1	4.4	4.4	7.5	826
駒場 I	7.8	2.8	11.1	12.1	5.7	2.1	8.5	0.7	0.7	31.9	0.7	0.0	2.1	23.4	56.0	5.7	5.7	7.1	141
駒場 II	10.5	15.8	10.5	26.3	10.5	6.6	18.4	1.3	2.6	13.2	1.3	0.0	1.3	25.0	23.7	2.6	2.6	5.3	76
相模	8.8	17.5	10.0	13.8	18.8	6.6	16.9	1.3	4.4	18.8	6.9	1.9	2.5	38.1	46.3	8.8	8.8	4.4	160
その他	6.8	17.1	11.1	17.1	11.1	4.3	12.0	1.7	1.7	10.3	1.7	0.9	3.4	45.3	62.4	7.7	7.7	6.0	117
修士課程	12.4	24.3	9.9	16.7	11.7	5.7	17.7	4.2	3.5	16.1	3.5	1.3	2.0	23.8	38.9	4.8	4.8	7.2	684
博士課程	7.1	26.1	7.6	17.6	8.0	2.7	6.5	1.2	5.3	16.1	2.9	0.4	0.8	54.5	67.8	6.3	6.3	6.5	490
獣医学又は医学を履修する博士課程	5.3	26.3	13.2	26.3	5.3	5.3	13.2	0.0	0.0	2.6	2.6	0.0	0.0	31.6	47.4	7.9	13.2	38	
専門職学位課程	28.7	42.6	7.0	8.7	19.9	15.7	26.1	18.3	3.5	27.0	0.9	0.9	0.0	51.3	11.3	1.7	5.2	115	
人文社会科学系研究科	3.8	35.4	1.3	12.7	2.5	1.3	10.1	2.5	1.3	26.6	0.0	0.0	1.3	21.5	68.4	6.3	6.3	7.6	79
教育学研究科	9.3	30.2	11.6	27.9	7.0	4.7	14.0	4.7	2.3	9.3	0.0	0.0	0.0	60.5	7.0	2.3	11.6	43	
法学政治学研究科	29.6	39.8	6.1	6.1	12.2	15.3	27.6	18.4	1.0	26.5	0.0	0.0	0.0	58.2	20.4	5.1	16.3	98	
経済学研究科	11.8	23.5	5.9	23.5	5.9	5.9	11.8	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	70.6	29.4	4.1	5.9	17	
総合文化研究科	8.5	32.3	2.3	11.5	4.6	3.1	8.5	0.8	0.8	36.2	2.3	0.0	1.5	56.2	24.6	4.6	6.9	130	
理学系研究科	9.9	16.3	8.1	14.0	8.7	3.5	14.5	4.7	7.0	9.3	3.5	0.6	2.9	51.2	64.0	5.8	4.1	172	
工学系研究科	15.2	24.2	13.1	18.9	13.1	7.4	19.7	4.9	2.9	13.9	2.5	0.8	0.8	39.2	37.7	2.5	9.0	244	
農学生命科学研究科	4.8	26.9	13.5	19.2	12.9	3.8	9.6	1.0	3.8	9.6	2.9	1.0	1.9	34.6	59.6	10.6	8.7	104	
医学系研究科	10.6	30.1	8.9	31.7	7.3	4.1	7.3	0.8	2.4	8.9	2.4	0.8	0.8	49.6	31.7	10.6	10.6	123	
薬学系研究科	12.8	28.2	12.8	12.8	7.7	5.1	12.8	0.0	7.7	5.1	5.1	0.0	0.0	61.5	15.4	5.1	7.7	39	
数理学系研究科	0.0	18.8	0.0	12.5	12.5	0.0	6.3	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0	6.3	31.3	81.3	6.3	0.0	16	
新領域創成科学研究科	7.3	17.7	11.6	14.0	19.5	1.2	14.0	1.8	4.3	17.1	6.1	1.8	2.4	50.0	47.0	9.1	6.1	164	
情報理工学系研究科	8.2	24.5	6.1	20.4	6.1	8.2	14.3	6.1	2.0	16.3	8.2	4.1	0.0	34.7	46.9	2.0	4.1	49	
情報学部	23.8	33.3	4.8	4.8	0.0	14.3	14.3	4.8	0.0	14.3	4.8	9.5	4.8	38.1	38.1	0.0	4.8	21	
学際情報学部	30.8	46.2	3.8	11.5	11.5	19.2	11.5	15.4	15.4	34.6	3.8	0.0	0.0	7.7	19.2	0.0	7.7	26	
公共政策学教育部																			

設問 2

7-1 表 年齢構成分布

区分	22-23歳	24-27歳	26-27歳	28-29歳	30-31歳	32-33歳	34-35歳	36-37歳	38歳以上	事例数
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	
2004年(54回)	(19.7)	(36.5)	(20.8)	(8.2)	(5.2)	(3.2)	(1.6)	(1.0)	(3.8)	(1031)
全体	21-23歳	24-26歳	27-29歳	30-32歳	33-35歳	36歳以上	事例数			
男子	19.9	43.4	15.6	9.1	3.8	8.2	1332			
女子	20.9	45.1	15.6	7.8	2.7	7.8	948			
文科系	17.6	39.5	15.8	11.8	6.6	8.7	380			
理科系	16.3	37.2	16.8	13.7	6.1	9.9	393			
修士課程	21.4	46.0	15.1	7.2	2.8	7.5	932			
博士課程	35.1	54.1	4.1	1.2	1.3	4.2	684			
獣医学又は医学を履修する博士課程	-	31.4	31.8	17.8	6.5	12.4	490			
専門職学位課程	-	23.7	26.3	28.9	10.5	10.5	38			
専攻学系	20.9	37.4	10.4	13.0	5.2	13.0	115			

7-2表 課程

区分	修士課程		博士課程		獣医学又は医学を履修する博士課程		専門職学位課程		合計
	度数	行	度数	行	度数	行	度数	行	
2004年(54回)	(529)	(51.3)	(404)	(39.2)	(46)	(4.5)	(52)	(5.0)	(1031)
男子	503	53.3	338	35.8	29	3.1	74	7.8	944
女子	180	47.5	149	39.3	9	2.4	41	10.8	379
合計	684	51.5	490	36.9	38	2.9	115	8.7	1327

7-3表 学年

区分	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計
	度数	行	度数	行	度数	行	度数	行	度数	行	度数	行	
2004年(54回)	(434)	(42.1)	(407)	(39.5)	(136)	(13.2)	(40)	(3.9)	(12)	(1.2)	(1)	(0.1)	(1031)
男子	328	35.2	406	43.6	133	14.3	46	4.9	14	1.5	5	0.5	932
女子	143	38.2	149	39.8	49	13.1	18	4.8	12	3.2	3	0.8	374
修士課程	215	43.2	265	53.2	18	3.6	-	-	-	-	-	-	498
博士課程	85	25.5	104	31.2	86	25.8	41	12.3	12	3.6	5	1.5	333
獣医学又は医学を履修する博士課程	6	20.7	7	24.1	11	37.9	3	10.3	2	6.9	-	-	29
専門職学位課程	22	30.6	30	41.7	18	25.0	2	2.8	-	-	-	-	72
修士課程	81	45.5	88	49.4	9	5.1	-	-	-	-	-	-	178
博士課程	48	32.9	39	26.7	31	21.2	13	8.9	12	8.2	3	2.1	146
獣医学又は医学を履修する博士課程	4	44.4	2	22.2	1	11.1	2	22.2	-	-	-	-	9
専門職学位課程	10	24.4	20	48.8	8	19.5	3	7.3	-	-	-	-	41
合計	471	36.0	555	42.4	183	14.0	64	4.9	28	2.1	9	0.7	1310

設問 4

7-4 表 大学院入学前の出身大学等について

区 分	本学の学部学生	他大学の学部学生	本学の他研究科の大学院生	他大学の大学院生	社会人	その他	事例数
2004年(54回)	% (52.9)	% (36.8)	% (0.9)	% (2.1)	% (6.4)	% (1.0)	人 (581)
全 体	42.6	47.1	0.6	2.4	7.3	0.1	799
男 子	45.8	45.8	0.7	1.9	5.9	-	577
女 子	34.4	50.7	0.5	3.6	10.4	0.5	221
未 婚	44.5	48.3	0.7	1.8	4.6	0.1	741
既 婚	13.5	30.8	-	11.5	44.2	-	52
文科系	33.9	46.9	1.2	4.9	12.7	0.4	245
理科系	46.4	47.2	0.4	1.3	4.7	-	549

修士課程及び専門職学位課程の方のみ

設問 5

7-5 表 社会人経験を経て入学

区 分	いいえ	社会人経験はあるが、現在は学業に専念している	現在は社会生活と学業を両立させている	事例数
2004年(54回)	% (89.1)	% (8.5)	% (2.4)	人 (581)
全 体	87.2	8.8	4.0	798
男 子	90.3	5.6	4.2	576
女 子	79.6	17.2	3.2	221
未 婚	91.9	6.2	1.9	740
既 婚	21.2	44.2	34.6	52
文科系	77.1	15.9	6.9	245
理科系	91.8	5.5	2.7	548

修士課程及び専門職学位課程の方のみ

設問 7

7-6 表 大学院入学前の出身大学等について

区 分	本学の大学院生	本学の他研究科の大学院生	他大学の大学院生	社会人	その他	事例数
2004年(54回)	% (69.0)	% (4.0)	% (12.4)	% (11.8)	% (2.7)	人 (450)
全 体	68.8	3.7	14.5	12.4	0.6	484
男 子	69.5	2.7	14.4	13.2	0.3	334
女 子	68.0	6.1	14.3	10.2	1.4	147
未 婚	75.5	3.3	15.4	5.2	0.6	363
既 婚	48.2	3.6	11.8	35.5	0.9	110
文科系	77.9	3.4	14.5	3.4	0.7	145
理科系	65.1	3.8	14.2	16.3	0.6	338

博士課程の方のみ

設問 8

7-7 表 社会人経験を経て入学

区 分	いいえ	社会人経験はあるが、現在は学業に専念している	現在は社会生活と学業を両立させている	事例数
2004年(54回)	% (75.7)	% (14.9)	% (9.4)	人 (450)
全 体	70.8	12.7	16.4	487
男 子	73.5	8.9	17.6	336
女 子	65.5	21.6	12.8	148
未 婚	82.5	10.4	7.1	366
既 婚	33.6	18.2	48.2	110
文科系	78.8	14.4	6.8	146
理科系	67.4	12.1	20.6	340

博士課程の方のみ

設問 11

7-8 表 現在主に研究に従事している場所

区 分	所属する研究科	それ以外の学内の研究科、学内の研究所	学外の研究機関	事例数
2004年(54回)	% (84.4)	% (11.2)	% (4.5)	人 (1031)
全 体	81.9	11.4	6.7	1321
男 子	81.2	12.2	6.6	940
女 子	83.6	9.3	7.2	377
文科系	95.6	1.5	2.8	388
理科系	76.2	15.5	8.4	931

博士課程の方のみ

設問 12

7-9 表 主に通っているキャンパス

区 分	本郷	駒場 I	駒場 II	柏	その他	事例数
2004年(54回)	% (68.1)	% (11.5)	% (6.6)	% (7.3)	% (6.5)	人 (1031)
全 体	62.6	10.7	5.8	12.1	8.9	1320
男 子	60.8	10.1	7.1	14.4	7.6	939
女 子	66.6	12.2	2.4	6.6	12.2	377
文科系	69.2	30.0	0.5	-	0.3	390
理科系	59.7	2.6	8.0	17.2	12.5	928

設問 46

8-1 表 実家の所在地

区分	東京都	関東地方(東京都を除く)	北海道	東北地方	中部地方	近畿地方	中国地方	四国地方	九州・沖縄地方	日本国外	事例数
2004年(54回)	(25.6) %	(34.4) %	(1.8) %	(3.7) %	(13.4) %	(7.6) %	(4.9) %	(2.3) %	(5.7) %	(0.4) %	(1031) 人
全体	25.3	34.2	1.5	3.6	12.5	10.4	4.6	2.4	5.3	0.3	1312
男子	22.8	34.7	1.2	3.8	13.4	11.2	4.5	2.6	5.5	0.2	937
女子	31.6	32.7	2.4	3.0	10.3	8.1	4.9	1.9	4.6	0.5	370
修士課程	25.9	34.5	1.2	3.8	12.3	10.8	4.4	2.2	4.6	0.3	676
博士課程	25.5	33.7	1.5	3.8	12.8	9.2	5.0	2.1	6.1	0.4	478
獣医学又は医学を履修する博士課程	27.0	24.3	0.0	0.0	16.2	10.8	5.4	8.1	8.1	0.0	37
専門職学位課程	20.9	38.3	4.3	2.6	12.2	11.3	3.5	2.6	4.3	0.0	115

設問 47

8-2 表 未婚者・既婚者

区分	未婚	既婚	事例数
2004年(54回)	(85.5) %	(14.5) %	(1,031) 人
全体	86.5	13.5	1315
男子	88.0	12.0	938
女子	83.1	16.9	372
修士課程	94.8	5.2	678
博士課程	77.0	23.0	479
獣医学又は医学を履修する博士課程	59.5	40.5	37
専門職学位課程	85.2	14.8	115

8-3-2 表 子供数(既婚者のみ、無回答を除く)

区分	0人	1人	2人	3人以上	事例数
2004年(54回)	(63.5) %	(22.3) %	(11.4) %	(2.7) %	(150) 人
全体	48.6	31.1	14.7	5.6	177
男子	45.1	29.2	18.6	7.1	113
女子	54.0	34.9	7.9	3.2	63

設問 48

8-3-1 表 子供数(全体)

区分	0人	1人	2人	3人以上	非該当・無回答	事例数
全体	86 度	55 度	26 度	10 度	1158 度	1335 事例数
割合	6.4	4.1	1.9	0.7	86.7	100
男子	51 度	33 度	21 度	8 度	835 度	948 事例数
割合	5.4	3.5	2.2	0.8	88.1	100
女子	34 度	22 度	5 度	2 度	317 度	380 事例数
割合	8.9	5.8	1.3	0.5	83.4	100

設問 49

8-4 表 保育所に預けていますか

区分	いる	いない	事例数
2004年(54回)	(35.9) %	(64.2) %	(54) 人
全体	33.3	66.7	90
男子	16.1	83.9	62
女子	71.4	28.6	28

設問 50

8-5-1 表 子供の世話「主として世話をする者」

区 分	自分	配偶者	自分又は配偶者の親	その他の親族	知人	その他	事例数
2004年(54回)	% (18.1)	% (69.6)	% (3.0)	% -	% -	% (9.1)	人 (34)
全 体	34.7	63.2	2.1	-	-	-	95
男 子	10.9	87.5	1.6	-	-	-	64
女 子	83.9	12.9	3.2	-	-	-	31

8-5-2 表 子供の世話「従として世話をする者」

区 分	自分	配偶者	自分又は配偶者の親	その他の親族	知人	その他	事例数
2004年(54回)	% (47.0)	% (17.6)	% (23.6)	% -	% -	% (11.8)	人 (34)
全 体	50.8	23.7	16.9	-	1.7	6.8	59
男 子	74.4	2.6	15.4	-	2.6	5.1	39
女 子	5.0	65.0	20.0	-	-	10.0	20

設問 51

8-6 表 家族数

区 分	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人以上	事例数
2004年(54回)	% (15.4)	% (7.5)	% (21.8)	% (33.6)	% (16.4)	% (3.8)	% (1.4)	% (0.2)	% -	人 (1031)
全 体	18.1	9.0	24.6	29.6	13.8	3.7	1.0	0.2	0.1	1308
未 婚	20.5	3.8	23.4	31.7	15.0	4.2	1.1	0.2	-	934
既 婚	2.8	42.4	32.2	16.4	5.6	-	-	-	0.6	370
未 婚	男 子	21.4	3.2	22.5	31.1	15.8	4.8	1.0	0.2	821
	女 子	17.9	5.5	25.7	33.6	12.7	2.9	1.6	-	307
既 婚	男 子	0.9	39.8	31.0	20.4	7.1	-	-	0.9	113
	女 子	6.3	46.0	34.9	9.5	3.2	-	-	-	63

設問 52

8-7 表 主たる家計支持者

(複数回答)

区 分	父	母	本人	配偶者	その他	事例数	
2004年(54回)	% (66.2)	% (5.2)	% (22.6)	% (4.3)	% (1.7)	人 (1031)	
全 体	62.8	21.5	31.2	6.2	3.4	1335	
未 婚	72.9	25.0	26.3	-	3.8	1138	
既 婚	4.5	1.1	66.1	46.9	1.7	177	
未 婚	男 子	73.3	24.7	26.5	-	3.4	825
	女 子	72.2	26.2	25.2	-	4.9	309
	修士課程	85.1	28.9	12.0	-	4.0	643
	博士課程	54.7	19.5	50.7	-	2.7	369
既 婚	獣医学又は医学を履修する博士課程	50.0	4.5	63.6	-	0.0	22
	専門職学位課程	67.3	26.5	19.4	-	7.1	98
	男 子	4.4	0.9	87.6	27.4	0.9	113
	女 子	4.8	1.6	27.0	81.0	3.2	63
	修士課程	14.3	2.9	51.4	42.9	-	35
	博士課程	1.8	-	70.0	46.4	0.9	110
獣医学又は医学を履修する博士課程	6.7	6.7	93.3	40.0	-	15	
専門職学位課程	-	-	47.1	64.7	11.8	17	

8-8-1 表 父の職業

区分	専門的、技術的職業	教育的職業	管理的職業	事務	販売	農・林・漁業	生産工程・採掘作業	運輸・通信・保安・サービス	無職	その他	事例数
	% (28.8)	% (13.1)	% (23.0)	% (7.3)	% (5.5)	% (1.2)	% (2.7)	% (11.4)	% (3.1)	% (3.8)	人 (1031)
2004年(54回)全体	16.2	8.3	15.1	2.9	1.9	0.9	1.1	5.5	4.7	1.8	1335
未婚	17.0	9.2	16.1	3.3	2.0	1.0	1.2	6.4	4.7	1.9	1138
既婚	13.0	3.4	10.7	0.6	1.7	0.6	0.6	0.6	5.1	1.1	177
男子	17.5	8.2	17.1	3.9	1.8	0.8	1.5	7.6	4.0	1.8	825
女子	15.2	12.0	13.6	1.9	2.6	1.3	0.6	3.2	6.8	2.3	309
修士課程	18.0	8.1	17.6	3.0	2.0	1.1	0.6	7.2	3.1	1.6	643
博士課程	16.3	11.7	13.3	3.0	2.7	1.1	1.9	5.7	6.2	2.4	369
獣医学又は医学を履修する博士課程	18.2	9.1	9.1	9.1	-	-	-	9.1	18.2	4.5	22
専門職学位課程	12.2	8.2	19.4	5.1	-	-	3.1	4.1	7.1	2.0	98
男子	9.7	3.5	8.8	-	0.9	0.9	0.9	-	5.3	1.8	113
女子	19.0	3.2	14.3	1.6	3.2	-	-	1.6	4.8	-	63
修士課程	22.9	2.9	2.9	-	-	-	2.9	-	-	2.9	35
博士課程	10.0	3.6	12.7	-	2.7	0.9	-	-	6.4	0.9	110
獣医学又は医学を履修する博士課程	26.7	6.7	13.3	-	-	-	-	-	6.7	-	15
専門職学位課程	-	-	11.8	5.9	-	-	-	5.9	5.9	-	17

2004年(第54回)は、「親元の職業」としてたずねている。

8-8-2 表 母の職業

区分	専門的、技術的職業	教育的職業	管理的職業	事務	販売	農・林・漁業	生産工程・採掘作業	運輸・通信・保安・サービス	無職	その他	事例数
	% (28.8)	% (13.1)	% (23.0)	% (7.3)	% (5.5)	% (1.2)	% (2.7)	% (11.4)	% (3.1)	% (3.8)	人 (1031)
2004年(第54回)全体	5.0	8.7	1.6	7.2	2.4	0.6	0.5	2.3	13.6	2.9	1335
未婚	5.3	9.8	1.8	7.6	2.5	0.6	0.5	2.7	13.7	3.3	1138
既婚	4.0	2.8	-	5.1	1.7	0.6	0.6	-	14.7	1.1	177
男子	4.5	9.0	1.8	8.2	2.8	0.6	0.7	3.3	13.6	2.9	825
女子	7.4	11.7	1.9	6.1	1.9	0.6	-	1.3	13.9	4.2	309
修士課程	5.1	10.1	1.9	7.2	3.0	0.8	0.6	2.6	12.4	2.0	643
博士課程	5.1	10.6	2.2	7.3	2.4	0.5	0.5	3.3	15.2	5.7	369
獣医学又は医学を履修する博士課程	4.5	4.5	-	13.6	-	-	-	-	27.3	-	22
専門職学位課程	7.1	6.1	1.0	11.2	1.0	-	-	2.0	12.2	3.1	98
男子	3.5	2.7	-	3.5	0.9	0.9	0.9	-	14.2	0.9	113
女子	4.8	3.2	-	7.9	3.2	-	-	-	15.9	1.6	63
修士課程	-	-	-	5.7	-	-	-	-	14.3	5.7	35
博士課程	2.7	4.5	-	4.5	1.8	0.9	0.9	-	15.5	-	110
獣医学又は医学を履修する博士課程	20.0	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-	15
専門職学位課程	5.9	-	-	11.8	5.9	-	-	-	5.9	-	17

2004年(第54回)は、「親元の職業」としてたずねている。

8-9-1 表 親元の年収分布

区分	250万円未満	250～350万円	350～450万円	450～550万円	550～650万円	650～750万円	750～850万円	850～950万円	950～1050万円	1050～1150万円	1150～1250万円	1250～1350万円	1350～1450万円	1450～1550万円	1550万円以上	年収額(十 万円)	事例数
2004年(54回)	% (8.7)	% (6.3)	% (4.8)	% (7.0)	% (7.0)	% (5.9)	% (9.2)	% (5.8)	% (23.0)	% (2.2)	% (5.6)	% (1.4)	% (0.4)	% (4.1)	% (8.4)	(90.7)	(726)
全体	9.6	4.7	5.8	7.8	5.7	7.6	10.9	5.7	14.8	2.8	6.0	1.5	1.8	5.8	9.6	96.60	616
男子	8.4	5.1	5.3	8.2	6.2	8.7	11.1	6.4	12.4	3.1	6.4	1.1	2.2	6.4	8.7	98.31	450
女子	12.9	7.4	7.4	6.1	4.3	4.9	10.4	3.7	20.9	1.8	4.9	2.5	0.6	4.3	12.3	92.53	163
未婚	8.8	4.9	5.8	7.7	6.3	7.4	11.0	6.8	12.3	2.5	6.3	1.4	2.7	7.7	8.5	97.78	365
男子	12.0	3.2	7.2	5.6	3.2	4.0	8.8	4.8	24.0	1.6	5.6	2.4	0.8	4.0	12.8	95.40	125
女子	7.1	5.9	3.5	10.6	5.9	14.1	11.8	4.7	12.9	5.9	7.1	0.0	0.0	1.2	9.4	100.89	85
既婚	15.8	2.6	7.9	7.9	7.9	7.9	15.8	0.0	10.5	2.6	2.6	2.6	0.0	5.3	10.5	83.08	38

8-9-2 表 親元の年収分布 (未婚者)

区分	250万円未満	250～350万円	350～450万円	450～550万円	550～650万円	650～750万円	750～850万円	850～950万円	950～1050万円	1050～1150万円	1150～1250万円	1250～1350万円	1350～1450万円	1450～1550万円	1550万円以上	年収額(十 万円)	事例数
2004年(54回)	% (7.8)	% (5.9)	% (4.7)	% (7.0)	% (7.0)	% (7.0)	% (5.5)	% (9.0)	% (6.5)	% (24.1)	% (2.1)	% (5.4)	% (1.5)	% (0.3)	% (4.4)	(91.5)	(614)
全体	9.6	4.7	6.1	7.1	5.5	6.5	10.4	6.3	15.4	2.2	6.1	1.6	2.2	6.7	9.6	97.0	492
男子	8.3	2.9	3.9	7.8	8.0	7.8	12.2	7.3	12.2	2.0	7.8	1.5	2.4	9.3	10.2	108.4	205
女子	11.5	8.8	6.2	8.0	8.0	5.3	7.1	7.1	13.3	3.5	4.4	1.8	4.4	3.5	7.1	83.7	113
獣医学又は医学を履修する博士課程	-	5.7	2.9	8.6	8.6	14.3	17.1	2.9	11.4	2.9	5.7	-	-	11.4	9.1	74.5	35
専門職学位課程	8.3	1.8	9.1	3.6	1.8	3.6	7.3	5.5	27.3	2.3	7.3	1.8	1.8	7.3	12.7	99.7	55
博士課程	10.9	4.3	6.5	8.7	4.3	4.3	13.0	2.2	23.9	4.3	2.2	2.2	0.0	2.2	10.9	88.7	46
獣医学又は医学を履修する博士課程	-	-	-	25.0	-	-	-	-	50.0	-	25.0	-	-	-	-	92.5	4
専門職学位課程	21.1	5.3	5.3	-	5.3	5.3	5.3	10.5	10.5	-	5.3	5.3	-	-	21.1	103.8	19

8-9-3 表 親元の年収分布 (既婚者)

区分	250万円未満	250～350万円	350～450万円	450～550万円	550～650万円	650～750万円	750～850万円	850～950万円	950～1050万円	1050～1150万円	1150～1250万円	1250～1350万円	1350～1450万円	1450～1550万円	1550万円以上	年収額(十 万円)	事例数
2004年(54回)	% (13.4)	% (6.9)	% (4.8)	% (5.4)	% (7.1)	% (7.1)	% (8.0)	% (10.7)	% (1.8)	% (17.0)	% (2.7)	% (7.1)	% (0.9)	% (2.7)	% (6.3)	(86.5)	(112)
全体	9.7	4.8	4.8	5.4	7.1	7.1	8.0	12.9	3.2	12.1	4.8	5.6	0.8	2.4	9.7	94.8	492
男子	7.7	7.7	7.7	5.6	7.7	7.7	23.1	23.1	7.4	16.7	7.4	7.4	-	1.9	7.7	77.8	13
女子	3.7	5.6	5.6	5.6	9.3	7.4	11.1	11.1	7.4	11.1	7.4	22.2	-	22.2	5.6	93.9	54
獣医学又は医学を履修する博士課程	33.3	11.1	-	-	11.1	-	-	-	-	11.1	-	-	-	-	22.2	21.2	9
専門職学位課程	30.0	10.0	-	-	22.2	-	-	-	-	10.0	-	-	-	-	10.0	67.0	10
博士課程	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	13.6	4.5	4.5	-	-	9.1	13.6	95.0	22
獣医学又は医学を履修する博士課程	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	70.0	2
専門職学位課程	25.0	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	48.0	4

設問 55

9-1-1 表 支出状況

区分	衣料費		食費		住居費		光熱水費		研究・勉学費		教養・娯楽費		子供の養育・娯楽費		通学費		通信費		その他雑費		支出合計			
	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数
2004年(54回)	(9.6)	(979)	(34.2)	(983)	(45.9)	(970)	(8.4)	(985)	(14.9)	(975)	(14.2)	(971)	(3.4)	(924)	(8.3)	(978)	(8.3)	(980)	(11.0)	(954)	(149.1)	(980)	(149.1)	(980)
全体	100	1275	337	1283	488	1284	7.9	1277	14.2	1275	14.5	1278	4.2	1242	7.8	1273	7.8	1275	11.3	1254	156.5	1266	156.5	1266
男子	8.8	906	34.5	914	48.5	915	7.9	905	13.1	910	14.8	912	4.44	888	7.2	899	7.7	903	10.3	895	154.1	905	154.1	905
女子	13.0	361	31.3	361	48.3	363	7.9	356	16.8	359	13.3	361	3.59	350	8.4	359	8.0	360	13.9	355	161.6	356	161.6	356
修士課程	8.6	656	30.3	663	43.4	666	6.5	656	9.0	657	6.59	660	2.12	646	6.9	657	6.9	656	8.4	649	133.0	653	133.0	653
博士課程	11.2	464	36.7	467	53.1	467	9.3	467	20.3	465	15.9	467	5.88	451	7.4	458	8.5	463	13.4	457	177.7	465	177.7	465
獣医学又は医学を履修する博士課程	16.2	33	57.5	33	65.8	34	13.4	33	14.6	33	17.7	33	20.30	33	6.9	33	9.7	33	22.2	33	244.0	33	244.0	33
専門職学位課程	10.9	114	33.9	112	54.0	112	8.9	110	11.3	113	15.3	113	4.72	108	10.8	111	9.7	111	17.0	110	178.3	111	178.3	111
文科学系	10.0	369	31.4	372	46.6	372	8.1	368	20.8	372	13.5	374	2.61	360	8.5	365	8.5	368	12.0	367	158.6	368	158.6	368
理科学系	10.0	897	34.7	902	49.4	905	7.9	894	11.5	896	14.3	898	4.86	877	7.1	892	7.3	893	11.1	882	158.6	892	158.6	892

9-1-2 表 未婚者の生活・支出状況

区分	衣料費		食費		住居費		光熱水費		研究・勉学費		教養・娯楽費		子供の養育・娯楽費		通学費		通信費		その他雑費		支出合計			
	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数
2004年(54回)	(9.0)	(838)	(31.8)	(844)	(39.8)	(832)	(6.1)	(827)	(13.2)	(837)	(13.5)	(838)	(0.4)	(798)	(6.2)	(841)	(7.3)	(842)	(9.9)	(821)	(133.5)	(848)	(133.5)	(848)
全体	9.4	1094	31.7	1101	44.0	1103	6.3	1087	12.4	1096	13.8	1089	0.2	1069	6.7	1087	7.0	1089	9.9	1084	138.7	1092	138.7	1092
男子	8.2	795	32.8	803	43.9	802	6.4	794	11.6	799	14.0	800	0.08	780	6.2	788	6.8	792	8.9	789	136.8	796	136.8	796
女子	12.3	295	28.5	294	43.8	297	6.0	289	14.2	293	13.3	295	0.34	286	8.0	295	7.3	294	12.4	292	143.3	292	143.3	292
修士課程	8.5	619	29.5	626	41.8	628	5.8	618	8.5	622	13.1	622	0.13	609	6.3	619	6.6	618	8.0	612	126.0	617	126.0	617
博士課程	10.4	354	35.0	356	46.0	357	6.8	353	17.3	355	14.6	357	0.07	345	5.2	351	7.5	354	11.2	354	151.3	357	151.3	357
獣医学又は医学を履修する博士課程	7.2	19	38.3	19	53.0	19	7.3	19	13.4	19	11.1	19	0.00	19	6.2	19	5.8	19	11.1	19	151.8	19	151.8	19
専門職学位課程	11.0	97	32.3	95	47.1	95	7.5	93	19.3	96	15.6	98	0.85	92	10.9	93	8.3	94	17.0	94	168.2	95	168.2	95
文科学系	9.5	311	30.2	313	42.0	312	6.3	307	19.5	313	13.0	314	0.4	302	8.4	306	7.9	310	11.6	311	146.4	310	146.4	310
理科学系	9.2	777	32.3	783	44.7	785	6.3	774	11.5	777	14.1	780	0.0	762	5.9	775	6.6	773	9.2	768	135.4	776	135.4	776

9-1-3 表 既婚者の生活費・支出状況

区分	衣料費		食費		住居費		光熱水費		研究・勉学費		教養・娯楽費		子供の養育・娯楽費		通学費		通信費		その他雑費		支出合計			
	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数
2004年(54回)	(13.3)	(139)	(49.2)	(139)	(60.0)	(138)	(22.3)	(138)	(24.9)	(138)	(18.4)	(133)	(22.3)	(126)	(13.5)	(137)	(14.1)	(138)	(17.7)	(133)	(242.4)	(142)	(242.4)	(142)
全体	14.1	167	46.6	169	78.0	170	18.3	168	23.5	168	19.6	169	30.3	164	13.5	167	13.3	167	21.4	161	278.0	165	278.0	165
男子	13.1	105	48.0	106	82.3	106	19.3	105	23.0	105	21.1	106	36.6	103	15.1	104	14.6	104	21.2	100	286.4	105	286.4	105
女子	16.0	59	44.5	60	69.4	60	16.4	60	29.4	60	16.6	60	19.7	59	10.7	59	11.6	59	22.2	58	254.3	59	254.3	59
修士課程	11.4	31	45.1	31	71.0	32	19.8	32	15.1	32	17.3	32	39.4	31	18.3	31	14.8	32	17.1	31	270.3	30	270.3	30
博士課程	13.5	110	42.8	110	77.2	110	17.7	110	31.0	110	20.3	110	25.5	110	11.4	110	12.2	110	21.2	110	268.4	110	268.4	110
獣医学又は医学を履修する博士課程	28.5	14	83.6	14	82.0	15	21.8	14	16.1	14	26.8	14	47.9	14	9.1	14	14.9	14	37.1	14	389.0	14	389.0	14
専門職学位課程	10.3	17	42.9	17	92.9	17	16.5	17	18.8	17	13.1	17	28.1	16	21.2	17	17.4	17	17.4	16	238.3	16	238.3	16
文科学系	12.7	55	37.8	57	70.9	57	17.9	56	27.4	56	16.7	57	14.6	55	10.2	56	12.2	55	14.7	53	228.6	55	228.6	55
理科学系	14.8	112	51.2	112	81.6	113	18.5	112	24.5	112	21.0	112	38.2	109	15.3	110	14.2	112.0	24.8	108	298.2	110	298.2	110

9-2-1 表 収入状況

区分	家庭からの仕送り・小遣い		助成金・奨学金		学内研究経費等		アルバイト		定職		配属者の収入		その他		収入合計	
	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数
2004年(54回)	(46.9)	(952)	(54.6)	(938)	(938)	選択肢なし	(36.2)	(944)	(26.0)	(900)	(17.1)	(888)	(6.8)	(846)	(175.9)	(987)
全体	43.1	1261	58.0	1262	18.6	1236	22.5	1246	37.6	1226	22.6	1213	3.3	1119	188.2	1252
男子	42.3	903	58.9	902	18.7	879	23.8	891	40.2	874	8.5	867	4.0	808	185.7	897
女子	45.0	354	56.0	357	18.3	352	18.3	351	28.3	349	57.1	344	1.5	309	193.3	352
修士課程	58.6	660	42.7	655	3.6	634	22.4	633	11.0	642	6.8	637	2.7	588	136.9	649
博士課程	20.2	451	76.7	460	42.9	457	21.7	444	69.3	443	43.3	436	4.4	398	248.3	458
獣医学又は医学を履修する博士課程	13.8	34	59.2	32	31.8	33	77.9	34	123.5	34	40.0	33	1.0	31	347.7	34
専門職学位課程	51.3	112	67.3	111	0.6	108	9.3	110	39.8	105	27.3	105	3.1	100	190.4	108
文科系	39.3	393	62.6	393	12.2	393	23.1	393	34.7	393	23.0	393	5.3	393	188.4	393
理科室	44.3	932	56.2	932	21.3	932	22.3	932	38.9	932	22.5	932	2.5	932	188.5	932

2004年は助成金・奨学金ではなく助成金だった

9-2-2 表 未婚者の生活費・収入状況

区分	家庭からの仕送り・小遣い		助成金・奨学金		学内研究経費等		アルバイト		定職		その他		収入合計	
	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数
2004年(54回)	(49.3)	(830)	(55.9)	(817)	(938)	選択肢なし	(32.3)	(819)	(17.5)	(780)	(4.1)	(739)	(152.8)	(848)
全体	48.1	1093	60.7	1091	19.1	1063	21.3	1080	14.0	1058	2.5	981	15.6	1081
男子	47.1	795	61.3	794	19.4	771	22.2	788	13.2	770	2.8	716	15.7	790
女子	50.5	295	59.6	295	18.3	290	17.7	290	13.3	296	1.6	264	15.1	289
修士課程	60.3	623	43.2	618	3.6	597	22.2	616	6.0	604	2.8	561	12.6	614
博士課程	24.9	351	86.5	355	49.6	352	23.0	347	25.7	341	1.8	314	20.5	352
獣医学又は医学を履修する博士課程	16.8	19	98.1	19	39.5	19	21.6	19	15.0	20	0.0	18	18.2	20
専門職学位課程	59.2	96	88.0	95	0.5	93	8.9	94	36.6	91	3.6	86	16.8	92
文科系	45.2	312	62.0	310	11.8	305	24.8	307	20.8	293	3.1	267	15.9	303
理科室	48.9	775	60.3	778	22.1	754	19.9	768	11.3	761	2.2	711	15.4	774

2004年は助成金・奨学金ではなく助成金だった

9-2-3 表 既婚者の生活費・収入状況

区分	家庭からの仕送り・小遣い		助成金・奨学金		学内研究経費等		アルバイト		定職		配属者の収入		その他		収入合計	
	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数	平均値	事例数
2004年(54回)	(30.3)	(122)	(45.4)	(121)	(938)	選択肢なし	(61.3)	(125)	(81.5)	(120)	(124.7)	(121)	(25.6)	(107)	(317.4)	(139)
全体	8.1	159	39.0	161	14.8	162	30.2	155	19.3	158	17.3	157	9.4	131	408.0	161
男子	5.8	104	41.3	104	13.9	104	35.4	99	24.9	100	74.1	99	13.3	89	408.2	103
女子	12.7	54	35.3	56	16.7	57	21.5	55	94.2	57	344.9	57	1.2	41	404.3	57
修士課程	22.6	31	33.1	31	3.2	31	21.6	31	145.9	32	141.7	30	0.0	23	353.0	29
博士課程	3.9	97	41.7	101	19.4	102	17.2	93	216.6	98	192.4	98	14.8	81	415.0	102
獣医学又は医学を履修する博士課程	10.0	15	2.3	13	21.4	14	14.9	15	278.6	14	94.3	14	2.3	13	584.3	14
専門職学位課程	3.8	16	62.9	16	1.3	15	11.3	16	60.5	14	191.2	15	0.0	14	308.6	16
文科系	1.9	54	68.9	55	14.6	54	12.1	50	109.5	53	151.5	52	19.3	42	345.9	56
理科室	11.3	105	23.5	106	14.9	108	38.9	105	236.6	105	185.0	105	4.7	89	441.1	105

2004年は助成金・奨学金ではなく助成金だった

9-3 表 支出総額分布

区分	3万円未満	3万円以上6万円未満	6万円以上9万円未満	9万円以上12万円未満	12万円以上15万円未満	15万円以上18万円未満	18万円以上21万円未満	21万円以上	事例数
2004年(54回)	(2.7)	(11.4)	(14.3)	(13.4)	(15.1)	(18.8)	(10.9)	(13.3)	(990)
全体	2.5	10.1	10.9	11.9	16.3	17.5	13.7	17.1	1266
男子	2.5	9.9	11.5	11.8	17.8	17.3	13.3	15.8	905
女子	2.5	10.4	9.6	12.4	12.6	18.0	14.6	19.9	356
修士課程	3.5	13.6	13.8	13.2	18.8	17.1	11.8	8.1	484
博士課程	1.2	5.0	8.0	10.2	16.1	20.1	15.8	23.5	323
獣医学又は医学を履修する博士課程	-	-	3.8	11.5	15.4	19.2	7.7	42.3	26
専門職学位課程	2.9	11.4	14.3	10.0	20.0	5.7	12.9	22.9	70
修士課程	2.4	12.5	12.5	16.7	13.1	17.9	10.1	14.9	168
博士課程	2.2	10.8	5.8	6.5	12.9	18.7	20.1	23.0	139
獣医学又は医学を履修する博士課程	14.3	-	14.3	-	14.3	14.3	28.6	14.3	7
専門職学位課程	2.4	2.4	9.8	17.1	7.3	17.1	12.2	31.7	41

9-4 表 収入形態

区分	仕送りのみ	助成金のみ	アルバイト・定職のみ	配偶者のみ	仕送り+助成金	仕送り+アルバイト・定職のみ	助成金+アルバイト・定職のみ	助成金+配偶者	アルバイト・定職+配偶者	仕送り+配偶者	仕送り+アルバイト・定職+配偶者	助成金+アルバイト・定職+配偶者	その他のみ	収入なし	仕送り+アルバイト・定職+配偶者	仕送り+助成金+配偶者	仕送り+助成金+アルバイト・定職+配偶者	事例数
2004年(第54回)	(14.8)	(9.5)	(11.7)	(10)	(9.8)	(20.5)	(13.0)	(0.3)	(1.9)	集計値なし	(10.6)	(0.7)	(1.0)	(5.2)	集計値なし	集計値なし	集計値なし	(961)
全体	15.1	15.3	10.7	1.1	12.4	13.4	7.0	1.2	3.7	0.4	6.4	1.3	-	3.8	0.7	-	7.4	1335

設問 56

10-1 表 現在、日本学術振興会の研究奨励金を受けていますか

区 別	受けている	受けたいが受けられなかった	受けたくない	受ける必要はない	事例数
2004年(54回)	% (14.6)	% (44.5)	% (5.3)	% (35.5)	人 (1031)
全 体	21.1	36.9	4.1	37.9	1275
男 子	21.9	34.9	3.6	39.5	913
女 子	19.3	42.0	5.3	33.3	357
修士課程	16.3	31.1	4.2	48.4	649
博士課程	29.5	46.5	2.9	21.1	475
獣医学又は医学を履修する博士課程 専門職学位課程	25.7	37.1	5.7	31.4	35
	10.8	31.5	8.1	49.5	111
文 科 系	18.7	44.8	4.3	32.3	375
理 科 系	22.1	33.9	4.0	40.0	893

設問 57

10-2 表 現在、他の奨学的な資金を受けていますか

区 分	受けている	受けたいが受けられなかった	受けたくない	受ける必要はない	事例数
2004年(54回)	% (32.1)	% (22.7)	% (5.7)	% (39.6)	人 (1031)
全 体	25.1	28.9	5.1	40.8	1283
男 子	25.5	26.5	4.8	43.2	917
女 子	24.4	34.9	6.1	34.6	361
修士課程	27.8	23.8	6.1	42.4	661
博士課程	18.9	37.4	3.6	40.0	470
獣医学又は医学を履修する博士課程 専門職学位課程	26.5	26.5	8.8	38.2	34
	33.6	24.8	5.3	36.3	113
文 科 系	27.4	35.6	4.3	32.7	376
理 科 系	24.3	26.3	5.6	43.8	900

設問 58

10-3 表 理由はどれにあたりますか

区分	事務手続きが煩雑だから	掲示等に気がつかなかった	書類を期限までに整えられなかった	出願したが採用されなかった	貸与なので申請しなかった	その他	事例数
	% (9.1)	% (8.7)	% (14.0)	% (31.5)	% (24.8)	% (11.8)	人 (297)
2004年(54回)	7.8	10.3	7.2	25.0	17.5	17.4	751
全体	9.6	10.7	7.5	25.4	17.0	15.3	477
男子	4.2	9.2	6.7	24.6	23.1	11.4	240
女子	10.8	13.2	7.4	18.2	12.5	22.4	325
修士課程	5.4	6.4	7.3	33.9	9.5	9.5	313
博士課程	9.5	14.3	9.5	28.6	17.2	27.6	21
獣医学又は医学を履修する博士課程	3.4	13.8	5.2	13.8	26.9	23.1	58
専門職学位課程	7.7	9.7	8.1	19.4	16.5	21.4	248
文科系	7.9	10.6	6.8	28.1	18.1	15.4	470
理科系							

設問 59

10-4 表 どの奨学的な資金を受けていますか

(複数回答)

区分	日本学術振興会(特別研究員)	日本学生支援機構	地方公共団体(自治体)	民間の奨学団体	日本以外の奨学団体	事例数
	% (14.3)	% (79.0)	% (0.6)	% (8.6)	% (0.2)	人 (468)
2004年(54回)	21.1	66.1	0.2	5.6	0.9	570
全体	22.5	64.7	-	5.8	0.7	417
男子	17.0	69.9	0.7	5.2	1.3	153
女子	1.4	88.3	-	7.1	0.7	281
修士課程	49.8	36.7	-	2.7	1.4	221
博士課程	40.0	40.0	6.7	6.7	-	15
獣医学又は医学を履修する博士課程	-	79.6	-	10.2	-	49
専門職学位課程	20.0	64.7	-	6.5	1.2	170
文科系	21.6	66.6	0.3	5.3	0.8	398
理科系						

設問 60

10-5 表 奨学的な資金の主たる支出目的（用途）はどれにあたりますか

(3つまで)

区分	生活費(衣・食・住居費)	授業料	研究・勉学費	教養・娯楽費	旅行(帰省も含む)	技術・資格等取得の費用		その他		事例数
						%	人	%	人	
2004年(54回)	(90.6)	(48.6)	(55.3)	(26.4)	(5.5)	(3.4)	(2.7)	(9.6)	(0.6)	
全体	77.7	44.2	45.8	21.4	4.6	2.8	11.8	1.9	570	
男子	78.4	42.0	42.7	21.8	4.6	3.4	12.5	1.2	417	
女子	75.8	50.3	54.2	20.3	4.6	1.3	9.8	3.9	153	
修士課程	79.0	32.4	37.4	24.9	7.5	2.8	11.7	1.8	281	
博士課程	77.8	57.9	52.5	18.6	1.4	1.4	12.7	2.3	221	
獣医学又は医学を履修する博士課程	73.3	53.3	40.0	13.3	6.7	6.7	20.0	0.0	15	
専門職学位課程	71.4	49.0	65.3	18.4	2.0	8.2	6.1	2.0	49	
文科系	70.6	46.5	70.0	12.9	1.8	2.4	8.2	1.8	170	
理科系	80.7	43.2	35.4	25.1	5.8	3.0	13.1	2.0	398	

設問 61

11-1 表 過去1年間にアルバイトをしましたか

区分	継続的(1ヶ月以上)アルバイトをした	臨時(1ヶ月未満)アルバイトをした	継続的なアルバイトと臨時的アルバイトを両方した	しなかった	事例数
2004年(54回)	(50.1)	(12.7)	(9.3)	(27.9)	(1031)
全体	37.9	11.6	9.0	41.5	1307
男子	38.1	11.5	7.5	42.9	932
女子	36.9	11.9	12.9	38.3	371
修士課程	47.5	13.5	9.2	29.8	674
博士課程	26.8	9.2	9.8	54.2	478
獣医学又は医学を履修する博士課程	45.7	2.9	5.7	45.7	35
専門職学位課程	24.6	13.2	5.3	57.0	114
未婚	39.9	12.4	9.2	38.6	1125
既婚	22.8	7.0	8.2	62.0	171

11-2 表 アルバイトの種類

区分	大学などの非常勤講師	TA・RA	研究事務補助	小・中・高等学校の講師	塾・予備校の講師	家庭教師	試験監督・採点・通信教育の役割	執筆・翻訳・通訳・編集	一般事務	販売・サービス業	サーveys・訪問調査	飲食店	宿直、警備	肉体労働	上記以外の専門を生かしたものの	その他	(2つまで)
2004年(54回)																	
全体	3.4	30.2	12.2	1.3	17.9	15.4	8.1	6.2	8.0	10.5	0.3	5.5	1.7	4.3	13.6	3.8	(1.6)
男子	3.2	31.8	12.8	1.3	19.9	14.1	8.5	4.1	7.7	9.4	0.4	4.7	2.3	5.6	12.8	2.6	
女子	3.9	26.6	10.9	1.3	12.7	18.8	7.0	10.9	8.7	13.1	-	7.4	0.4	1.3	15.7	6.1	
修士課程	0.8	27.9	8.9	1.1	21.4	19.5	8.7	4.2	8.2	13.1	0.2	7.4	2.3	4.7	9.5	4.7	
博士課程	9.6	39.3	21.0	1.8	11.4	9.1	5.5	11.4	8.2	6.4	-	1.8	-	3.2	17.4	2.3	
獣医学又は医学を履修する博士課程	-	42.1	10.5	-	5.3	-	5.3	-	-	-	-	-	5.3	-	63.2	5.3	
専門職学位課程	2.0	8.2	6.1	2.0	20.4	12.2	14.3	4.1	8.2	8.2	2.0	2.0	2.0	6.1	18.4	2.0	
未婚	1.6	30.2	12.3	1.3	19.0	16.4	8.5	5.5	8.2	10.9	0.1	5.9	1.9	4.5	11.9	3.9	
既婚	20.0	27.7	10.8	1.5	6.2	6.2	4.6	13.8	4.6	6.2	1.5	-	-	3.1	32.3	3.1	
人文社会系研究科	8.5	16.9	27.1	0.0	23.7	10.2	10.2	13.6	10.2	11.9	-	5.1	-	5.1	10.2	3.4	
教育学研究科	12.9	38.7	19.4	6.5	22.6	9.7	3.2	6.5	9.7	-	-	3.2	-	6.5	19.4	9.7	
法学政治学研究科	2.7	5.4	13.5	-	24.3	21.6	10.8	5.4	8.1	2.7	-	2.7	-	-	13.5	5.4	
経済学研究科	-	44.4	11.1	-	-	11.1	11.1	-	-	11.1	-	-	-	-	22.2	-	
総合文化研究科	6.4	29.8	10.6	2.1	19.1	16.0	10.6	11.7	8.5	11.7	-	1.1	1.1	3.2	5.3	6.4	
理学系研究科	-	36.7	12.7	-	22.8	19.0	3.8	3.8	5.1	5.1	-	8.9	-	2.5	8.9	2.5	
工学系研究科	0.7	29.1	8.6	-	15.9	20.5	7.3	4.0	10.6	14.6	-	7.3	2.6	7.3	15.2	2.0	
農学生命科学研究科	3.8	32.7	5.8	-	25.0	32.7	5.8	1.9	5.8	7.7	-	11.5	-	3.8	3.8	1.9	
医学系研究科	7.1	31.4	14.3	1.4	5.7	4.3	5.7	8.6	2.9	5.7	-	2.9	1.4	1.4	45.7	4.3	
薬学系研究科	-	35.0	15.0	5.0	25.0	20.0	15.0	-	-	20.0	-	-	-	-	5.0	5.0	
教職科学研究科	-	83.3	0.0	16.7	16.7	-	-	-	-	16.7	-	-	16.7	-	-	-	
新領域創成科学研究科	1.1	35.6	10.3	1.1	12.6	11.5	10.3	2.3	8.0	14.9	1.1	8.0	4.6	6.9	5.7	3.4	
情報理工学系研究科	-	43.8	6.3	3.1	21.9	9.4	6.3	3.1	9.4	3.1	-	3.1	3.1	-	25.0	9.4	
学際情報学部	7.1	14.3	28.6	-	7.1	-	-	35.7	21.4	14.3	-	14.3	-	-	-	-	
公共政策学教育部	-	18.8	6.3	6.3	25.0	12.5	18.8	-	12.5	25.0	6.3	0.0	6.3	18.8	-	-	

設問 63

11-3 表 アルバイトに費やす時間と収入額

単位:分 単位:千円

区分	平均時間	平均額	事例数
2004年(54回)	(12.3)	(68.9)	(739)
全体	12.7	62.4	730
男子	13.1	68.6	510
女子	11.8	47.1	217
修士課程	11.4	44.0	456
博士課程	14.8	87.6	205
獣医学又は医学を履修する博士課程	21.0	244.3	19
専門職学位課程	13.6	58.9	46
未婚	12.5	55.9	661
既婚	15.1	129.6	61
人文社会科学系研究科	14.3	56.3	55
教育学研究科	15.3	82.5	31
法学政治学研究科	14.9	66.9	36
経済学研究科	14.1	58.8	8
総合文化研究科	15.1	64.3	89
理学系研究科	10.5	40.2	72
工学系研究科	11.3	45.2	144
農学生命科学研究科	11.6	40.8	51
医学系研究科	13.5	170.0	66
薬学研究科	11.5	39.1	19
教理科学研究科	12.3	59.3	6
新領域創成科学研究科	10.9	39.7	85
情報理工学系研究科	13.4	57.5	32
学際情報学府	18.9	71.1	14
公共政策学部	12.9	53.9	16

設問 64

11-4 表 アルバイトの紹介者

(2つまで)

区分	大学の担当事務	指導教員	日本学生支援機構	新聞広告・アルバイト広告誌	インターネット	友人・知人等	アルバイト先と直接	伝言板	その他	事例数
2004年(54回)	(12.9)	(30.7)	(2.1)	(10.1)	(9.6)	(37.8)	(18.5)	(4.1)	(0.4)	(739)
全体	10.6	21.5	0.1	8.6	24.1	36.3	16.1	1.2	6.2	764
男子	11.5	22.9	-	8.5	25.6	35.3	15.2	1.1	5.1	532
女子	8.7	18.3	0.4	8.7	21.0	38.0	18.3	1.3	8.7	229
修士課程	9.3	18.0	0.2	10.4	29.0	35.5	15.4	1.5	5.3	473
博士課程	14.2	31.5	-	5.0	13.2	38.8	15.5	0.5	7.8	219
獣医学又は医学を履修する博士課程	10.5	42.1	-	5.3	21.1	21.1	15.8	-	15.8	19
専門職学位課程	8.2	2.0	-	8.2	28.6	36.7	26.5	2.0	2.0	49
未婚	11.1	21.3	0.1	9.1	24.9	35.2	15.6	1.2	6.1	691
既婚	6.2	23.1	-	-	15.4	47.7	18.5	1.5	7.7	65

内外学生センターは2004年に日本学生支援機構となったが、2004年は内外学生センターとされていた

設問 65

11-5 表 アルバイトをした理由

(複数回答)

区分	生活費を稼ぐため	奨学費を稼ぐため	学生生活を楽しむため	社会経験のため	その他	事例数
	% (54.6)	% (17.8)	% (11.2)	% (11.4)	% (5.0)	人 (739)
2004年(54回)						
全体	53.3	15.8	14.9	16.6	6.8	764
男子	55.6	15.0	15.6	15.4	5.5	532
女子	47.6	17.5	13.5	19.7	9.6	229
修士課程	48.6	12.3	19.7	18.8	6.1	473
博士課程	63.0	22.4	5.9	13.2	8.7	219
獣医学又は医学を履修する博士課程	78.9	21.1	-	-	5.3	19
専門職学位課程	44.9	20.4	16.3	18.4	2.0	49
未婚	52.5	14.2	16.1	17.2	6.4	691
既婚	60.0	27.7	4.6	12.3	12.3	65

2004年(第54回)調査では、単数回答(合計が100%)として集計したが、今回は複数回答として集計した。

設問 66

11-6 表 アルバイト収入の用途

(2つまで)

区分	生活費(衣・食・住居費)	授業料	研究・勉学費	教養・娯楽費	旅行(帰省も含む)	技術・資格等取得の費用	預貯金	その他	事例数	耐久消費財購入費用
	% (70.0)	% (18.9)	% (25.5)	% (34.2)	% (8.9)	% (1.2)	% (10.0)	% (0.3)	人 (739)	% (2.1)
2004年(54回)										
全体	62.8	14.3	23.2	37.7	9.7	1.3	12.0	1.6	764	
男子	65.8	14.3	22.2	37.6	8.5	1.3	10.9	1.5	532	
女子	55.9	14.4	25.3	37.6	12.7	1.3	14.8	1.7	229	
修士課程	60.0	7.8	16.3	45.7	13.1	1.7	14.4	1.5	473	
博士課程	67.6	26.9	37.0	23.7	3.7	0.5	7.8	1.8	219	
獣医学又は医学を履修する博士課程	84.2	42.1	10.5	15.8	-	-	21.1	-	19	
専門職学位課程	59.2	8.2	32.7	32.7	8.2	2.0	6.1	2.0	49	
未婚	62.1	12.2	22.0	40.1	10.4	1.4	12.3	1.4	691	
既婚	70.8	33.8	30.8	13.8	3.1	-	10.8	3.1	65	

耐久消費財購入費用は項目が消えた貯金から預貯金に書き方が変わった

設問 67

11-7 表 継続的アルバイトは勉学の妨げになりませんでしたか

区分	かなり妨げになった	多少妨げになった	妨げにならなかった	事例数
	% ()	% ()	% ()	人 ()
2004年(54回)				
全体	12.8	41.0	46.2	586
男子	13.3	39.8	46.9	405
女子	11.8	42.7	45.5	178
修士課程	9.2	40.8	50.0	360
博士課程	21.2	39.4	39.4	170
獣医学又は医学を履修する博士課程	16.7	38.9	44.4	18
専門職学位課程	8.8	50.0	41.2	34
未婚	10.8	41.4	47.7	526
既婚	32.7	36.5	30.8	52

設問 68

11-8 表 現在の暮らし向き

区分	かなり楽な方	やや楽な方	普通	やや苦しい方	大変苦しい方	わからない	事例数
	% ()	% ()	% ()	% ()	% ()	% ()	人 ()
2004年(54回)							
全体	13.7	19.8	35.7	21.1	9.1	0.5	1296
男子	13.1	20.6	35.3	19.8	10.5	0.7	923
女子	14.7	17.9	37.2	24.2	5.7	0.3	368
修士課程	16.6	19.8	37.3	18.6	7.2	0.6	668
博士課程	9.7	21.5	32.3	24.7	11.6	0.2	474
獣医学又は医学を履修する博士課程	16.7	22.2	33.3	19.4	8.3	0.0	36
専門職学位課程	10.7	11.6	42.0	23.2	10.7	1.8	112
未婚	14.0	19.7	35.4	21.1	9.1	0.6	1116
既婚	10.7	20.8	39.3	19.6	9.5	-	168

12-1 表 通学に利用している交通機関

(複数回答)

区分	電車	バス	自家用車	バイク	自転車	徒歩のみ	その他	事例数
2004(54回)	% (70.4)	% (9.9)	% (4.7)	% (4.8)	% (42.8)	% (10.1)	% (0.2)	人 (1031)
全体	62.9	10.3	3.6	2.9	39.6	8.5	0.7	1326
男子	61.7	8.3	3.8	4.1	42.3	8.1	0.2	912
女子	66.3	15.0	3.2	-	33.2	9.2	1.8	368
本郷	62.5	8.2	1.9	1.9	39.3	10.2	1.0	810
駒場Ⅰ	85.8	8.5	0.7	0.7	19.1	4.3	-	140
駒場Ⅱ	75.0	3.9	1.3	3.9	38.2	9.2	-	75
柏	41.3	26.9	13.8	5.0	62.5	1.3	-	138
その他	60.7	8.5	6.8	8.5	37.6	10.3	0.9	109

12-2 表 片道の通学所要時間

単位:分

区分	平均値	度数
2004(54回)	(45.9)	(1031)
全体	46.32	1335
男子	46.17	948
女子	46.94	380
本郷	46.15	826
駒場Ⅰ	49.59	217
駒場Ⅱ	44.87	160
柏	44.68	117
その他	45.5	117

12-3 表 本学の課外活動施設、福利厚生施設等のうち、あなたは諸施設の現状をどう思いますか

12-3-1 表 研究科内の学生控室・談話室・ラウンジ

区分	満足している	どちらとも言えない	不満である	利用したことがない	事例数
2004(54回)	% (33.7)	% (15.1)	% (33.5)	% (17.6)	人 (1031)
全体	23.5	32.5	23.9	20.1	1309
男子	24.8	32.6	21.1	21.5	932
女子	20.2	32.3	31.2	16.4	372
本郷	21.1	31.2	27.5	20.1	814
駒場Ⅰ	31.3	40.3	21.6	6.7	134
駒場Ⅱ	27.6	40.8	13.2	18.4	76
柏	27.4	33.8	18.5	20.4	157
その他	23.5	24.3	16.5	35.7	115

12-3-2 表 学生会館、課外活動共用施設、キャンパスプラザ(駒場)

区分	満足している	どちらとも言えない	不満である	利用したことがない	事例数
2004(54回)	% (16.0)	% (22.6)	% (12.0)	% (49.4)	人 (1031)
全体	10.4	23.6	5.1	60.9	1304
男子	10.9	24.1	5.4	59.7	930
女子	9.2	22.2	4.6	64.0	369
本郷	9.4	22.7	5.4	62.4	809
駒場Ⅰ	16.4	35.1	6.0	42.5	134
駒場Ⅱ	22.4	26.3	1.3	50.0	76
柏	7.1	23.7	7.1	62.2	156
その他	6.9	12.9	1.7	78.4	116

12-3-3 表 学生相談所

区 分	満足している	どちらとも言えない	不満である	利用したことがない	事例数
2004(54回)	% (9.1)	% (16.6)	% (3.6)	% (70.8)	人 (1031)
全 体	5.6	16.5	3.1	74.8	1307
男 子	5.4	16.5	2.6	75.5	931
女 子	6.2	16.4	4.6	72.8	371
本 郷	6.2	16.6	3.2	74.0	812
駒場Ⅰ	4.5	18.8	5.3	71.4	133
駒場Ⅱ	3.9	17.1	2.6	76.3	76
柏	5.7	15.8	2.5	75.9	158
その他	4.3	12.2	0.9	82.6	115

12-3-4 表 屋内体育施設・駒場

区 分	満足している	どちらとも言えない	不満である	利用したことがない	事例数
2004(54回)	% (15.8)	% (19.4)	% (6.5)	% (58.5)	人 (1031)
全 体	6.8	19.1	3.8	70.4	1303
男 子	7.1	20.3	4.0	68.6	928
女 子	5.9	16.2	3.2	74.6	370
本 郷	6.8	20.4	3.1	69.8	810
駒場Ⅰ	3.7	17.9	7.5	70.9	134
駒場Ⅱ	10.5	19.7	7.9	61.8	76
柏	9.6	17.9	2.6	69.9	156
その他	4.3	14.8	2.6	78.3	115

12-3-5 表 屋外体育施設・駒場（野球場、テニスコート等）

区 分	満足している	どちらとも言えない	不満である	利用したことがない	事例数
2004(54回)	% (18.3)	% (15.7)	% (5.1)	% (60.8)	人 (1031)
全 体	6.5	15.4	1.9	76.1	1298
男 子	7.1	16.5	2.2	74.2	924
女 子	5.1	12.7	1.1	81.0	369
本 郷	6.5	16.0	2.2	75.3	806
駒場Ⅰ	4.5	14.2	3.0	78.4	134
駒場Ⅱ	13.2	15.8	1.3	69.7	76
柏	7.7	12.8	-	79.5	156
その他	3.5	14.9	0.9	80.7	114

12-3-6 表 屋内体育施設・本郷（御殿下記念館、二食プール）

区 分	満足している	どちらとも言えない	不満である	利用したことがない	事例数
2004(54回)	% (45.6)	% (12.1)	% (4.0)	% (38.2)	人 (1031)
全 体	30.4	16.3	3.9	49.4	1306
男 子	31.1	17.0	4.2	47.7	930
女 子	28.3	14.6	3.0	54.2	371
本 郷	37.6	18.6	5.3	38.5	811
駒場Ⅰ	9.7	11.2	0.7	78.4	134
駒場Ⅱ	30.3	14.5	2.6	52.6	76
柏	21.8	14.1	1.3	62.8	156
その他	13.8	10.3	2.6	73.3	116

12-3-7 表 屋外体育施設・本郷（御殿下グラウンド、農学部グラウンド、野球場等）

区 分	満足している	どちらとも言えない	不満である	利用したことがない	事例数
2004(54回)	% (26.1)	% (14.0)	% (8.0)	% (51.8)	人 (1031)
全 体	15.9	14.5	3.3	66.4	1306
男 子	18.2	15.2	3.8	62.8	930
女 子	10.1	12.5	2.2	75.3	371
本 郷	20.2	15.4	4.6	59.8	811
駒場Ⅰ	2.2	10.4	-	87.3	134
駒場Ⅱ	11.8	14.5	2.6	71.1	76
柏	10.3	11.5	-	78.2	156
その他	11.2	16.4	2.6	69.8	116

12-3-8 表 屋内体育施設・柏（トレーニング施設）

区 分	満足している	どちらとも言えない	不満である	利用したことがない	事例数
2004(54回)	% 選択肢なし	% 選択肢なし	% 選択肢なし	% 選択肢なし	人 選択肢なし
全 体	2.8	7.1	1.9	88.1	1307
男 子	3.1	7.6	2.3	87.0	930
女 子	2.2	5.6	1.1	91.1	372
本 郷	2.6	6.4	0.6	90.4	811
駒場Ⅰ	0.7	8.2	-	91.0	134
駒場Ⅱ	-	5.3	-	94.7	76
柏	8.9	10.1	12.7	68.4	158
その他	0.9	7.0	-	92.2	115

12-3-9 表 屋外体育施設・柏（ラグビー場）

区 分	満足している	どちらとも言えない	不満である	利用したことがない	事例数
2004(54回)	% 選択肢なし	% 選択肢なし	% 選択肢なし	% 選択肢なし	人 選択肢なし
全 体	1.7	7.0	0.7	90.7	1307
男 子	1.8	7.4	0.8	90.0	930
女 子	1.3	5.6	0.5	92.5	372
本 郷	1.2	6.3	0.4	92.1	811
駒場Ⅰ	0.7	8.2	-	91.0	134
駒場Ⅱ	-	5.3	-	94.7	76
柏	5.7	10.1	3.8	80.4	158
その他	1.7	6.1	-	92.2	115

12-3-10 表 二食内ホール、サークル部室等（本郷）

区 分	満足している	どちらとも言えない	不満である	利用したことがない	事例数
2004(54回)	% (10.8)	% (15.1)	% (6.4)	% (67.8)	人 (1031)
全 体	4.4	12.5	3.1	80.1	1304
男 子	4.7	13.3	3.0	79.0	928
女 子	3.2	10.8	3.2	82.7	371
本 郷	4.8	13.2	3.7	78.3	811
駒場Ⅰ	1.5	11.3	1.5	85.7	133
駒場Ⅱ	3.9	10.5	2.6	82.9	76
柏	6.5	9.7	2.6	81.3	155
その他	2.6	11.2	1.7	84.5	116

12-3-11 表 検見川総合運動場、検見川セミナーハウス

区 分	満足している	どちらとも言えない	不満である	利用したことがない	事例数
2004(54回)	% (17.9)	% (12.5)	% (3.1)	% (66.4)	人 (1031)
全 体	10.0	15.2	2.5	72.3	1305
男 子	10.2	15.7	2.3	71.8	929
女 子	9.4	14.0	3.2	73.3	371
本 郷	10.7	13.9	2.5	72.9	812
駒場Ⅰ	3.7	10.4	-	85.8	134
駒場Ⅱ	6.6	10.5	1.3	81.6	76
柏	10.9	25.0	6.4	57.7	156
その他	12.2	20.9	1.7	65.2	115

12-3-12 表 スポーティア（戸田、山中、下賀茂、乗鞍）

区 分	満足している	どちらとも言えない	不満である	利用したことがない	事例数
2004(54回)	% (6.8)	% (10.9)	% (1.9)	% (80.5)	人 (1031)
全 体	4.1	8.8	1.1	86.0	1306
男 子	4.5	9.7	1.3	84.5	931
女 子	3.0	6.5	0.8	89.7	370
本 郷	3.8	8.7	1.1	86.3	813
駒場Ⅰ	1.5	9.0	0.7	88.8	134
駒場Ⅱ	2.6	10.5	-	86.8	76
柏	5.8	8.3	1.9	84.0	156
その他	6.1	8.7	1.7	83.5	115

12-3-13 表 学内食堂

区 分	満足している	どちらとも言えない	不満である	利用したことがない	事例数
2004(54回)	% (36.6)	% (19.0)	% (40.9)	% (3.5)	人 (1031)
全 体	30.3	38.8	26.5	4.4	1307
男 子	30.8	38.8	25.9	4.5	931
女 子	28.8	38.8	28.3	4.0	371
本 郷	31.9	38.8	25.2	4.1	812
駒場Ⅰ	40.3	38.1	20.1	1.5	134
駒場Ⅱ	25.0	39.5	30.3	5.3	76
柏	25.5	38.9	32.5	3.2	157
その他	18.3	38.3	33.0	10.4	115

12-3-14 表 学寮（豊島、白金、三鷹国際学生宿舎）

区 分	満足している	どちらとも言えない	不満である	利用したことがない	事例数
2004(54回)	% (4.0)	% (7.8)	% (2.2)	% (85.9)	人 (1031)
全 体	2.9	7.1	2.1	87.9	1302
男 子	3.2	7.6	1.9	87.3	927
女 子	2.2	5.7	2.4	89.7	370
本 郷	3.3	7.0	2.3	87.3	810
駒場Ⅰ	3.0	8.3	3.8	85.0	133
駒場Ⅱ	1.3	5.3	-	93.4	76
柏	3.2	7.7	1.3	87.8	156
その他	0.9	6.1	0.9	92.2	115

12-3-15 表 保健センター

区 分	満足している	どちらとも言えない	不満である	利用したことがない	事例数
2004(54回)	%	%	%	%	人
	選択肢なし	選択肢なし	選択肢なし	選択肢なし	選択肢なし
全 体	30.6	39.1	7.3	23.0	1306
男 子	30.2	37.8	6.0	25.9	929
女 子	31.5	41.9	10.5	16.1	372
本 郷	31.4	40.4	7.4	20.7	811
駒場Ⅰ	29.9	42.5	12.7	14.9	134
駒場Ⅱ	30.7	28.0	5.3	36.0	75
柏	35.4	32.9	3.8	27.8	158
その他	21.7	40.9	6.1	31.3	115

※学生生活実態調査は、本年（2010年）も引き続き行っています。



私の思いは… 東大を変える。 CHANGE!!

カリキュラム

奨学金

就職

キャンパスライフ

アルバイト 等

* 調査内容例
* マークシート式

学生の皆さんのニーズを大切にしたい…。

そんな思いから本年も学生生活実態調査を行ないます。この機会に本学で学ぶ皆さんの思いを聞かせて下さい。

調査は学部学生の約1/4を無作為に抽出のうえ、郵送にて行ないますので、ご協力をお願いします。

ひとりの声はみんなの意見…。

● 締め切り / 2010年12月24日 (金)

第60回 学生生活実態調査 [2010]



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

学生委員会学生生活調査室

平成22年11月現在

調査室長	山口 勸	(大学院人文社会系研究科・文学部)
副調査室長	上別府 圭子	(大学院医学系研究科・医学部)
室員	伊藤 洋一	(大学院法学政治学研究科・法学部)
〃	大久保 達也	(大学院工学系研究科・工学部)
〃	塩谷 光彦	(大学院理学系研究科・理学部)
〃	勝間 進	(大学院農学生命科学研究科・農学部)
〃	柳川 範之	(大学院経済学研究科・経済学部)
〃	野矢 茂樹	(大学院総合文化研究科・教養学部)
〃	佐々木 司	(大学院教育学研究科・教育学部)
〃	村田 茂穂	(大学院薬学系研究科・薬学部)
〃	倉光 修	(学生相談ネットワーク本部)
〃	小林 雅之	(大学総合教育研究センター)
〃	矢野 由美	(本部部長 (教育・学生支援部))
〃	関根 弘	(本部課長 (教育・学生支援部))

担当部署 本部学務課学生総務チーム (教育・学生支援部)

◆ 表紙写真 ◆

学生支援センター

(本郷キャンパス・平成22年6月竣工)

- ・学生支援センター建物概観 (上)
- ・学生支援センター3階テラス (左下)
- ・学生支援センター1階、2階テラス (右下)

2010年12月6日

東京大学学生委員会学生生活調査室

〒113-8654 東京都文京区本郷7丁目3番1号